

全国銀行個人信用情報センター 個人信用情報システム

基本設計書

— EDP 接続仕様書編 —

平成 27 年 11 月（第 7 版）
（平成 28 年稼動システム）

はじめに

当プロトコルは、IP-VPN(注 1)を利用してコンピュータ間を接続し、全国銀行個人信用情報システムにおけるリアルタイム照会を行うためのものであり、次のような特徴を有している。

- ① 「全銀協標準プロトコル TCP/IP 手順 T-I-O 3（第 3 版）」に準拠し、必要に応じて独自の仕様を追加していること。
- ② 一般ユーザーレベルの技術で実現できること。
- ③ IP-VPN により、大量の照会およびデータ伝送を効率よく行えること。
- ④ セキュリティ対策として、SSL(注 2)および TLS(注 3)による暗号化機能があること。

なお、当プロトコルの仕様書は、以下の 5 部で構成される。

第一部 プロトコル概要書

第二部 伝送制御手順（データリンクレイヤ）

第三部 機能制御部（セッションレイヤ）

第四部 文字コードの扱い（プレゼンテーションレイヤ）

第五部 業務電文（アプリケーションレイヤ）

（注 1）IP-VPN

通信事業者の保有する広域 IP 通信網を経由して構築される仮想閉域通信網。

（注 2）SSL(Secure Sockets Layer)

Netscape Communications 社が開発したインターネット上で情報を暗号化し送受信を行うためのプロトコル。

（注 3）TLS(Transport Layer Security)

SSL を元にして制定された、インターネット上でセキュリティを要求される通信を行うためのプロトコル。

目 次

はじめに

1. プロトコル概要書	1
1.1 プロトコルとは	2
1.2 なぜプロトコルが重要なのか	3
1.3 O S I モデルと当プロトコル	4
1.4 当プロトコルと全銀協標準通信プロトコル	5
1.5 当プロトコルでの各レイヤの考え方	6
(1) 物理レイヤ／データリンクレイヤ	6
(2) ネットワークレイヤおよびトランスポートレイヤ	6
(3) セッションレイヤ	6
(4) プレゼンテーションレイヤ	6
1.6 各レイヤにおけるデータフォーマット	7
1.7 論理レコードと伝送ブロックの関連図	8
(1) 論理レコードと伝送ブロック	8
(2) 誤った伝送方式	9
1.8 暗号化について	10
(1) S S L / T L S とは	11
(2) T C P / I P スタックにおける S S L / T L S	12
(3) S S L / T L S メッセージシーケンス	14
2. 伝送制御手順（データリンクレイヤ）	16
2.1 当プロトコルにおける伝送制御	17
3. 機能制御部（セッションレイヤ）	18
3.1 機能制御関連の制約事項	19
3.2 制御電文種別	20
3.3 制御電文フォーマット	21
(1) 開局要求電文	21
(2) 開局回答電文	22
(3) 閉局要求電文	23
(4) 閉局回答電文	24
(5) ファイル開始要求電文	25
(6) ファイル開始回答電文	26
(7) ファイル終了要求電文	27
(8) ファイル終了回答電文	28
(9) ダミー電文	29
(10) 回答取り出しなし通知電文	30
(11) サービス状況通知電文	31
3.4 業務電文フォーマット	32
(1) 業務電文共通フォーマット	32
(2) 論理レコードの一般フォーマット	33

3.5	送信側（会員側）状態遷移表	3 4
3.6	オンライン照会業務処理フロー	3 5
3.7	電文シーケンス	3 6
(1)	正常時のシーケンス	3 6
(2)	異常時のシーケンス	3 9
4.	文字コードの扱い（プレゼンテーションレイヤ）	5 7
4.1	文字コードの規則	5 8
5.	業務電文（アプリケーションレイヤ）	5 9
5.1	照会業務電文	6 0
5.1.1	照会業務電文種別	6 0
5.1.2	照会業務電文フォーマット	6 2
(1)	業務電文共通フォーマット	6 2
(2)	照会依頼電文	6 4
(3)	照会回答電文	6 7
(4)	照会回答電文（該当なし）	8 0
(5)	C R I N / J I C C 照会回答電文	8 1
(6)	C R I N / J I C C 照会回答電文（交流対象情報なし）	8 5
(7)	C R I N / C I C 照会回答電文	8 6
(8)	C R I N / C I C 照会回答電文（交流対象情報なし）	9 0
(9)	照会記録情報取消依頼電文	9 1
(10)	照会記録情報取消回答電文	9 4
(11)	照会記録情報取消訂正依頼電文	9 5
(12)	照会記録情報取消訂正回答電文	9 7
(13)	照会記録情報訂正依頼電文	9 8
(14)	照会記録情報訂正回答電文	1 0 1
(15)	官報情報（個人）・取引停止処分照会依頼電文	1 0 2
(16)	官報情報（個人）・取引停止処分照会回答電文	1 0 3
(17)	官報情報（個人）・取引停止処分照会回答電文（該当なし）	1 0 8
(18)	（欠番）	
(19)	（欠番）	
(20)	（欠番）	
(21)	自社取引情報照会依頼電文	1 1 0
(22)	自社取引情報回答電文	1 1 2
(23)	自社取引情報回答電文（該当なし）	1 3 6
(24)	自社照会記録情報照会依頼電文	1 3 7
(25)	自社照会記録情報回答電文	1 3 9
(26)	自社照会記録情報回答電文（該当なし）	1 4 9
(27)	（欠番）	
(28)	（欠番）	
(29)	（欠番）	

(30)	(欠番)	
(31)	(欠番)	
(32)	(欠番)	
(33)	項目エラー電文（照会データの項目エラー）	1 5 1
(34)	サービス状態エラー電文（サービス停止中・タイムオーバー・利用資格なし）	1 5 2
5.1.3	照会業務における注意事項	1 5 3
(1)	回答電文例	1 5 3
(2)	回答件数制限値	1 5 4

(別添) 会員センター I D 管理体系

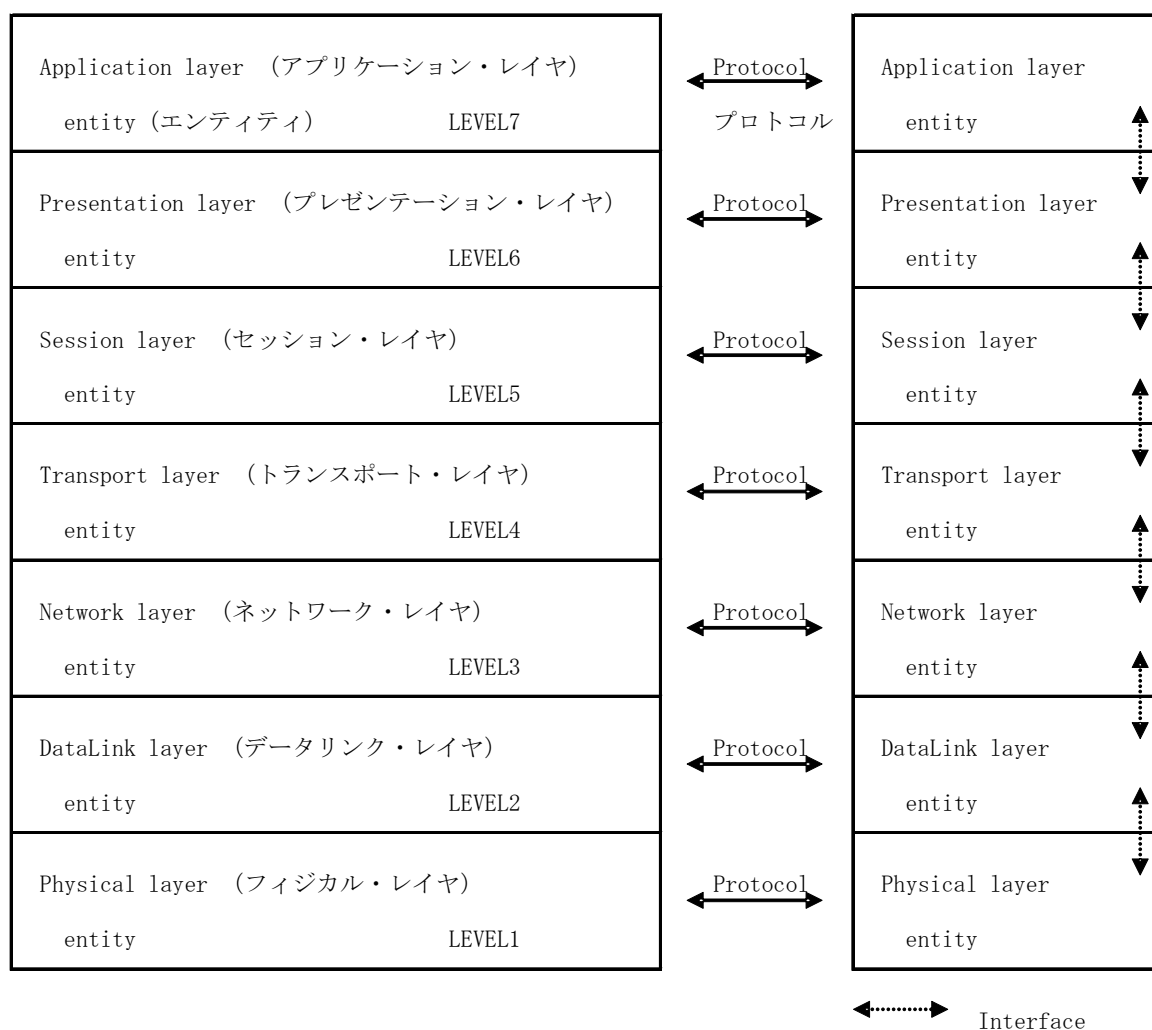
1. プロトコル概要書

1.1 プロトコルとは

Protocol（プロトコル）を辞書でひくと、「定義書、調書、原案、定式前文〔結文〕、外交儀礼」とあるが、ネットワーク・アーキテクチャーでは、通信規約、会話手順の意味で使う。

以下に、プロトコルとそれに関連する用語の関係を示す。

MODEL（モデル）・・・・・・ I S O の O S I ・ 7 レイヤー
(Open System Interconnection)



layer（レイヤ：層）とは、モデルを構成する一つの機能階層である。

entity（エンティティ：実体）とは、機能を実現する実体である。

Interface（インターフェイス：接点部分）とは、あるレベルのレイヤと上位または下位のレイヤとの間の接続条件である。

Protocol（プロトコル）とは、同じレベルのレイヤ間での規約および、それらの集まりをいう。

1.2 なぜプロトコルが重要なのか

プロトコルは接続のための規約である。したがってホストコンピュータ同士の接続においても、プロトコルを定めることにより接続相手のホストコンピュータ（メーカ、機種、OS等）を意識する必要はない。さらに、相手がどのような手段によってプロトコルを実現しているか、どのような目的に使うかについても、意識する必要がない。

また、プロトコルをレイヤ構造とすることにより、相手と同一レベルだけに限定して話し合うことができる。例えば、業務レベルの話をする場合には業務担当者間でアプリケーションレイヤについてだけ話し合えばよいわけで、ユーザSEやメーカーSEは、必ずしも必要ではない。同様に物理レイヤについては回線担当者間、データリンクレイヤについてはメーカSE間、セッションレイヤについてはユーザSE間だけで話し合うことができる。

プロトコルのレイヤ構造に対応して、それを実現するエンティティであるプログラム（システム）構造を分割しておけば、ある特定の機能的変更があっても、他のレイヤへの影響がなく対応が容易である。また、設計時点の目的とは別の目的への転用も容易である。

1.3 O S I モデルと当プロトコル

O S I 7 レイヤーモデル		当プロトコル
<p>Application layer (アプリケーション・レイヤ)</p> <p>管理者および利用者向きの応用プロトコルを実行し、相互の通信を可能とする。 <データの有効性の責任、通信相手の識別、課金></p>	LEVEL7	<p>Application layer</p> <p>センターへの照会・回答レコードを規定。</p>
<p>Presentation layer (プレゼンテーション・レイヤ)</p> <p>内部属性に関する基本部分の変換、構造を持つデータの入力、授受、制御を行う。 <暗号化、コード、フォーマット変換、乱数認証、暗号キー配送></p>	LEVEL6	<p>Presentation layer</p> <p>オプションとして規定する。</p>
<p>Session layer (セッション・レイヤ)</p> <p>セッションと呼ぶ接続を設定し、データの送受信の、制御、同期の制御を行う。 <データの区切、同期、トークン権制御、回復、無通信監視></p>	LEVEL5	<p>Session layer</p> <p>通信パス制御 「全銀協標準通信プロトコル TCP/IP 手順 T-I-03」の「電文制御仕様」の規定による。</p> <p>サブレイヤ 「全銀協標準通信プロトコル TCP/IP 手順 T-I-03」の規定による。</p> <p>S S L, T L S Secure Socket Layer, Transport Layer Security</p>
<p>Transport layer (トランスポート・レイヤ)</p> <p>セッションエンティティ間にトランスポート接続を設定しトランスペアレントなデータ転送を行う。 <優先権、順序、フロー制御、中継ルートの多重化、ウィンドウ制御></p>	LEVEL4	<p>Transport layer</p> <p>T C P Transmission Control Protocol</p>
<p>Network layer (ネットワーク・レイヤ)</p> <p>一つまたは複数の通信網を通して、アプリケーションエンティティの存在するシステム間の接続を実現する。 <論理チャネル、パケットの制御></p>	LEVEL3	<p>Network layer</p> <p>I P, I C M P, A R P, R A R P Internet Protocol, Internet Control Message Protocol, Address Resolution Protocol, Reverse Address Resolution Protocol</p>
<p>DataLink layer (データリンク・レイヤ)</p> <p>二つのシステム間でデータを送受信し、伝送誤りに対処する。 <イーサネット L L C / M A C ></p>	LEVEL2	<p>DataLink layer</p> <p>Ethernet Logical Link Control Media Access Control</p>
<p>Physical layer (フィジカル・レイヤ)</p> <p>物理的接続の設定、維持、解除、データ伝送のための機械的・電氣的・機能的および手順上の規約。 <イーサネット P S / P M A > 専用線：会員個別ルータ (10BaseT/100BaseTX 接続) 公衆網：会員個別ルータ (10BaseT/100BaseTX 接続)</p>	LEVEL1	<p>Physical layer</p> <p>N T T の基準 (ITU-T 旧 CCITT 勧告) および RFC に準ずる。</p> <p>Ethernet Physical Signal Psycal Media Attachment</p>

1.4 当プロトコルと全銀協標準通信プロトコル

	当プロトコル（TCP/IP手順）	全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP手順）
基本機能	連続送信は行わない（常に論理ACKを受信）	論理ACKなしの連続送信（最大15回）
	×	モード変更
	×	データ圧縮
	×	再送
	1物理回線5TCPセッション	—
	無通信タイマー30秒	無通信タイマー30秒
	30秒以内にタミー電文を送受信することでセッション継続	—
制御電文	1伝送ブロック1024バイト	1伝送ブロック2048バイト
	SSL/TLSによる暗号化	—
	使用するTCPポート番号 （センター側は7020、会員側は任意）	使用するTCPポート番号 （センター側は5020、会員側は任意）
	開局要求、ファイル開始要求（*1）	開局要求、ファイル開始要求（*1）
	開局回答、ファイル開始回答（*1）	開局回答、ファイル開始回答（*1）
	ファイル終了要求、閉局要求（*1）	ファイル終了要求、閉局要求（*1）
	ファイル終了回答、閉局回答（*1）	ファイル終了回答、閉局回答（*1）
	タミー電文（*2）	×
	×	×
	×	×
	回答取り出しなし（*2）	×
	サービス状況通知（*2）	×

*1 全銀協標準通信プロトコル準拠の制御電文

*2 当プロトコル独自の通知系制御電文

1.5 当プロトコルでの各レイヤの考え方

（１）物理レイヤ／データリンクレイヤ

大量かつ高速で特定二者間でのデータのやりとりを想定し、IP-VPN とする。

（２）ネットワークレイヤおよびトランスポートレイヤ

銀行等で広く使用されている、全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP 手順）の伝送制御手順に準拠した。

（３）セッションレイヤ

1 つの IP アドレスにつき 5 TCP セッションを基本として、セッション単位に伝送方向を制御し、持ち回り情報による照会・回答の対応付けで、会話型処理を実現する。

なお、TCP セッションは照会 1 セッション、回答 4 セッションを基本とするが、5 セッション以内であればセッション数は会員の任意とする。

全銀手順では TTC 中のシーケンス番号は 1 ～ 6 5 5 3 5 と規定されているが、当プロトコルでは次のような制御を行う。

- ・照会セッション 6 5 5 3 5 に到達したとき、センター側が TCP セッションを切断する。
- ・回答セッション 6 4 0 0 0 を超えたとき、会員側が受信中の論理レコードを受信完了後 TCP セッションを切断する。

30 秒以内にダミー電文を送受信することにより、回線監視とセッションの継続を実現する。

照会側については、会員の選択により、ダミー電文を使用せずに 30 秒のタイムアウトでセッションの切断を許容し、開局要求から再開することも可能である（「開局要求／開局回答、ファイル開始要求／ファイル開始回答」が必要となる。）。

回答セッションの「ファイル終了要求」は、オンライン業務時間外にセンターから会員側へ送信する。

また、オンライン業務時間内に回答セッションを終了させる場合、会員から TCP セッションを切断することを許容する。

セッションレイヤで最初に取得できるメッセージは、情報漏えい防止のため SSL/TLS で暗号化を施している。

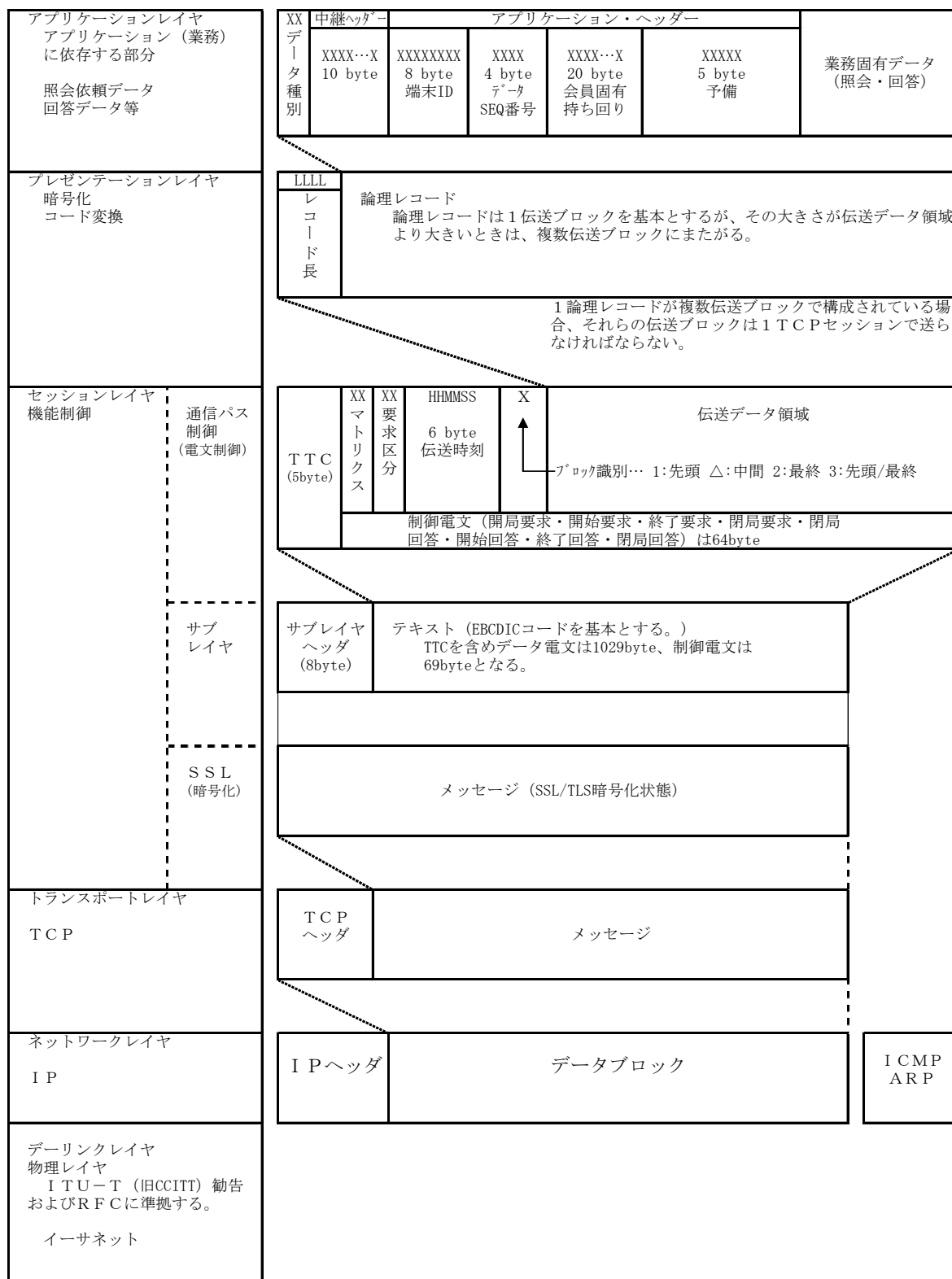
※ 会員システムの形態に応じ、IP アドレスを増やすことも可能とする。

（1 会員で 5 TCP セッションを超えて使用する場合は IP アドレスを増やすことで対応）

（４）プレゼンテーションレイヤ

将来的なデータ圧縮機能にも対応できるように考慮した。

1.6 各レイヤにおけるデータフォーマット

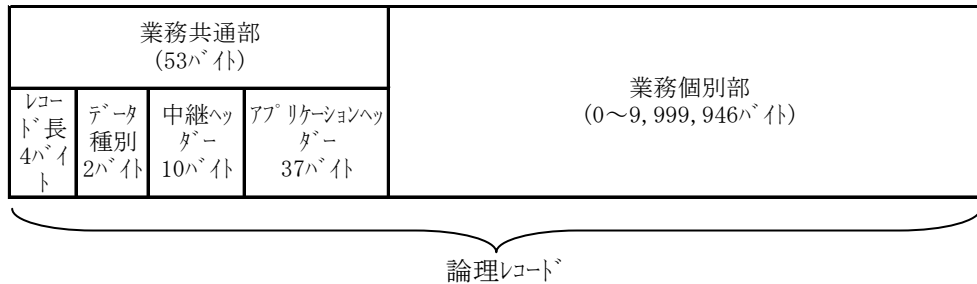


1.7 論理レコードと伝送ブロックの関連図

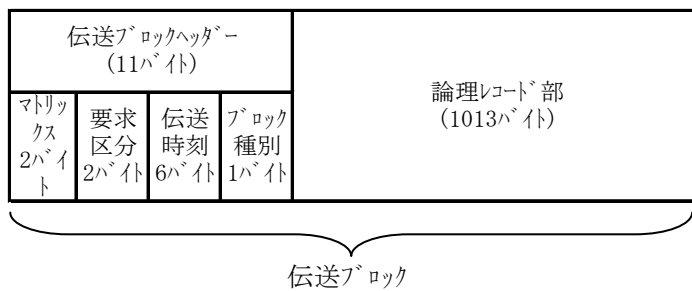
（１）論理レコードと伝送ブロック

漢字データ項目および回答情報量に対応するため、伝送ブロックとは独立に論理レコードの概念を導入する。1 伝送ブロックは 1 0 2 4 バイト固定とする。

【論理レコード】

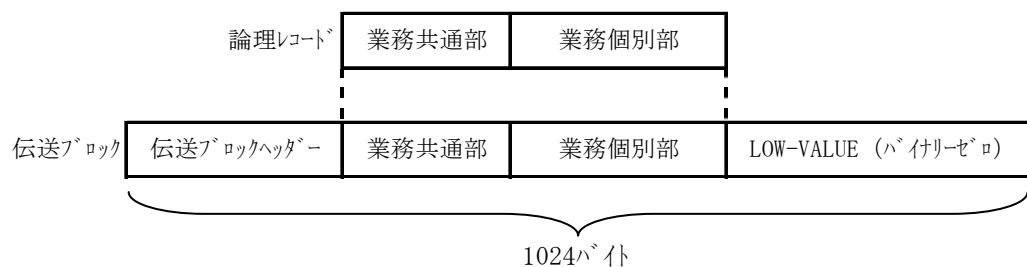


【伝送ブロック】



① 基本形式

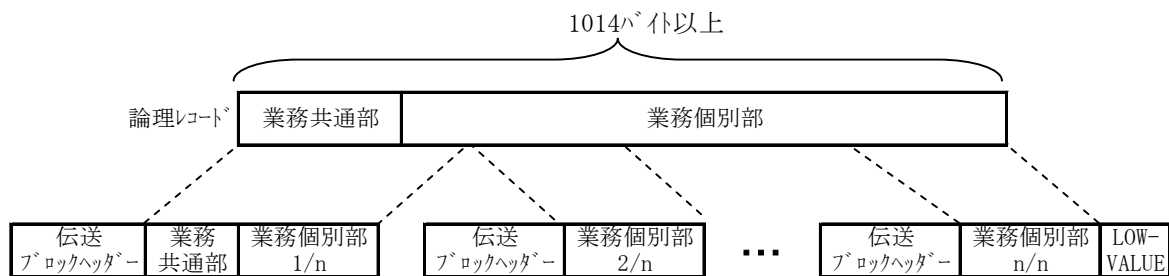
論理レコードの大きさが、業務電文（伝送ブロック）の論理レコード（1013 バイト）と等しいか、小さい場合にはその残りの部分（小さい場合）に LOW-VALUE（バイナリーゼロ）を詰めて、1 論理レコード 1 業務電文とする。



② 分割形式

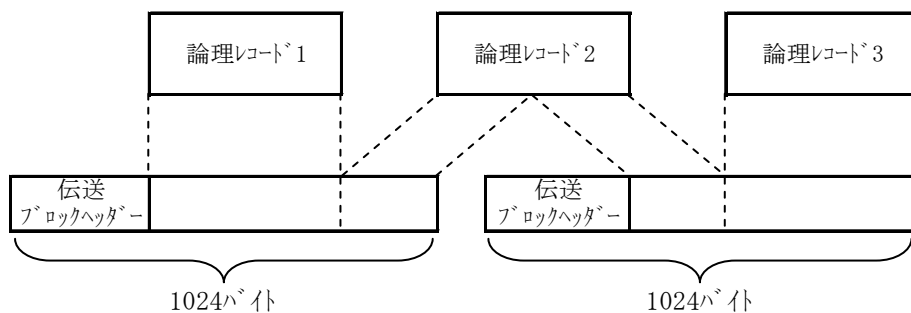
論理レコードの大きさが、業務電文（伝送ブロック）の論理レコード部（1013 バイト）より大きい場合には、複数の業務電文に分割する。

なお、1 論理レコードを構成する業務電文は、必ず 1 T C P セッションで連続して送信すること。また、伝送途中で回線障害等による中断が発生した場合には、論理レコードの先頭から再送する。



(2) 誤った伝送方式

論理レコードを複数の伝送ブロックにまたがって伝送することは不可とする。



1.8 暗号化について

当プロトコルでは、情報漏えい防止のためセンター会員間の電文はSSL/TLSで暗号化を施している。会員側は次のルールに従い、SSL/TLSを用いてセンターとの通信を行う。

- ・SSL 3.0またはTLS 1.0～TLS 1.2が使用可能である。ただし、従来の方式を使用している会員は速やかに推奨の方式への移行を行うことが望ましい。
- ・暗号化のための鍵交換のみ行い、サーバ認証は行わない。
- ・接続ポート番号は7020。

当プロトコルで使用可能な暗号スイート(注 1)は、セキュリティ強化を目的としてSSL/TLSのうち、鍵長128bit以上のものに限定する。

	プロトコル	暗号スイート	鍵長
従来の方式	SSL3.0	SSL_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA	168bit
		SSL_RSA_WITH_RC4_128_MD5	128bit
		SSL_RSA_WITH_RC4_128_SHA	128bit
	TLS1.0	TLS_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA	168bit
		TLS_RSA_WITH_RC4_128_MD5	128bit
		TLS_RSA_WITH_RC4_128_SHA	128bit
推奨の方式	TLS1.0	TLS_RAS_WITH_AES_128_CBC_SHA	128bit
	TLS1.1	TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA	256bit
	TLS1.2		
		TLS_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256 TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256	128bit 256bit

(注 1)暗号スイート

通信の整合性を保護するために使用する鍵交換アルゴリズム、対称暗号化アルゴリズム、セキュアハッシュアルゴリズムの組み合わせをいう。

(1) SSL/TLSとは

もともと SSL は Netscape Communications 社が提唱してきたもので、暗号技術を有効に活用して、インターネットを安全に利用することを目的としたプロトコルである。SSL 3.0 まで同社で開発されたが、インターネット標準とするべく検討の場が IETF に移された。その後、1999 年には標準化案がまとまり、TLS 1.0 という名称により、RFC2246 として公開されることとなった。

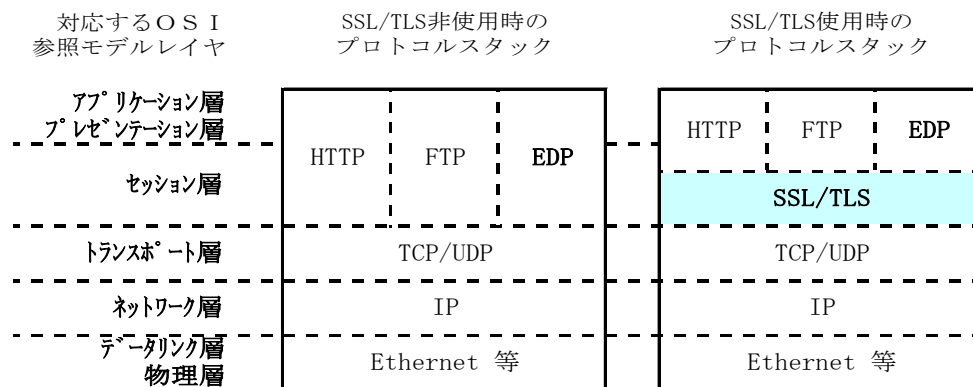
TLS 1.0 と SSL 3.0 との間に正確な互換性はないが、その仕様の違いはごくわずかなものになっている。実質的には SSL 3.0 のマイナーバージョンアップを行って、RFC 化したものが TLS 1.0 と考えてよい。実際、TLS 1.0 プロトコル中でのバージョン表記は“3.1”となっている。

2014 年 10 月に POODLE 攻撃が発表されたことにより特定の環境下での CBC モードの利用は危険であることが認識されている。POODLE 攻撃は、SSL3.0 におけるパディングチェックの仕方の脆弱性に起因しており、センターとしては SSL3.0 は選択可能であるが、推奨しない。

(2) TCP/IP スタックにおける SSL/TLS

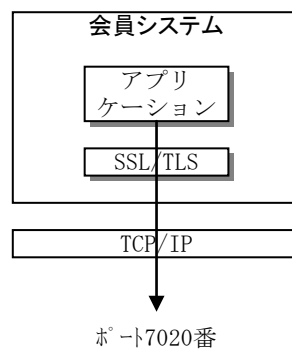
SSL/TLS はトランスポート層とアプリケーション層の間に位置し、TCP/UDP が提供する機能を使用し、そこから得られたデータに何らかのセキュリティ処理を施してその結果をアプリケーションに引き渡す。

そのため、本質的にあらゆるアプリケーションで SSL/TLS の機能を利用可能である。



会員は、会員システムに SSL/TLS に対応する機能等を組み込み（もしくは各ベンダーから販売されている SSL 暗号化機能対応済みの EDP 接続パッケージ等の選択）、常に電文の暗号化を実施する。

なお、TCP ポートは 7020 番を使用する。

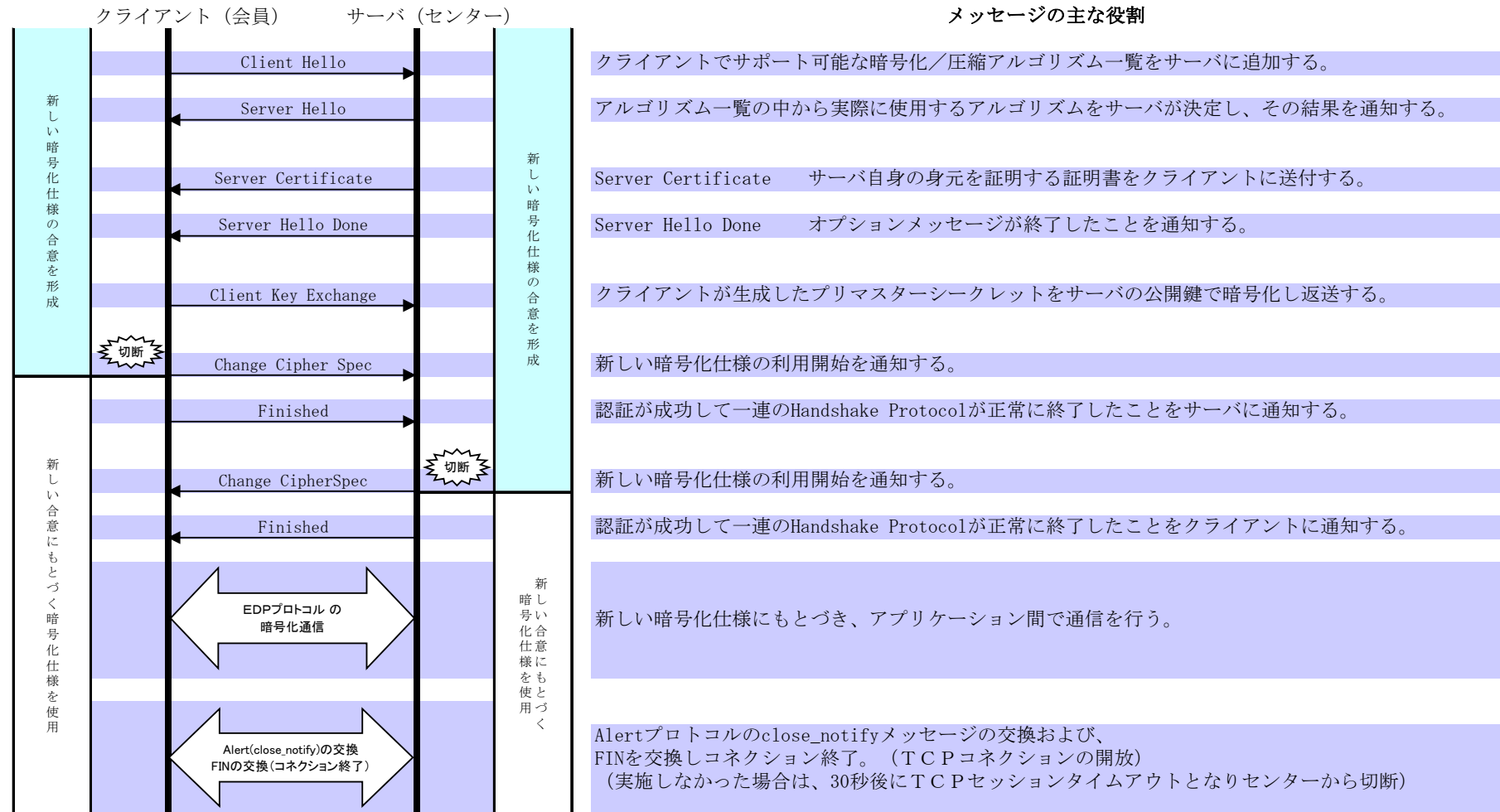


SSL/TLS 化プロトコルとポート番号。IANA ポート割りリストから、SSL/TLS 化に関するものの抜粋と EDP 接続プロトコルのアサインポート番号は以下のとおりである。

プロトコル名	ポート番号 (TCP/UDP)	説明
https	443	http protocol over TLS/SSL
nnntp	563	nnntp protocol over TLS/SSL (旧snntp)
ldaps	636	ldap protocol over TLS/SSL (旧sldap)
ftps-data	989	ftp protocol, data, over TLS/SSL
ftps	990	ftp protocol, control, over TLS/SSL
telnet	992	telnet protocol over TLS/SSL
imaps	993	imap4 protocol over TLS/SSL
ircs	994	irc protocol over TLS/SSL
pop3s	995	pop3 protocol over TLS/SSL (旧spop3)
edps	7020	EDP 接続手順 over TLS/SSL

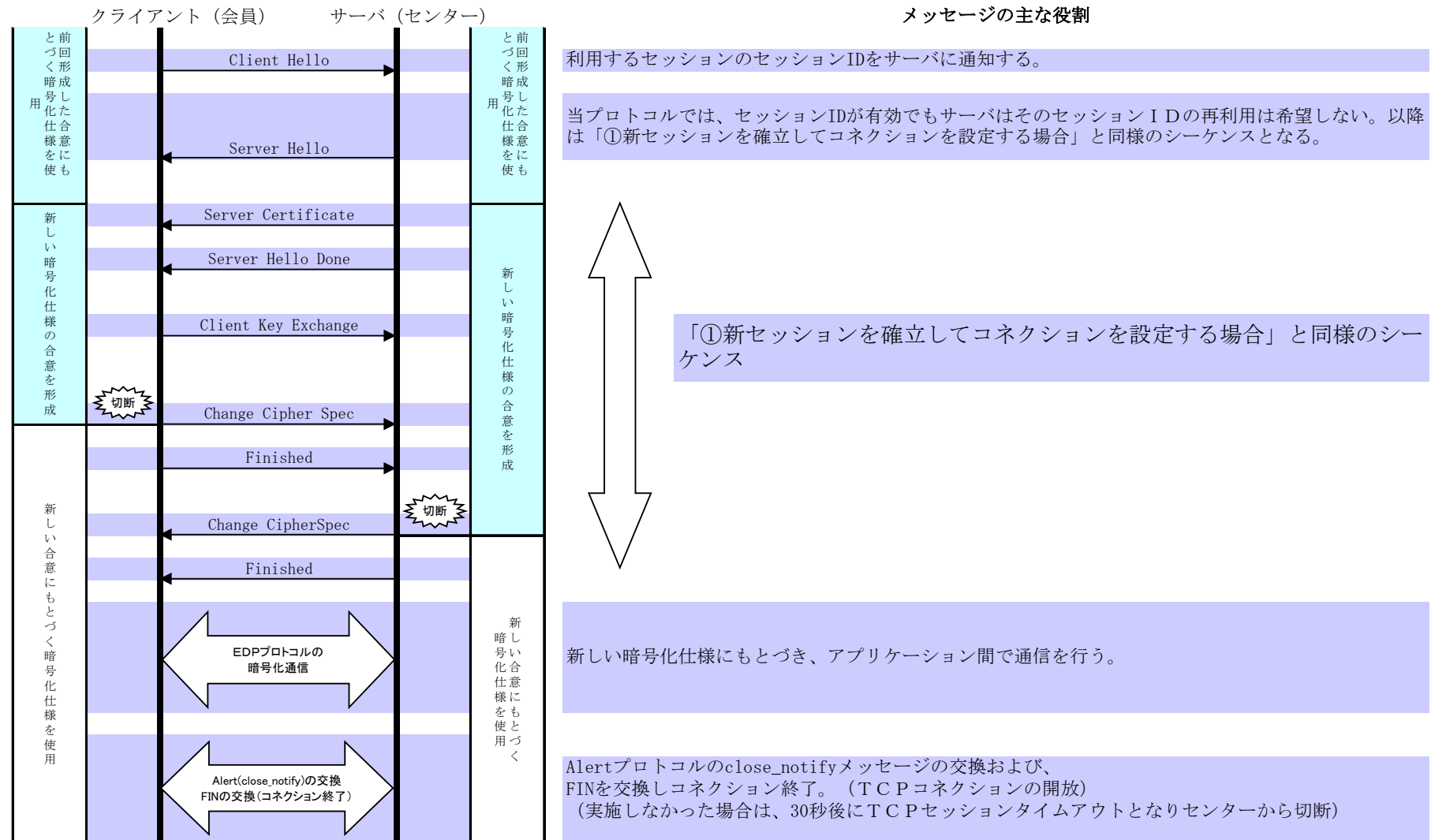
(3) SSL/TLSメッセージシーケンス

① 新セッションを確立してコネクションを設定する場合



② 既存セッションにもとづきコネクションを設定する場合（既存セッションで新たに暗号化仕様を形成するシーケンス）

* S S L 通信上許可されているシーケンスとして掲載しており、基本的に上記①の「新セッションの確立」シーケンスのみで運用が可能。



2. 伝送制御手順 (データリンクレイヤ)

2.1 当プロトコルにおける伝送制御

当プロトコルでは、『全銀協標準通信プロトコル TCP/IP手順 T-I-03（第3版）』に準拠し、伝送制御をTCP/IP、およびサブレイヤ制御を適用する。

3. 機能制御部 (セッションレイヤ)

3.1 機能制御関連の制約事項

本仕様書は、「全銀協標準通信プロトコル T C P / I P 手順 T - I - O 3（第3版）」に準拠しており、規定についての詳細は、同書を参照してほしい。

ここでは、主な制約・注意・補足事項について記述する。

1. 通信制御電文中のモード変更、伝送データの圧縮、再送機能は、採用しない。
2. 通信制御電文中の送信方向を示すモードにおいて、「0：連絡」は照会セッション、「1：照会」は回答セッションを意味する。
3. T C P セッションが切断した場合、会員から再度開局要求を送信し再接続を行う。
4. 1 0 2 4 バイト以外のテキスト（S H / T T C を含まない）が送信された場合、センターは T C P セッションを切断する。
5. 回答セッションの「ファイル終了要求」は、オンライン業務時間外となったタイミングでセンターから会員側へ送信する。
6. 論理 A C K を使用しない連続受信、連続送信は行わない。センターから会員側へ送信する際のサブレイヤの設定は常に M N 値 = 0（連続受信回数 0）、A F 値 = 0（当該メッセージに対し論理 A C K を要求）とし送信する。
7. T T C の情報区分にセットする値は以下の規約とする。

'00' 制御電文	…	開局要求、開局回答、 閉局要求、閉局回答、 ファイル開始要求、ファイル開始回答、 ファイル終了要求、ファイル終了回答
'01' データ電文	…	ダミー電文、回答取り出しなし通知、 サービス状況通知、すべての業務電文

3.2 制御電文種別

区分	電文名称	要求区分	電文区分	送信方向 会員 センター	電文の目的・意味
制御電文	開局要求		00	→	通信開始を要求し、送信方向（照会セッションまたは回答セッション）を設定する。
	開局回答		01	←	開局要求に対し、開局可否チェックの結果を回答する。
	ファイル開始要求		10	→	開局後、照会電文または回答電文の送信開始を通知する。
	ファイル開始回答		11	←	ファイル開始要求に対し、送信開始可否チェックの結果を回答する。
	ファイル終了要求		12	照会セッションの場合 → 回答セッションの場合 ←	照会電文または回答電文の送信終了を通知する。
	ファイル終了回答		13	照会セッションの場合 ← 回答セッションの場合 →	ファイル終了要求に対し、送信終了可否の結果を回答する。
	閉局要求		02	→	通信終了を要求する。
	閉局回答		03	←	閉局要求に対し、閉局可否チェックを行いその結果を回答する。

区分	電文名称	要求区分	データ 種別	送信方向 会員 センター	電文の目的・意味
制御電文（通知系）	ダミー電文	79		照会セッションの場合 → 回答セッションの場合 ←	TCPセッションの継続のため30秒毎に送信する。
	回答取り出しなし通知	80		回答セッションの場合 ←	回答が10件以上滞留していることを通知する。
	サービス状況通知	80	24	回答セッションの場合 ←	各サービスの再開の状況およびオンライン運用を通知する。

【要求区分の体系】

- ・70＝照会業務電文
- ・79＝制御電文（ダミー電文）
- ・80＝制御電文（通知関連）

3.3 制御電文フォーマット

（１）開局要求電文

通信開始を要求し、送信方向（照会セッションまたは回答セッション）を設定する。

項目		桁数	内容
電文区分		X(01)	通信制御電文区分を示す。16進数1byte。 "00"：開局要求電文
処理結果		X(01)	要求電文の内容チェックの結果を示す。16進数1byte。 "00"：正常（固定）
会員 (7バイト)	会員コード	X(06)	会員コードをセットする。英数字6byte。
	EDPサーバ識別コード	X(01)	当面使用しない。英数字1byte。0：（固定）
センターコード		X(07)	センター識別コード。英数字7byte。 照会では"981301△"(センターコード)とセットする。下1桁△はスペース。
通信年月日時分秒		X(06)	通信実行年月日と時刻をセットする。16進数6byte。 西暦下2桁年+月+日+時+分+秒 (時刻表示コードは、JISX0301に準拠する。) <例> 2002年8月21日9時23分55秒の場合、"020821092355"をセットする。
会員センター I D		X(06)	会員センター I D をセットする。英数字記号6byte。 (※1)
アプリケーション I D		X(01)	アプリケーションの種類を示す。英数字1byte。 0：ファイル伝送（固定）
モード		X(01)	ファイル伝送の方向を示す。英数字1byte。 0：連絡モード（照会側） 1：照会モード（回答側）
拡張用エリア		X(34)	LOW-VALUE(バイナリーゼロ) をセットする。（固定）

※1 会員センター I D の有効期限は3か月。会員は3か月以内にWEB端末から、会員センター I D の変更を実施しなければならない（詳細は「別添1 会員センター I D 管理体系」を参照）。

（２）開局回答電文

開局要求に対し、開局可否チェックの結果を回答する。

項目		桁数	内容
電文区分		X(01)	通信制御電文区分を示す。16進数1byte。 "01":開局回答電文
処理結果		X(01)	要求電文の内容チェックの結果を示す。複数のエラーが発生した場合、最初のエラーとなったコードをセットする。16進数1byte。 "00": 正常 "10": 電文区分エラー "11": 会員コードエラー "12": センターコードエラー "13": サービス時間帯エラー "14": 会員センター I Dエラー "15": アプリケーションエラー "16": 会員センター I D期限エラー "99": その他エラー
会員 (7バイト)	会員コード	X(06)	会員コードをセットする。英数字6byte。
	EDPサーバ識別コード	X(01)	当面使用しない。英数字1byte。0: (固定)
センターコード		X(07)	センター識別コード。英数字7byte。 照会では"981301△"(センターコード)とセットする。下1桁△はスペース。
通信年月日時分秒		X(06)	通信実行年月日と時刻をセットする。16進数6byte。 西暦下2桁年+月+日+時+分+秒 (時刻表示コードは、JISX0301に準拠する。) <例> 2002年8月21日9時23分55秒の場合、"020821092355"をセットする。
会員センター I D		X(06)	会員センター I Dをセットする。英数字記号6byte。
アプリケーション I D		X(01)	アプリケーションの種類を示す。英数字1byte。 0: ファイル伝送 (固定)
モード		X(01)	ファイル伝送の方向を示す。英数字1byte。 0: 連絡モード (照会側) 1: 照会モード (回答側)
拡張用エリア		X(34)	LOW-VALUE(バイナリーゼロ) をセットする。 (固定)

（３）閉局要求電文
通信終了を要求する。

項目		桁数	内容
電文区分		X(01)	通信制御電文区分を示す。16進数1byte。 "02":閉局要求電文
処理結果		X(01)	要求電文の内容チェックの結果を示す。16進数1byte。 "00":正常
会員 (7バイト)	会員コード	X(06)	会員コードをセットする。英数字6byte。
	EDPサーバ識別コード	X(01)	当面使用しない。英数字1byte。0:（固定）
センターコード		X(07)	センター識別コード。英数字7byte。 照会では"981301△"(センターコード)とセットする。下1桁△はスペース。
通信年月日時分秒		X(06)	通信実行年月日と時刻をセットする。16進数6byte。 西暦下2桁年+月+日+時+分+秒 (時刻表示コードは、JISX0301に準拠する。) <例> 2002年8月21日9時23分55秒の場合、"020821092355"をセットする。
会員センター I D		X(06)	会員センター I D をセットする。英数字記号6byte。 (※1)
アプリケーション I D		X(01)	アプリケーションの種類を示す。英数字1byte。 0:ファイル伝送（固定）
モード		X(01)	ファイル伝送の方向を示す。英数字1byte。 0:連絡モード（照会側） 1:照会モード（回答側）
拡張用エリア		X(34)	LOW-VALUE(バイナリーゼロ) をセットする。（固定）

※1 会員センター I D の有効期限は3か月。会員は3か月以内にWEB端末から、会員センター I D の変更を実施しなければならない（詳細は「別添1 会員センター I D 管理体系」を参照）。

（４）閉局回答電文

閉局要求に対し、閉局可否チェックを行いその結果を回答する。

項目		桁数	内容
電文区分		X(01)	通信制御電文区分を示す。16進数1byte。 "03":閉局回答電文
処理結果		X(01)	要求電文の内容チェックの結果を示す。複数のエラーが発生した場合、最初のエラーとなったコードをセットする。16進数1byte。 "00": 正常 "10": 電文区分エラー "11": 会員コードエラー "12": センターコードエラー "13": サービス時間帯エラー "14": 会員センター I Dエラー "15": アプリケーションエラー "16": 会員センター I D期限エラー "99": その他エラー
会員 (7バイト)	会員コード	X(06)	会員コードをセットする。英数字6byte。
	EDPサーバ識別コード	X(01)	当面使用しない。英数字1byte。0: (固定)
センターコード		X(07)	センター識別コード。英数字7byte。 照会では"981301△"(センターコード)とセットする。下1桁△はスペース。
通信年月日時分秒		X(06)	通信実行年月日と時刻をセットする。16進数6byte。 西暦下2桁年+月+日+時+分+秒 (時刻表示コードは、JISX0301に準拠する。) <例> 2002年8月21日9時23分55秒の場合、"020821092355"をセットする。
会員センター I D		X(06)	会員センター I Dをセットする。英数字記号6byte。
アプリケーション I D		X(01)	アプリケーションの種類を示す。英数字1byte。 0: ファイル伝送 (固定)
モード		X(01)	ファイル伝送の方向を示す。英数字1byte。 0: 連絡モード (照会側) 1: 照会モード (回答側)
拡張用エリア		X(34)	LOW-VALUE(バイナリーゼロ) をセットする。(固定)

（５）ファイル開始要求電文

開局後、照会電文または回答電文の送信開始を通知する。

項目		桁数	内容
電文区分		X(01)	ファイル制御電文区分を示す。16進数1byte。 "10":ファイル開始要求電文
処理結果		X(01)	要求電文の内容チェックの結果を示す。16進数1byte。 "00":正常
ファイル名 (12バイト)	産業別 コード	X(04)	日本工業規格の旧産業分類コード（JIS C6265）に定められている業界・業種 を示す。英数字4byte。"5020"（全銀協）をセット（固定）する。
	予備	X(08)	未使用。英数字8byte。 00000000 をセットする。（固定）
ファイルアクセスキー		X(06)	未使用。16進数6byte。 "000000000000"をセットする。（固定）
テキスト数		X(02)	同一ファイル伝送における総テキスト数をセットする。2進数2byte。 2進数で0をセットする。（固定）
レコード数		X(03)	同一ファイル伝送における論理レコード数をセットする。2進数3byte。 2進数で0をセットする。（固定）
レコードID		X(01)	同一ファイル中のレコードが固定長か可変長かを示す。英数字1byte。 0:固定長（固定）
レコード長		X(02)	同一ファイル中に含まれる1件の固定長レコードの長さを示す。2進数 2byte(TTCを含まず。)。2進数で"1024"をセットする。（固定）
再送指定区分		X(04)	再送は指定不可。2進数4byte。 2進数で0をセットする。（固定）
データ圧縮ID		X(01)	伝送データ圧縮を行っているかを示す。英数字1byte。 0:圧縮なし。（固定）
拡張用エリア		X(31)	LOW-VALUE(バイナリーゼロ) をセットする。（固定）

（６）ファイル開始回答電文

ファイル開始要求に対し、送信開始可否チェックの結果を回答する。

項目		桁数	内容
電文区分		X(01)	ファイル制御電文区分を示す。16進数1byte。 "11": ファイル開始回答電文
処理結果		X(01)	要求電文の内容チェックの結果を示す。複数のエラーが発生した場合、最初のエラーとなったコードをセットする。16進数1byte。 "00": 正常 "10": 電文区分エラー "11": ファイル名エラー "12": ファイルアクセスキーエラー "13": テキスト数エラー "14": レコード数エラー "15": レコード長エラー "18": レコードIDエラー "19": データ圧縮IDエラー "99": その他エラー
ファイル名 (12バイト)	産業別 コード	X(04)	日本工業規格の旧産業分類コード（JIS C6265）に定められている業界・業種を示す。英数字4byte。"5020"（全銀協）をセット（固定）する。
	予備	X(08)	未使用。英数字8byte。 00000000 をセットする。（固定）
ファイルアクセスキー		X(06)	未使用。16進数6byte。 "000000000000"をセットする。（固定）
テキスト数		X(02)	同一ファイル伝送における総テキスト数をセットする。2進数2byte。 2進数で0をセットする。（固定）
レコード数		X(03)	同一ファイル伝送における論理レコード数をセットする。2進数3byte。 2進数で0をセットする。（固定）
レコードID		X(01)	同一ファイル中のレコードが固定長か可変長かを示す。英数字1byte。 0: 固定長（固定）
レコード長		X(02)	同一ファイル中に含まれる1件の固定長レコードの長さを示す。2進数2byte(TTCを含まず。)。2進数で"1024"をセットする。（固定）
再送指定区分		X(04)	再送は指定不可。2進数4byte。 2進数で0をセットする。（固定）
データ圧縮ID		X(01)	伝送データ圧縮を行っているかを示す。英数字1byte。 0: 圧縮なし。（固定）
拡張用エリア		X(31)	LOW-VALUE(バイナリーゼロ) をセットする。（固定）

（7）ファイル終了要求電文

照会電文または回答電文の送信終了を通知する。

項目		桁数	内容
電文区分		X(01)	ファイル制御電文区分を示す。16進数1byte。 "12": ファイル終了要求電文
処理結果		X(01)	要求電文の内容チェックの結果を示す。16進数1byte。 "00": 正常
ファイル名 (12バイト)	産業別 コード	X(04)	日本工業規格の旧産業分類コード（JIS C6265）に定められている業界・業種 を示す。英数字4byte。"5020"（全銀協）をセット（固定）する。
	任意使用領域	X(08)	未使用。英数字8byte。 00000000 をセットする。（固定）
ファイルアクセスキー		X(06)	未使用。16進数6byte。 "000000000000"をセットする。（固定）
テキスト数		X(02)	同一ファイル伝送における総テキスト数をセットする。2進数2byte。 2進数で0をセットする。（固定）
レコード数		X(03)	同一ファイル伝送における論理レコード数をセットする。2進数3byte。 2進数で0をセットする。（固定）
レコードID		X(01)	同一ファイル中のレコードが固定長か可変長かを示す。英数字1byte。 0: 固定長（固定）
レコード長		X(02)	同一ファイル中に含まれる1件の固定長レコードの長さを示す。2進数 2byte(TTCを含まず。)。2進数で"1024"をセットする。（固定）
再送指定区分		X(04)	再送は指定不可。2進数4byte。 2進数で0をセットする。（固定）
データ圧縮ID		X(01)	伝送データ圧縮を行っているかを示す。英数字1byte。 0: 圧縮なし。（固定）
拡張用エリア		X(31)	LOW-VALUE(バイナリーゼロ) をセットする。（固定）

（８）ファイル終了回答電文

ファイル終了要求に対し、送信終了可否の結果を回答する。

項目		桁数	内容
電文区分		X(01)	ファイル制御電文区分を示す。16進数1byte。 "13": ファイル終了回答電文
処理結果		X(01)	要求電文の内容チェックの結果を示す。複数のエラーが発生した場合、最初のエラーとなったコードをセットする。16進数1byte。 "00": 正常 "10": 電文区分エラー "11": ファイル名エラー "12": ファイルアクセスキーエラー "13": テキスト数エラー "14": レコード数エラー "15": レコード長エラー "18": レコードIDエラー "19": データ圧縮IDエラー "99": その他エラー
ファイル名 (12バイト)	産業別 コード	X(04)	日本工業規格の旧産業分類コード（JIS C6265）に定められている業界・業種を示す。英数字4byte。"5020"（全銀協）をセット（固定）する。
	任意使用領域	X(08)	未使用。英数字8byte。 00000000 をセットする。（固定）
ファイルアクセスキー		X(06)	未使用。16進数6byte。 "000000000000"をセットする。（固定）
テキスト数		X(02)	同一ファイル伝送における総テキスト数をセットする。2進数2byte。 0:（固定）
レコード数		X(03)	同一ファイル伝送における論理レコード数をセットする。2進数3byte。 2進数で0をセットする。（固定）
レコードID		X(01)	同一ファイル中のレコードが固定長か可変長かを示す。英数字1byte。 0: 固定長（固定）
レコード長		X(02)	同一ファイル中に含まれる1件の固定長レコードの長さを示す。2進数2byte(TTCを含まず。)。2進数で"1024"をセットする。（固定）
再送指定区分		X(04)	再送は指定不可。2進数4byte。 2進数で0をセットする。（固定）
データ圧縮ID		X(01)	伝送データ圧縮を行っているかを示す。英数字1byte。 0: 圧縮なし。（固定）
拡張用エリア		X(31)	LOW-VALUE(バイナリーゼロ) をセットする。（固定）

（９）ダミー電文

TCPセッションの継続のため30秒以内に送信する。

項目		桁数	内容
伝送ブロックヘッダー	マトリックスID	X(02)	AA: 回答側マトリックスの識別（センター→会員の流れを基本とする。） BB: 照会側マトリックスの識別（会員→センターの流れを基本とする。）
	要求区分	X(02)	制御電文および業務電文の種別を示す。 79: ダミー電文
	伝送時刻	時	当該電文を送信した時刻の時をセットする。(00～23) 電文の調査および伝送時間の相対変動値の測定に使用する。
		分	当該電文を送信した時刻の分をセットする。(00～59)
		秒	当該電文を送信した時刻の秒をセットする。(00～59)
	ブロック種別	X(01)	論理レコードが複数の伝送ブロックにまたがったとき、伝送ブロック群の区切を示す。 3：論理レコードが伝送内に閉じている。(固定)
未使用		X(1013)	LOW-VALUE(バイナリーゼロ) をセットする。(固定)

会員およびセンターでは、セッション中の無通信時間（30秒）を監視する。

照会セッション：会員からセンターへダミー電文を送信する。

回答セッション：センターから会員へダミー電文を送信する。

※ 回線およびセンターのシステム状況により送信が遅れる場合があります。会員システムではタイムアウト時間に余裕をもたせることを推奨します。
なお、センターは回答セッションに対し20秒間隔でダミー電文を送信します。

（10）回答取り出しなし通知電文

回答が10件以上滞留していることを通知する。

項目		桁数	内容
伝送ブロックヘッダー	マトリックスID	X(02)	AA:回答側マトリックスの識別（センター→会員の流れを基本とする。） BB:照会側マトリックスの識別（会員→センターの流れを基本とする。）
	要求区分	X(02)	制御電文および業務電文の種別を示す。 80:運用に関する制御電文(通知系)
	伝送時刻	時	9(02) 当該電文を送信した時刻の時をセットする。(00～23) 電文の調査および伝送時間の相対変動値の測定に使用する。
		分	9(02) 当該電文を送信した時刻の分をセットする。(00～59)
		秒	9(02) 当該電文を送信した時刻の秒をセットする。(00～59)
	ブロック種別	X(01)	論理レコードが複数の伝送ブロックにまたがったとき、伝送ブロック群の区切を示す。 3:論理レコードが伝送内に閉じている。(固定)
共通部	センターコード	X(06)	センター識別コードをセットする。('981301')
	会員	会員コード	X(06) 会員コードをセットする。英数字6byte。
		E D Pサーバ識別コード	X(01) 当面使用しない。英数字1byte。0:(固定)
	予備	X(03)	スペースをセットする。
	会員センターID	X(06)	会員センターIDをセットする。英数字記号6byte。
	データ種別	X(02)	制御電文の種別の再分類を示す。(要求区分の再分類) 23:回答取り出しなしの通知電文…回答取り出しがなく10件以上 センター内に滞留したことを通知する。
	予備	X(12)	スペースをセットする。
	処理区分	X(02)	制御電文が応答電文の場合に、要求する結果を返す。 当該電文の場合必ず00をセットする。
個別部	起点時刻	時	9(02) 回答が一定件数以上滞留したときの起点となる時刻の時をセットする。(00～23)
		分	9(02) 回答が一定件数以上滞留したときの起点となる時刻の分をセットする。(00～59)
		秒	9(02) 回答が一定件数以上滞留したときの起点となる時刻の秒をセットする。(00～59)
	終点時刻	時	9(02) 回答が一定件数以上滞留したときの終点となる時刻の時をセットする。(00～23)
		分	9(02) 回答が一定件数以上滞留したときの終点となる時刻の分をセットする。(00～59)
		秒	9(02) 回答が一定件数以上滞留したときの終点となる時刻の秒をセットする。(00～59)
	予備	X(963)	LOW-VALUE(バイナリーゼロ)をセットする。(固定)

（11）サービス状況通知電文

各サービスの再開の状況及びオンライン運用を通知する。

項目		桁数	内容
伝送ブロックヘッダー	マトリックスID	X(02)	AA:回答側マトリックスの識別（センター→会員の流れを基本とする。） BB:照会側マトリックスの識別（会員→センターの流れを基本とする。）
	要求区分	X(02)	制御電文および業務電文の種別を示す。 80:運用に関する制御電文(通知系)
	伝送時刻	時	9(02) 当該電文を送信した時刻の時をセットする。(00～23) 電文の調査および伝送時間の相対変動値の測定に使用する。
		分	9(02) 当該電文を送信した時刻の分をセットする。(00～59)
		秒	9(02) 当該電文を送信した時刻の秒をセットする。(00～59)
	ブロック種別	X(01)	論理レコードが複数の伝送ブロックにまたがったとき、伝送ブロック群の区切を示す。 3:論理レコードが伝送内に閉じている。(固定)
共通部	センターコード	X(06)	センター識別コードをセットする。('981301')
	会員	会員コード	X(06) 会員コードをセットする。英数字6byte。
		E D Pサーバ識別コード	X(01) 当面使用しない。英数字1byte。0:(固定)
	予備	X(03)	スペースをセットする。
	会員センター I D	X(06)	会員センター I Dをセットする。英数字記号6byte。
	データ種別	X(02)	制御電文の種別の再分類を示す。(要求区分の再分類) 24:サービス状況通知電文…各種サービスごとの稼働状況を通知する。
	予備	X(12)	スペースをセットする。
	処理区分	X(02)	制御電文が応答電文の場合に、要求する結果を返す。 当該電文の場合必ず00をセットする。
個別部	時刻	時	9(02) サービス状況を通知した時刻の時をセットする。(00～23)
		分	9(02) サービス状況を通知した時刻の分をセットする。(00～59)
		秒	9(02) サービス状況を通知した時刻の秒をセットする。(00～59)
	サービス種類	X(02)	01:個信センター 02:JICC 03:CIC
	サービス状況	X(02)	01:障害復旧 02:照会終了 03:回答終了 04:強制終了(現在未使用)
	予備	X(965)	LOW-VALUE(バイナリーゼロ)をセットする。(固定)

3.4 業務電文フォーマット

（１）業務電文共通フォーマット

アプリケーションレイヤでの論理レコードの伝送を行う。基本形は以下のとおりで詳細は各業務電文で項目等を規定する。

項目		桁数	内容
伝送ブロックヘッダー	マトリックスID	X(02)	AA:回答側マトリックスの識別（センター→会員の流れを基本とする。） BB:照会側マトリックスの識別（会員→センターの流れを基本とする。）
	要求区分	X(02)	制御電文および業務電文の種別を示す。 70:照会電文・回答電文
	伝送時刻	時	9(02)
		分	9(02)
		秒	9(02)
	ブロック種別	X(01)	論理レコードが複数の伝送ブロックにまたがったとき、伝送ブロック群の区切を示す。 1：論理レコードが2伝送ブロック以上になるとき、その先頭ブロック △：論理レコードが3伝送ブロック以上になるとき、その中間ブロック 2：論理レコードが2伝送ブロック以上になるとき、その最終ブロック 3：論理レコードが伝送内に閉じている。 (△：スペース)
論理レコード部		X(1013)	論理レコードを格納する領域。 この詳細レイアウト等は次ページ以降。

（２）論理レコードの一般フォーマット

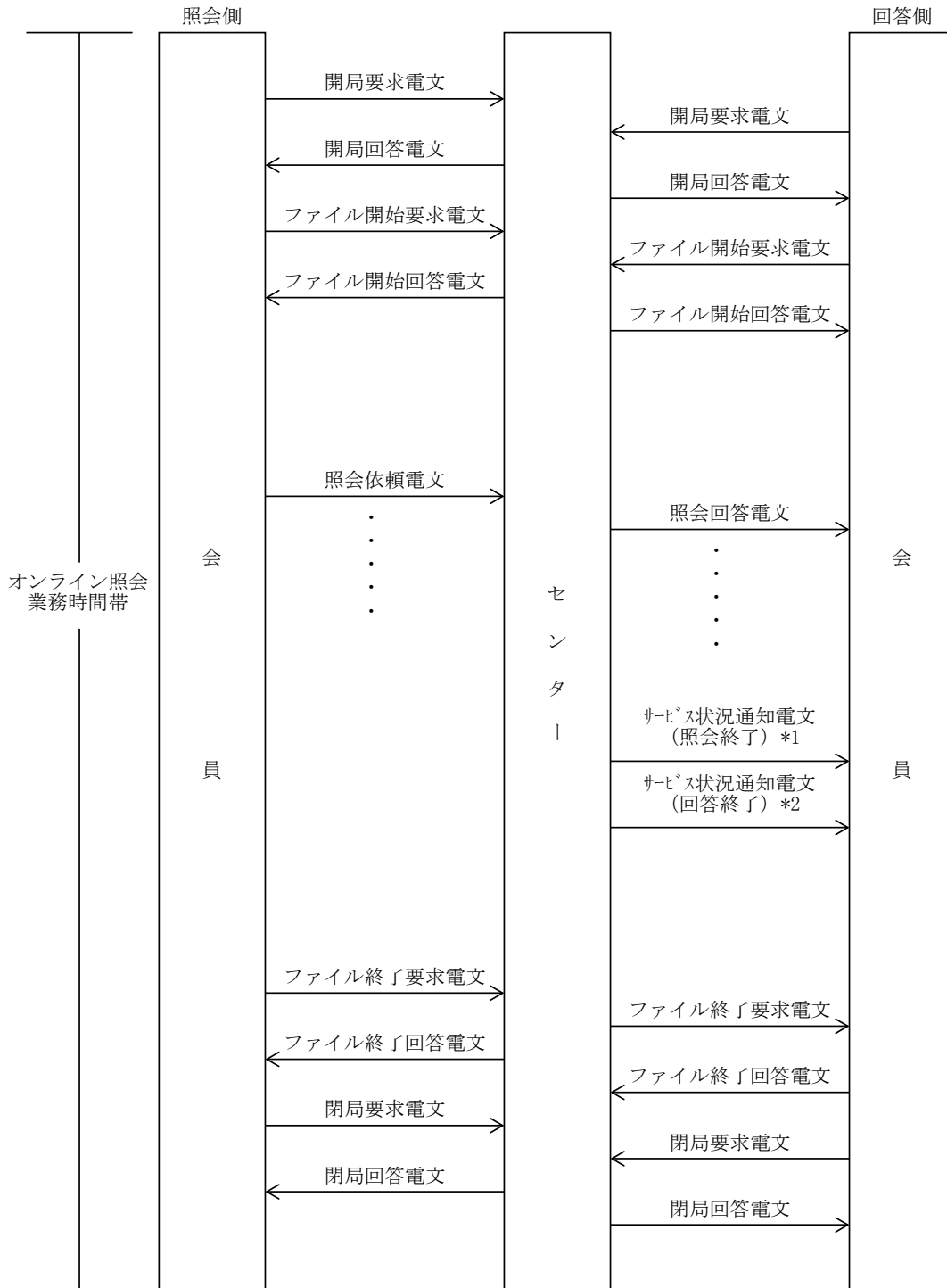
論理レコード部の一般フォーマット 照会・回答レコード（一般形式であり個別の仕様が優先する。）

項目			桁数	内容
業務共通部	レコード長		P9(07)	論理レコードの長さ（バイト長）を、バイナリ表現で4byteで示す。 (4～9999999) …レコード長自身を含む。
	レコード種別		X(02)	英数字2桁で、論理レコードの種別を示す。
	中継ヘッダー		X(10)	会員固有の持ち回り情報として使用する。 (会員側自由設定)
	アプリケーション・ヘッダー	端末 I D	X(08)	端末からの会話を中継する場合に、それらの端末を識別できるレコードを記録する。持ち回り情報は、照会データに付加した内容がそのまま対応する回答データに付加されて帰ってくる（以下同じ。）。 (会員側自由設定)
		データ S E Q 番号	X(04)	端末から会話を中継する場合に、端末内のトランザクションを識別できるコードを記録する。 (会員側自由設定)
		会員固有情報	X(20)	持ち回り情報が、端末 I D とデータ S E Q 番号だけでは不足である場合に、追加持ち回り情報を記録する。 (会員側自由設定)
		予備	X(05)	スペースをセットする。
業務個別部	任意		X(0) ～ X(9999946)	各業務電文レイアウトを参照。

3.5 送信側（会員側）状態遷移表

受信電文		通信制御電文		ファイル制御電文			データ電文	タイムアウト
状態		P 1 開局回答電文	P 2 閉局回答電文	P 4 ファイル開始回答電文	P 5 ファイル終了回答電文	P 7 ファイル終了要求電文	P 8 データ電文	P 9 タイムアウト
通信 制御 電文	S 1 0 開局要求電文 送信後応答待ち	・開始要求電文送信 → S 1 3 ・項目エラーの場合 回線切断〔項目エラー〕	・回線切断〔障害〕	同左	同左	同左	同左	同左
	S 1 1 閉局要求電文 送信後応答待ち	・回線切断〔障害〕	・回線切断〔通信終了〕 ・項目エラーの場合 回線切断〔項目エラー〕	・回線切断〔障害〕	同左	同左	同左	同左
フ ア イ ル 制 御 電 文	S 1 3 ファイル開始要求電文 送信後応答待ち	・回線切断〔障害〕	同左	□照会モード（照会側BB） データ電文送信後終了 要求電文送信 → S 1 4 □回答モード（回答側AA） → S 1 6 □項目エラーの場合 回線切断〔項目エラー〕	・回線切断〔障害〕	同左	同左	同左
	S 1 4 ファイル終了要求電文 送信後応答待ち	・回線切断〔障害〕	同左	同左	・閉局要求電文送信 → S 1 1 ・項目エラーの場合 回線切断〔項目エラー〕	・回線切断〔障害〕	同左	同左
デ ー タ 電 文	S 1 6 データ電文待ち または、ダミー電 文待ち	・回線切断〔障害〕	同左	同左	同左	・ファイル終了回答電文 および閉局要求電文 送信 → S 1 1 ・項目エラーの場合 回線切断〔項目エラー〕	・S T O R E → S 1 6	・回線切断 〔障害〕

3.6 オンライン照会業務処理フロー



*1 会員は、センターから送信されるサービス状況通知電文の照会終了を受信後、リアルタイム照会電文の送信を行わない。

*2 センターは、リアルタイム照会回答終了時刻となったとき会員宛にサービス状況通知電文のリアルタイム回答終了の送信を行い、会員の受領確認を待つて各回答セッションでファイル終了要求電文を送信する。

※サービス状況通知電文は、同一センター区分のいずれかの回答セッションに送信される。

センターからのファイル終了要求電文の送信は、照会終了（サービス状況通知電文）を同一センター区分内のいずれかの回答セッションで受信した場合に送信する。

※サービス状況通知電文（照会または回答終了）を受信後、ファイル終了電文／閉局電文のシーケンスが正常に行えずにコネクション断となった場合は、閉局とみなすことから終了処理を再度実施する必要はない。

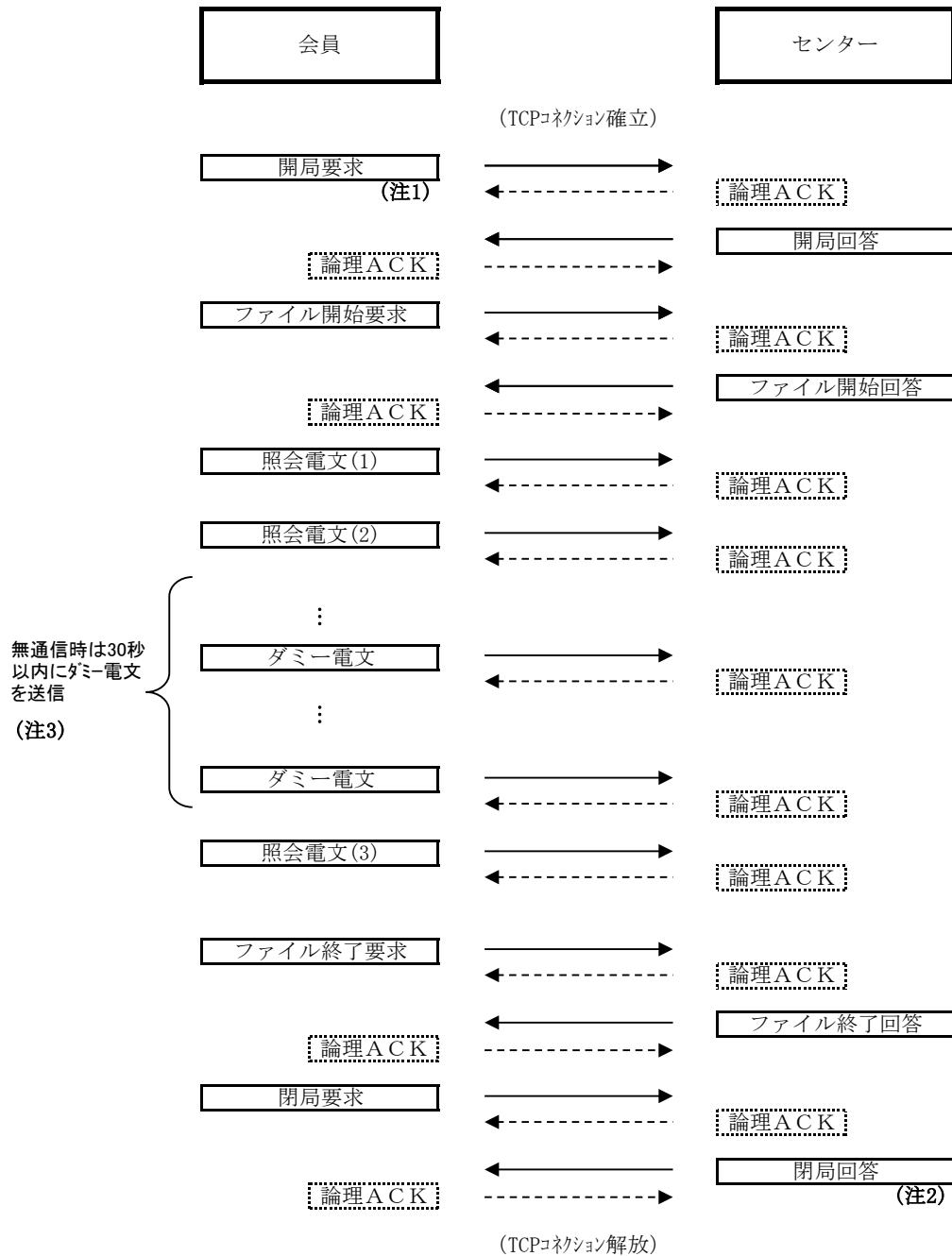
3.7 電文シーケンス

(1) 正常時のシーケンス

- ① 通常の照会（照会セッション）
- ② 通常の回答（回答セッション）

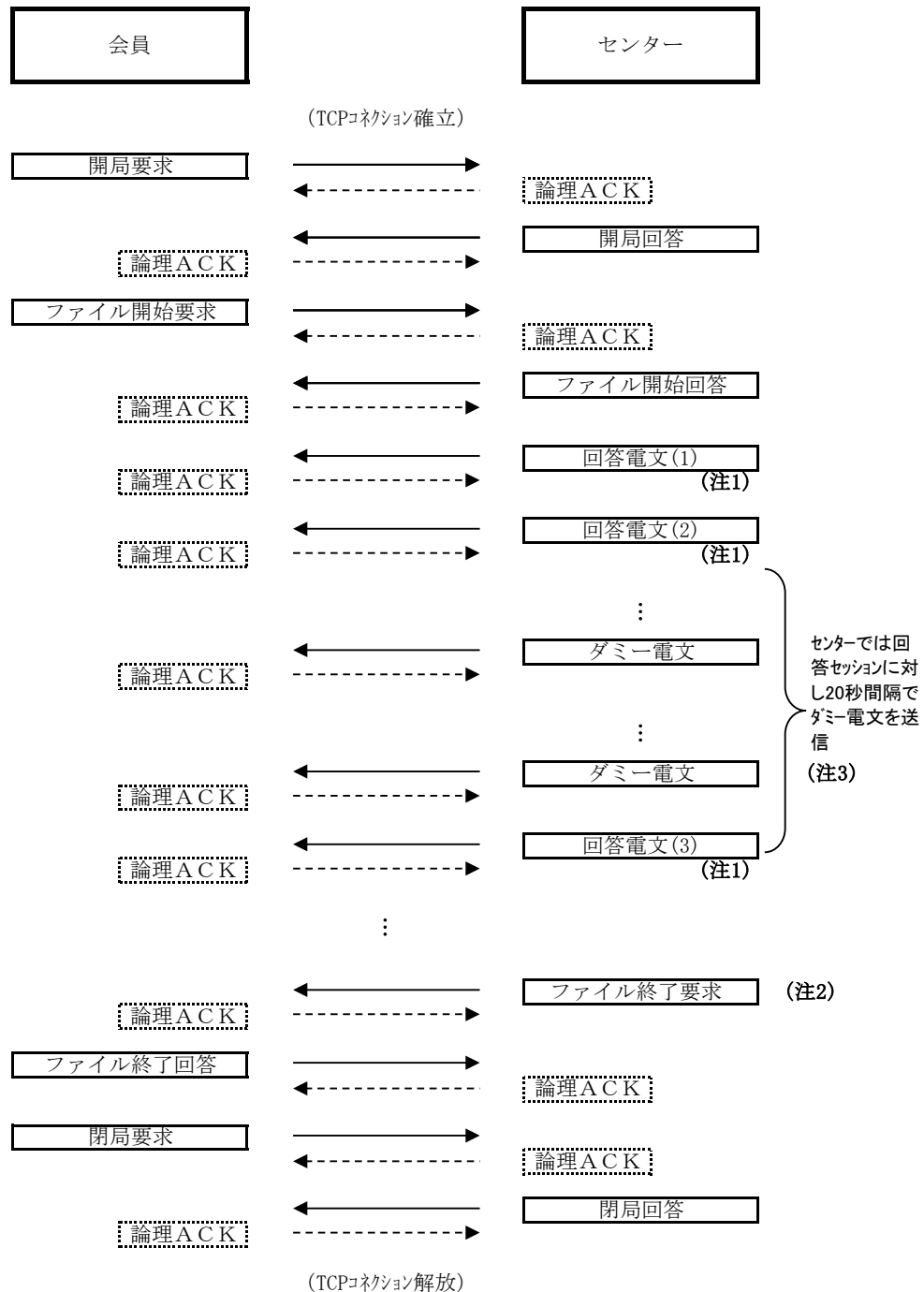
※照会セッションまたは回答セッションへのセッション属性の切替えは、セッションを切断して別のセッション属性による開局処理から開始することで可能。

① 通常の照会（照会セッション）



- (注1) 使用するセッション分、開局要求電文を送信する。
センターは、開局要求電文の送信を受けたTCPセッション毎に開局回答電文を送信する。
- (注2) 照会セッションで、閉局回答電文を受信後、会員は回答セッションのTCPセッション切断する。
*会員が閉局回答受信前にTCPコネクション切断することを許容する。
- (注3) 照会セッションで照会電文を複数の伝送ブロックに分割し、会員側から送信する先頭と中間、中間と中間、あるいは中間と最終との間に30秒の間隔が空く場合、会員側からダミー電文を送信する。
また、ファイル終了回答受信後、閉局要求電文送信が30秒以上かかるおそれがある場合もダミー電文を送信する（閉局回答電文受信後は、TCPコネクション切断）。
ダミー電文の送信は、30秒より早く行っても問題ない（「無通信20秒でダミー電文送信する」等）。

② 通常の回答（回答セッション）



(注1) 回答電文の送信順序は、回答の作成タイミング等に依存するため、照会電文の送信順序とは必ずしも一致しない。

(注2) 回答セッションのファイル終了要求は、オンライン終了時の回答終了通知（サービス状況通知）を会員側で受領したことを確認したときセンターから送信する。
ただし、回答終了通知は回答データが滞留している間は送信されない。

(注3) センターでは回答セッションに対し20秒間隔でダミー電文を送信する。

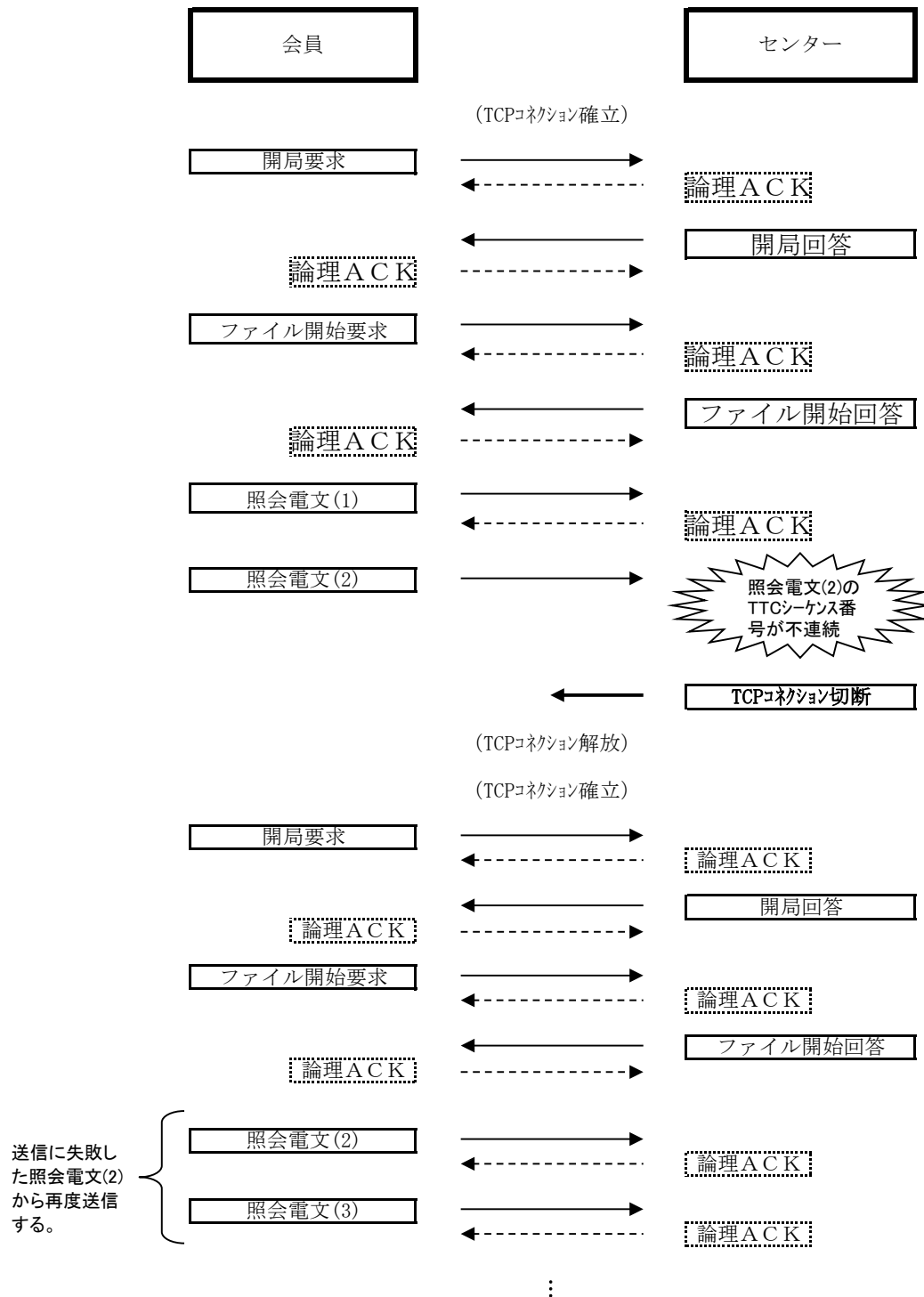
(2) 異常時のシーケンス

- ① TTCシーケンス番号エラー（照会セッション）
- ② TTCシーケンス番号エラー（回答セッション）
- ③ TTCシーケンス番号の制限超過（回答セッション）
- ④ センター側障害によるTCP切断（照会セッション）
- ⑤ センター側障害によるTCP切断（回答セッション）
- ⑥ タイムアウト（照会セッション）
- ⑦ タイムアウト（回答セッション）
- ⑧ 回線障害（照会セッション）
- ⑨ 回線障害（回答セッション）
- ⑩ 電文シーケンスエラー
- ⑪ オンライン業務時間外に開局要求を送信した場合
- ⑫ オンライン業務時間外に照会電文を送信した場合
- ⑬ 照会が10件以上滞留している場合

① TTCシーケンス番号エラー（照会セッション）

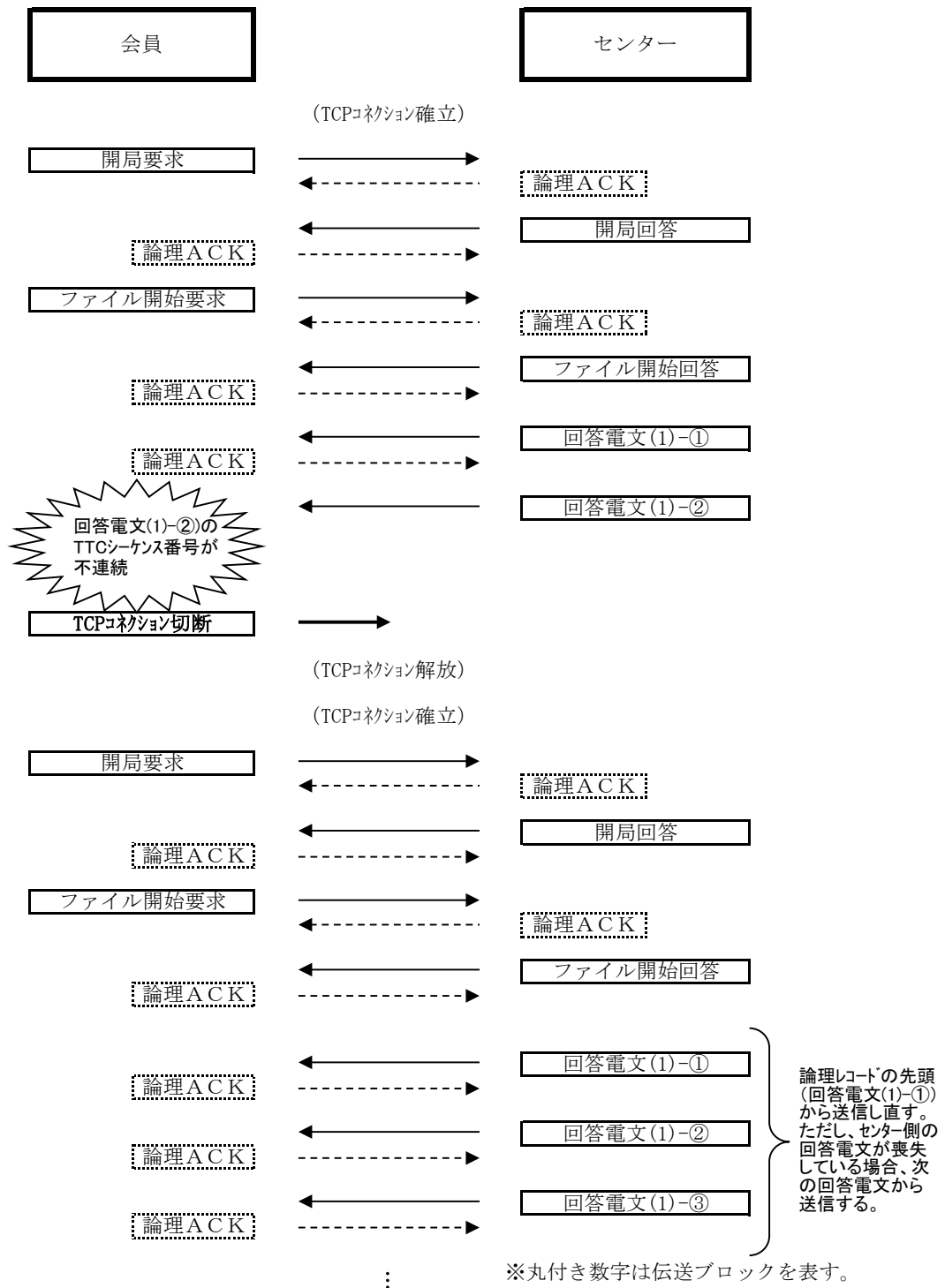
※次の場合シーケンス番号エラーとする。

- ・番号が65535に到達した場合
- ・番号が不連続の場合



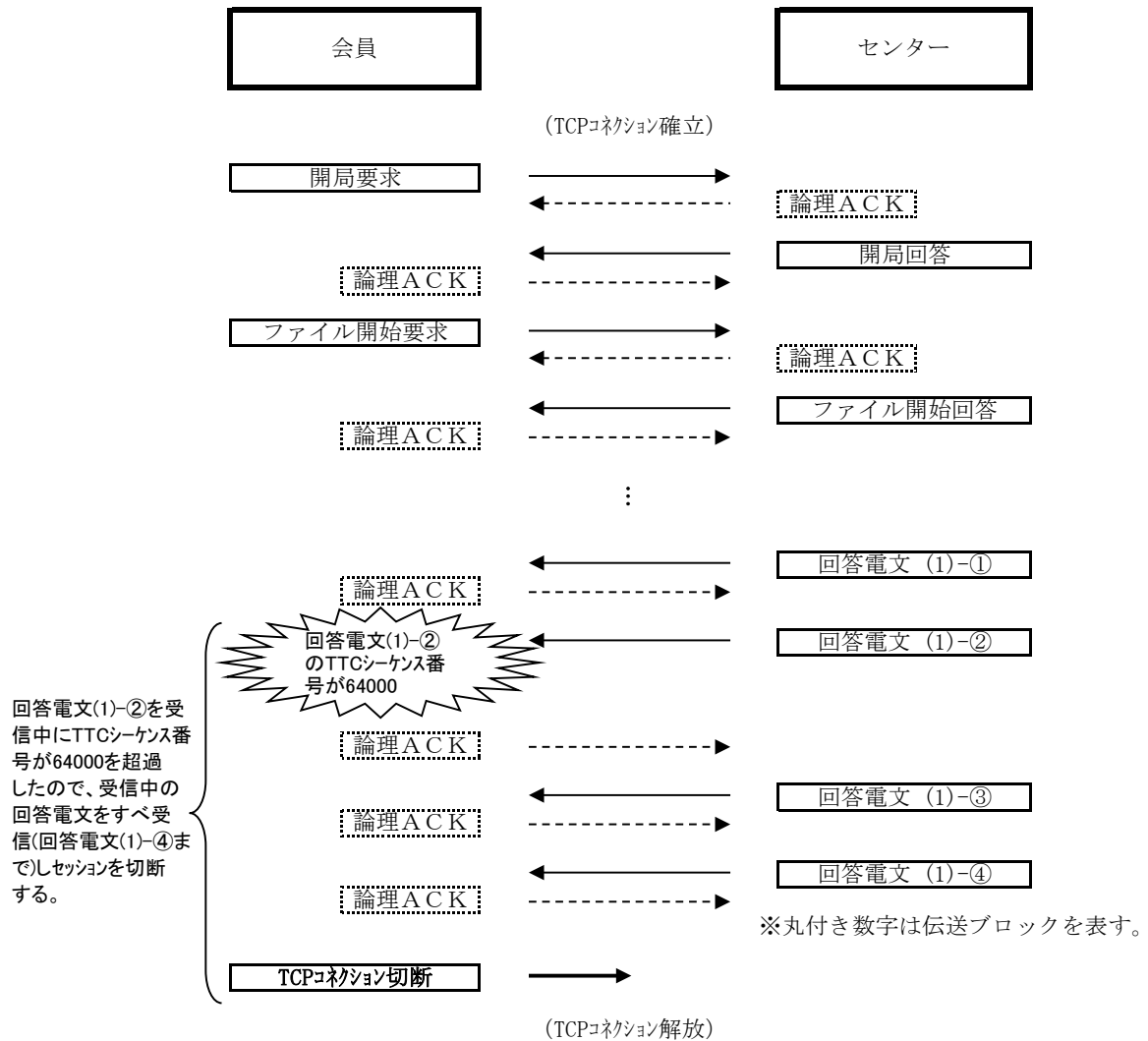
② TTCシーケンス番号エラー（回答セッション）

※次の場合シーケンス番号エラーとする。
・番号が不連続の場合



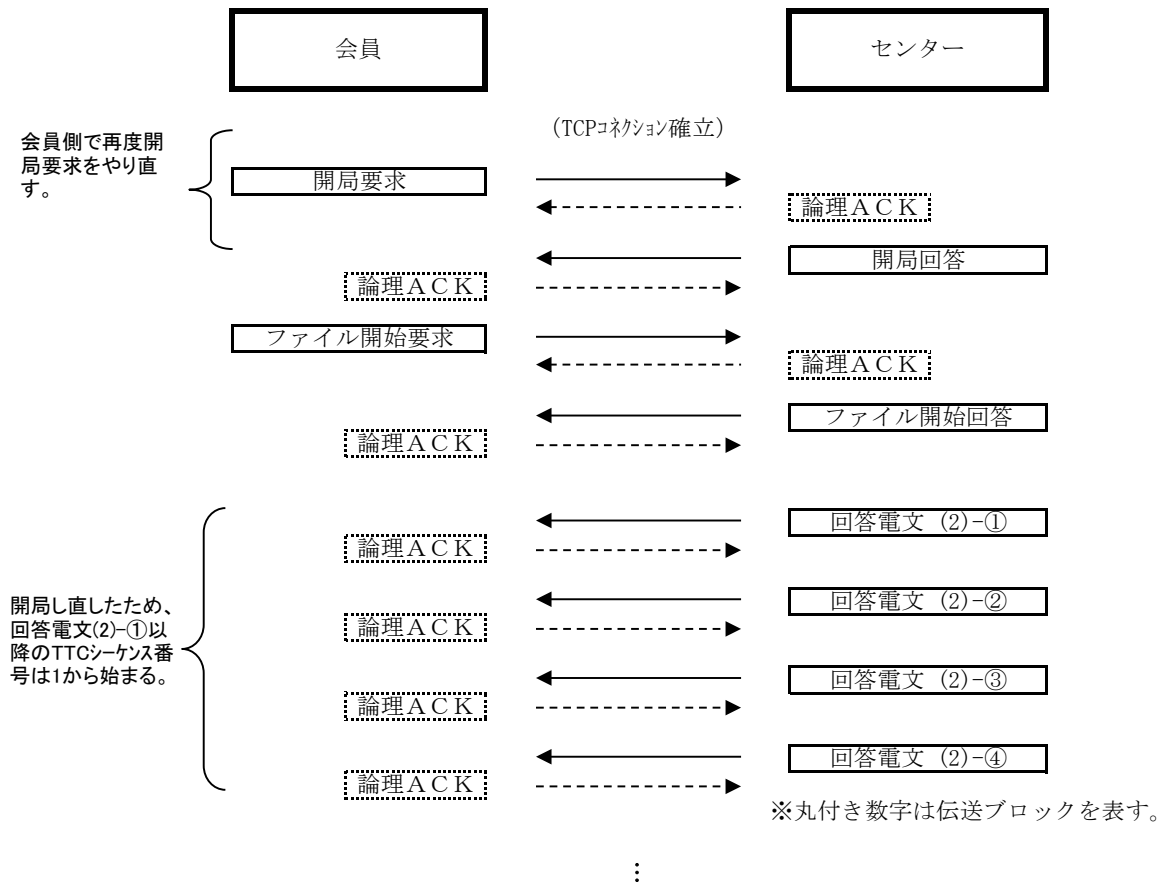
③ TTCシーケンス番号の制限超過（回答セッション）

※回答セッションのシーケンス番号は64000超過でTCPセッションを切断し、開局要求からやり直す。ただし、64000超過時点で分割されている論理レコード（回答電文）を受信中の場合、分割された論理レコードをすべて受信後、TCPセッションを切断する。

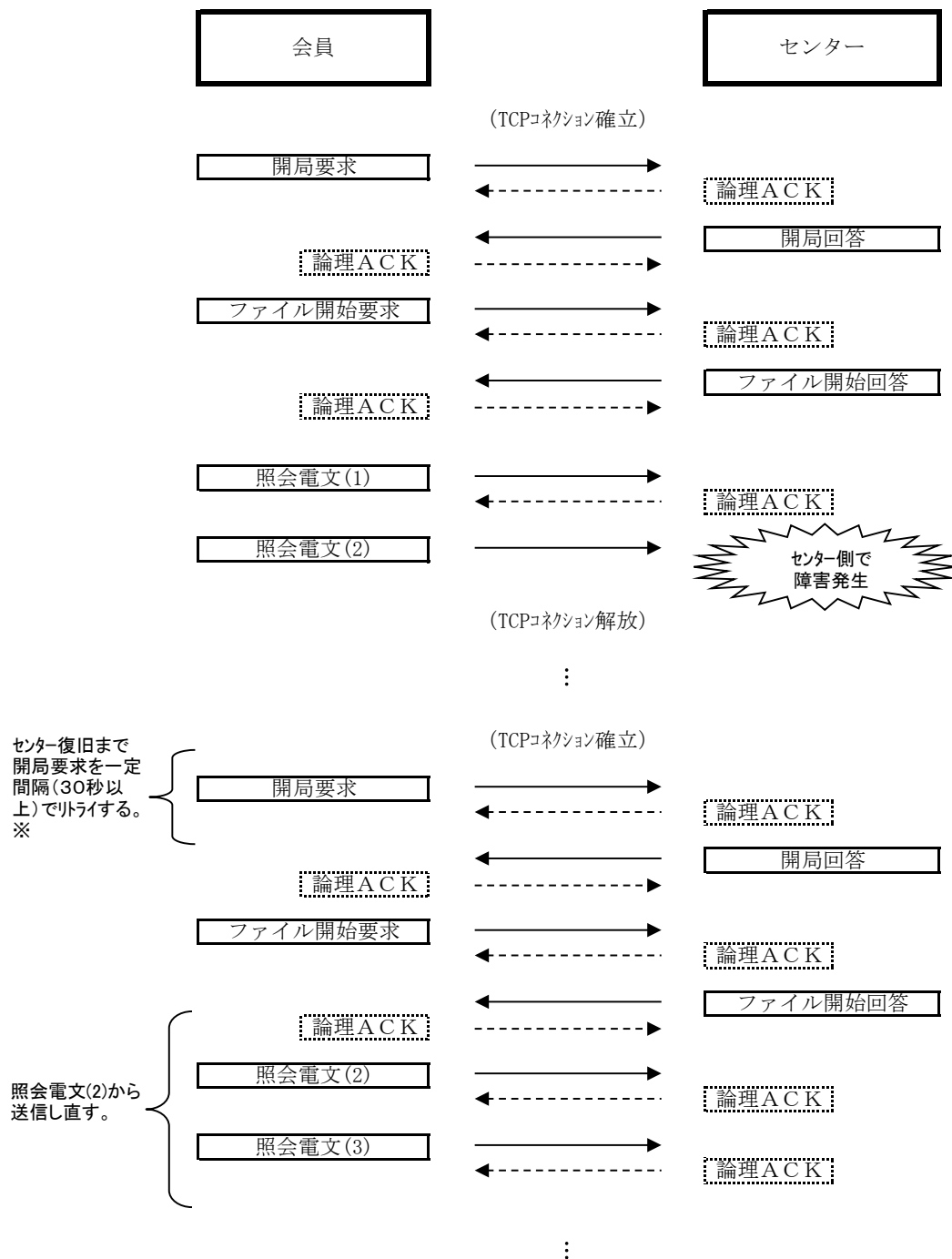


(続く)

（続き）

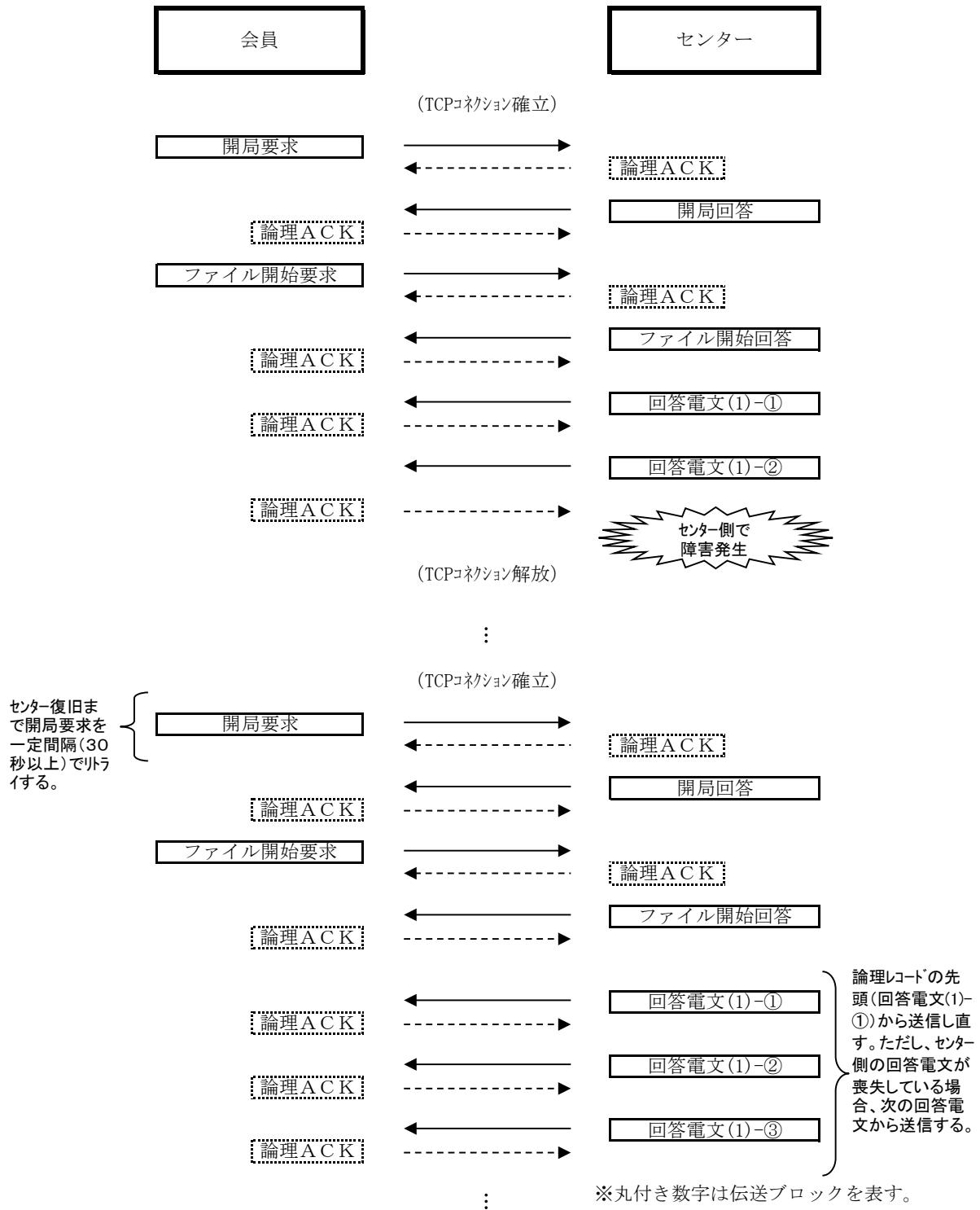


④ センター側障害によるTCP切断（照会セッション）

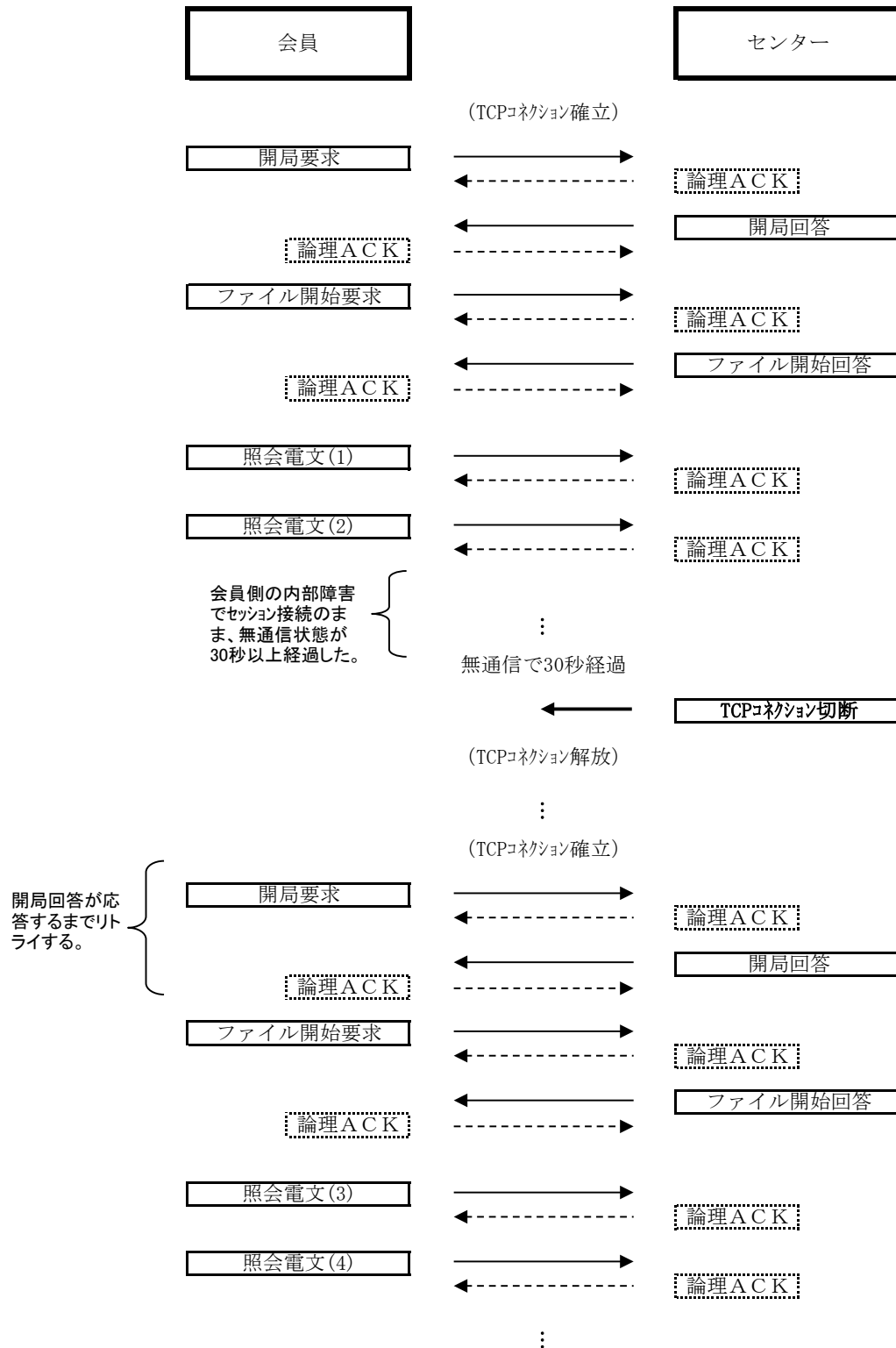


※開局要求に対して論理ACKまたは開局回答の送信がセンターからない場合、TCPコネクションをいったん解放し、TCPコネクションの確立から行う方法でも問題ない。

⑤ センター側障害によるTCP切断（回答セッション）

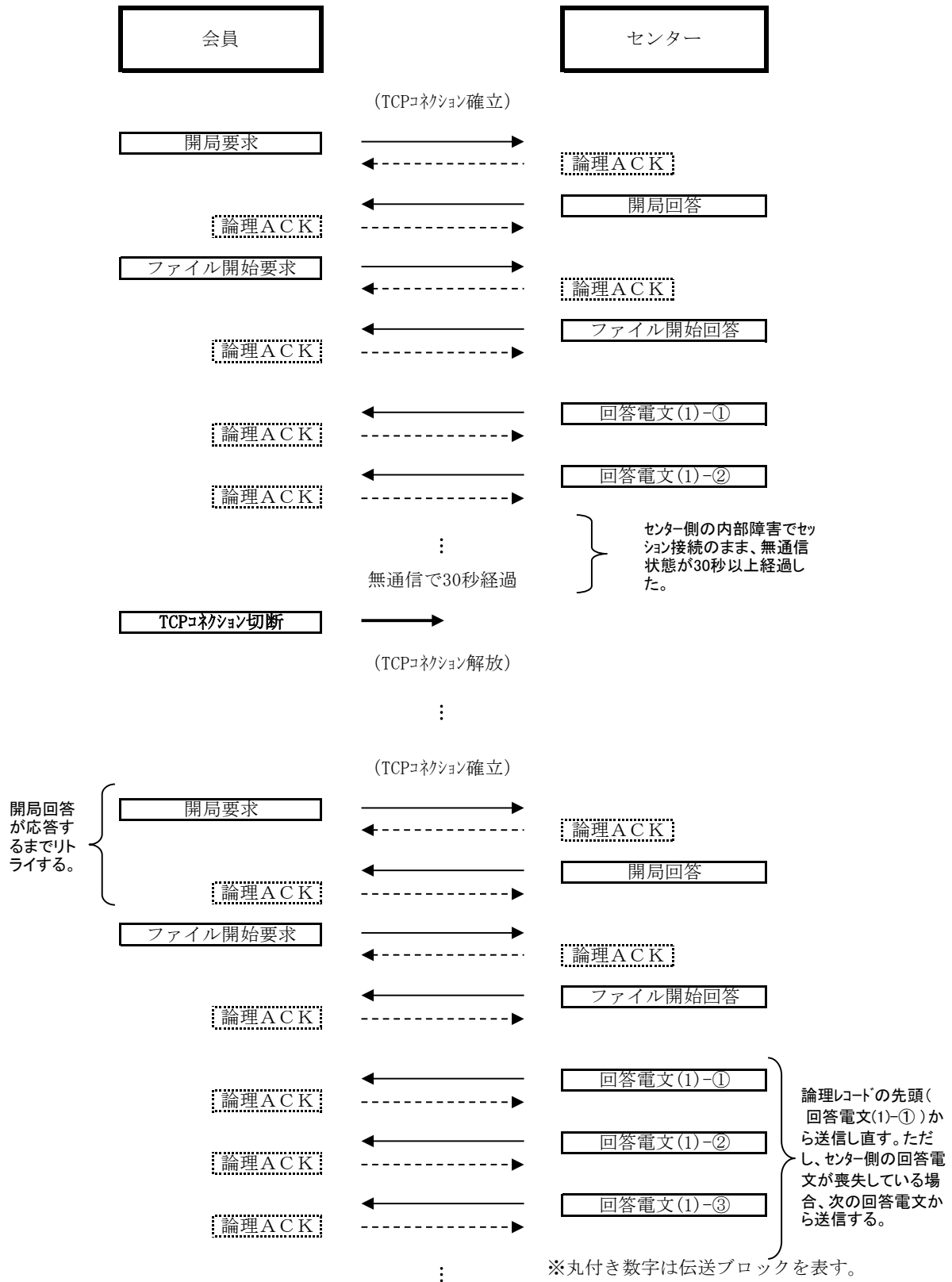


⑥ タイムアウト（照会セッション）

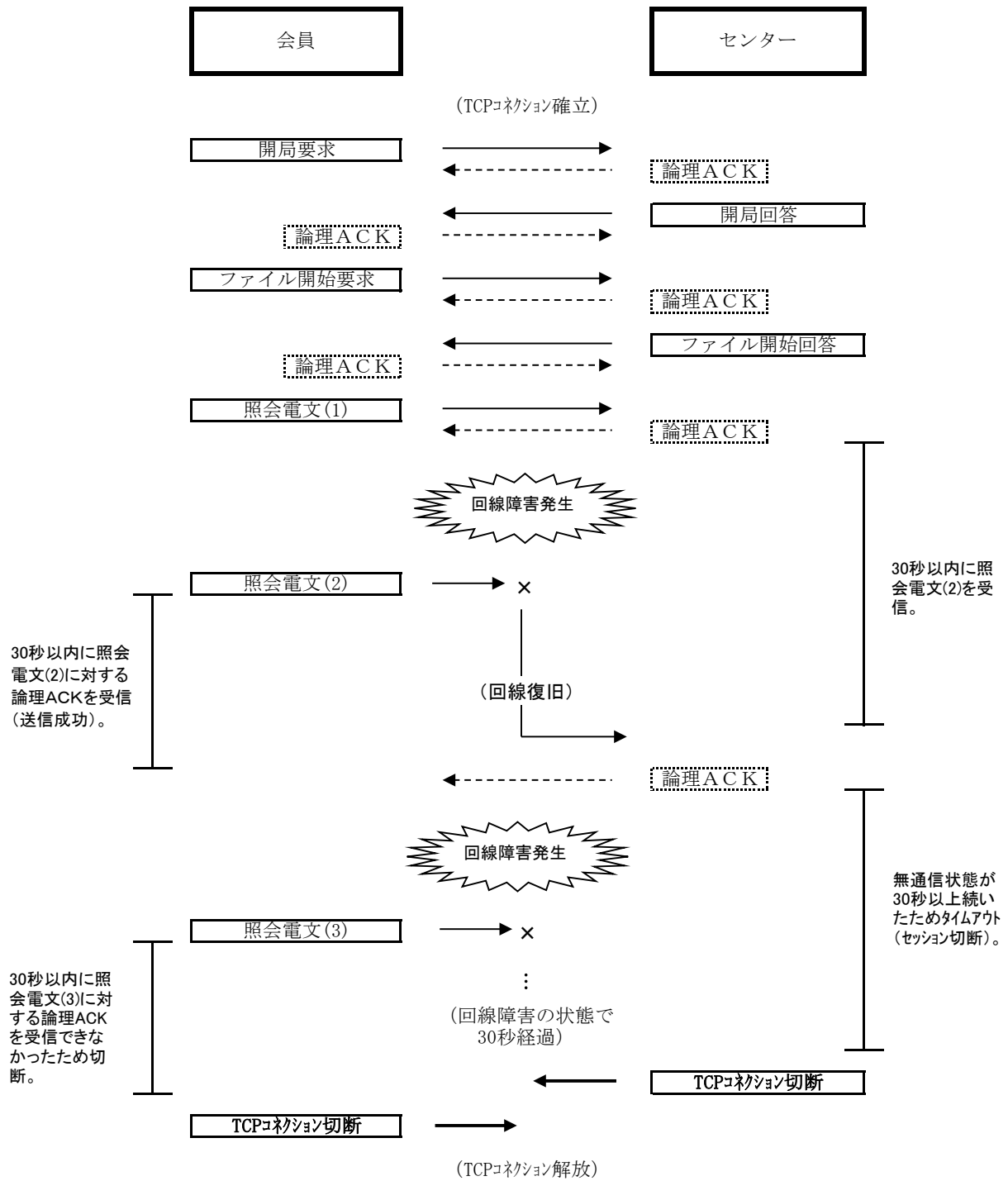


* T C Pコネクション確立からファイル開始回答までに、会員側無通信監視においてタイムアウトになった場合、T C Pコネクションを切断しても問題ない。

⑦ タイムアウト（回答セッション）

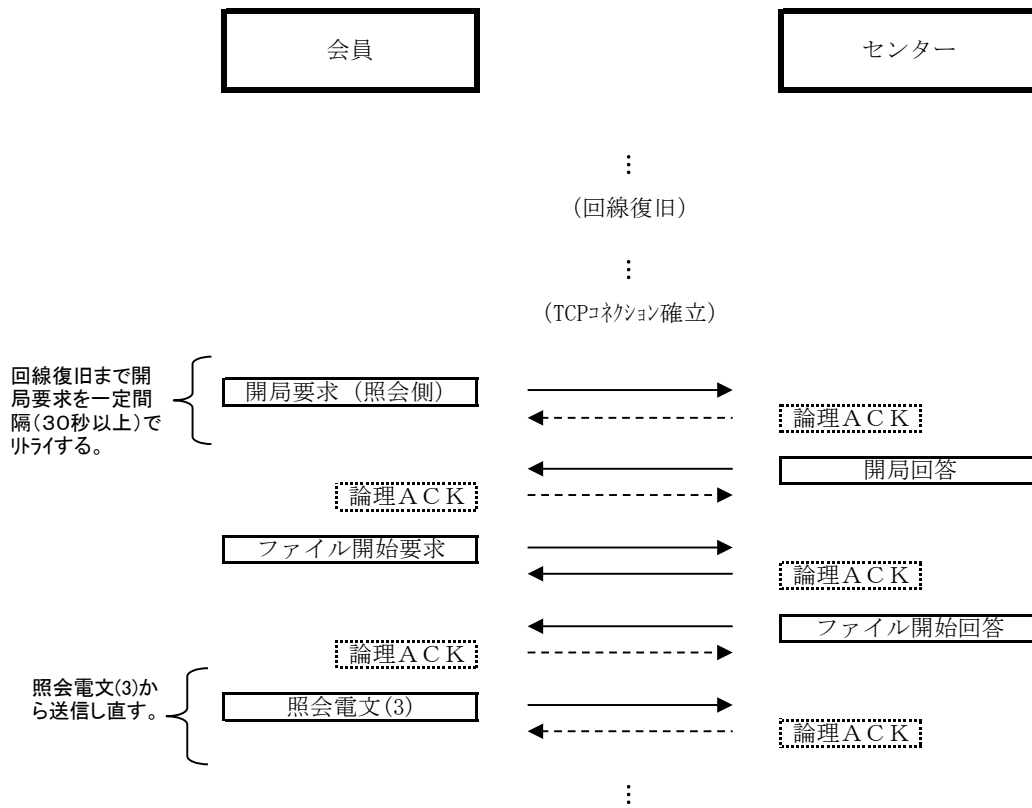


⑧ 回線障害（照会セッション）

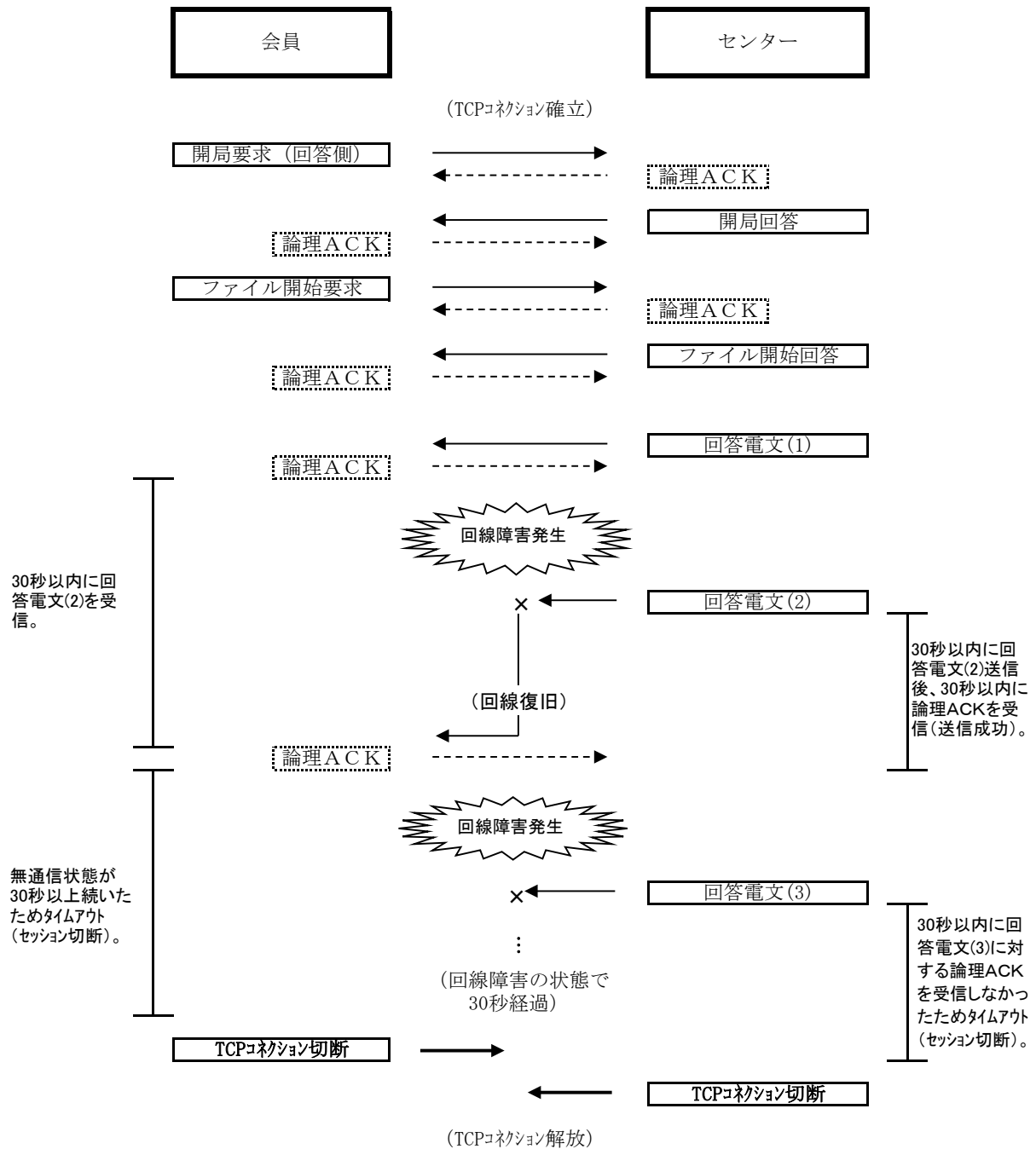


(続く)

（続き）

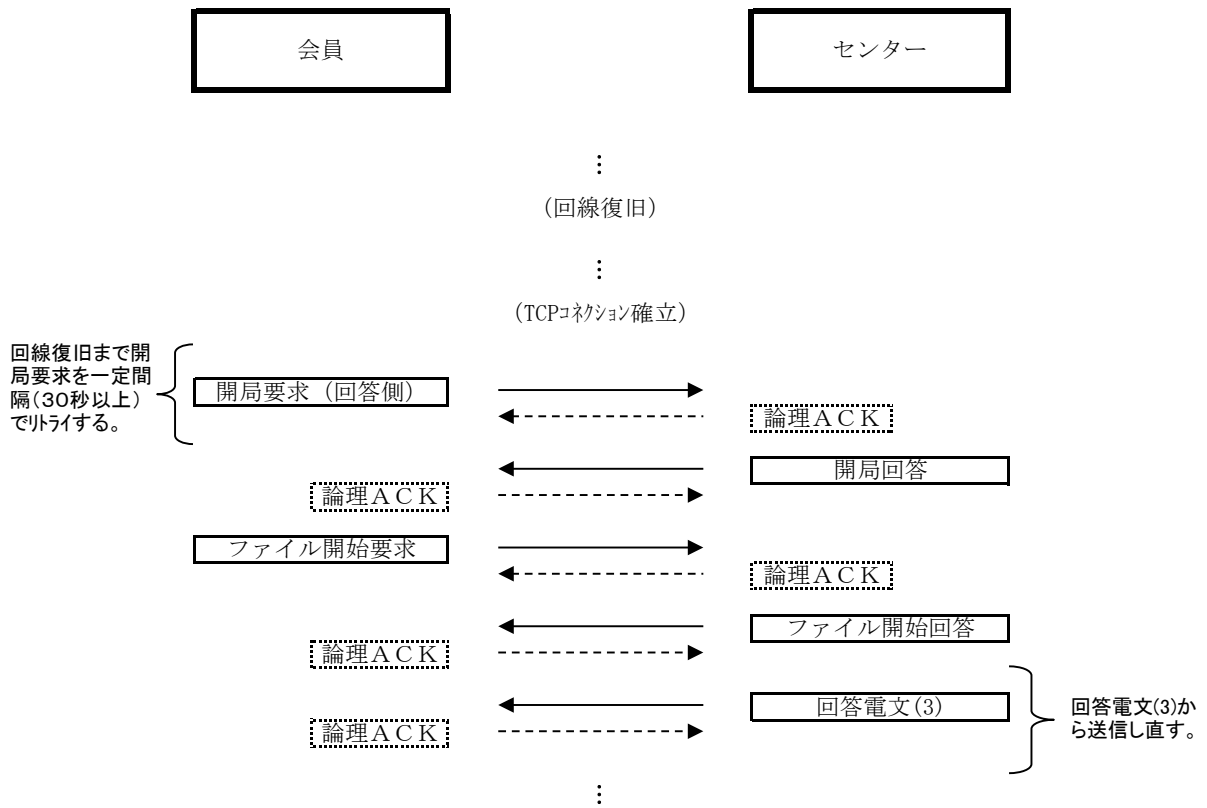


⑨ 回線障害（回答セッション）



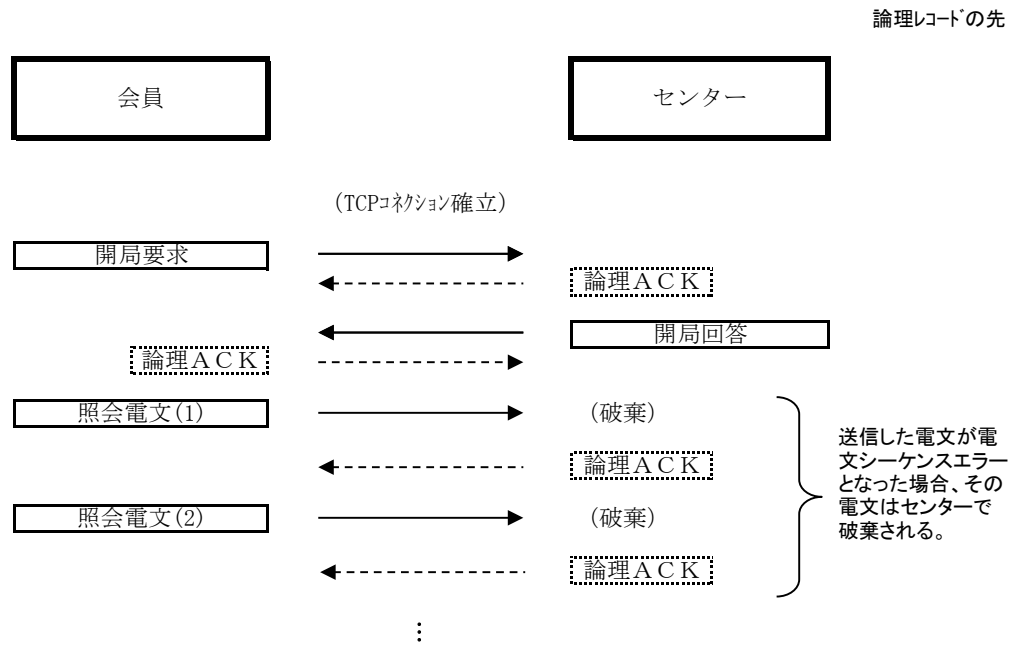
(続く)

（続き）

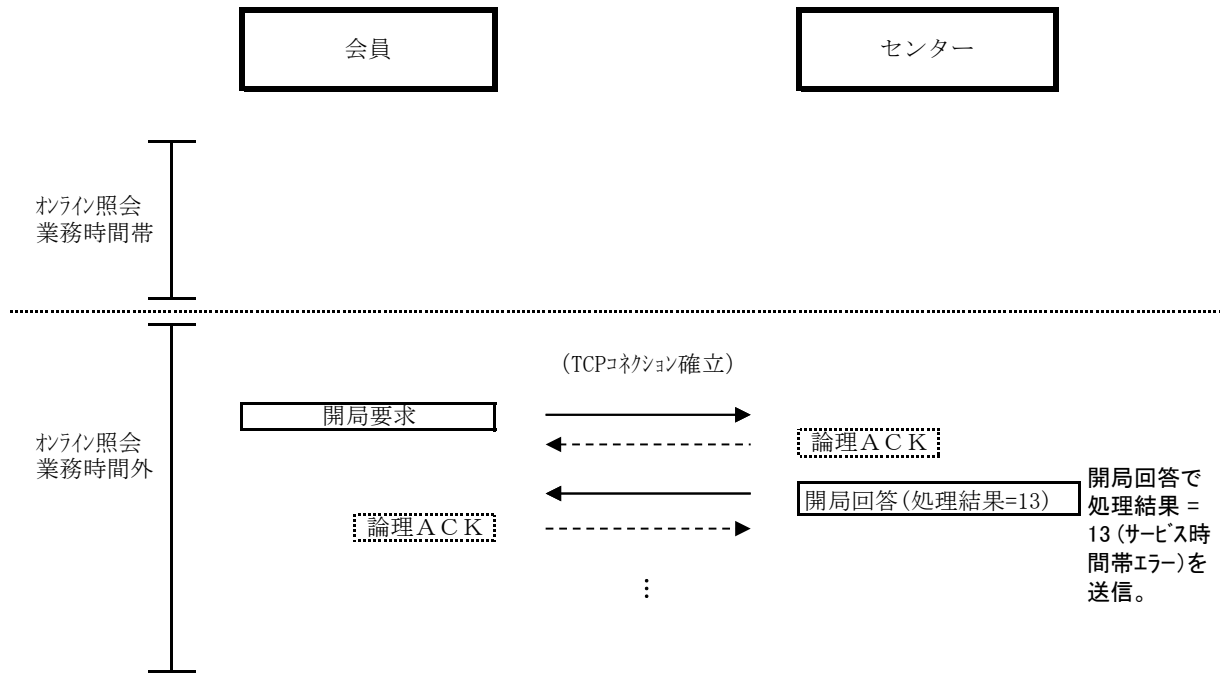


⑩ 電文シーケンスエラー

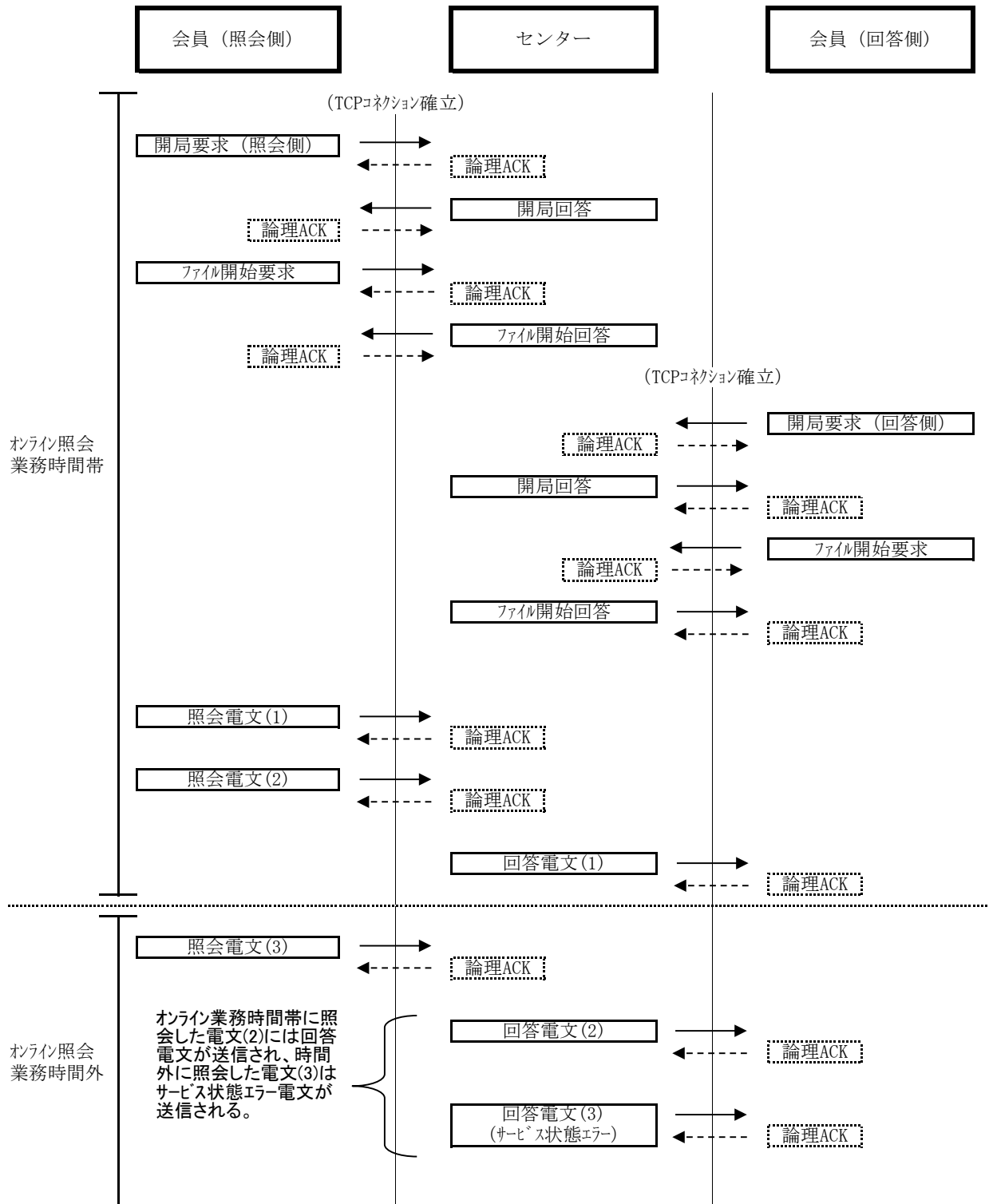
例： 開局要求→開局回答の送受信後、センター側がファイル開始要求を受信待ちの状態
照会電文を受信した。



⑪ オンライン業務時間外に開局要求を送信した場合

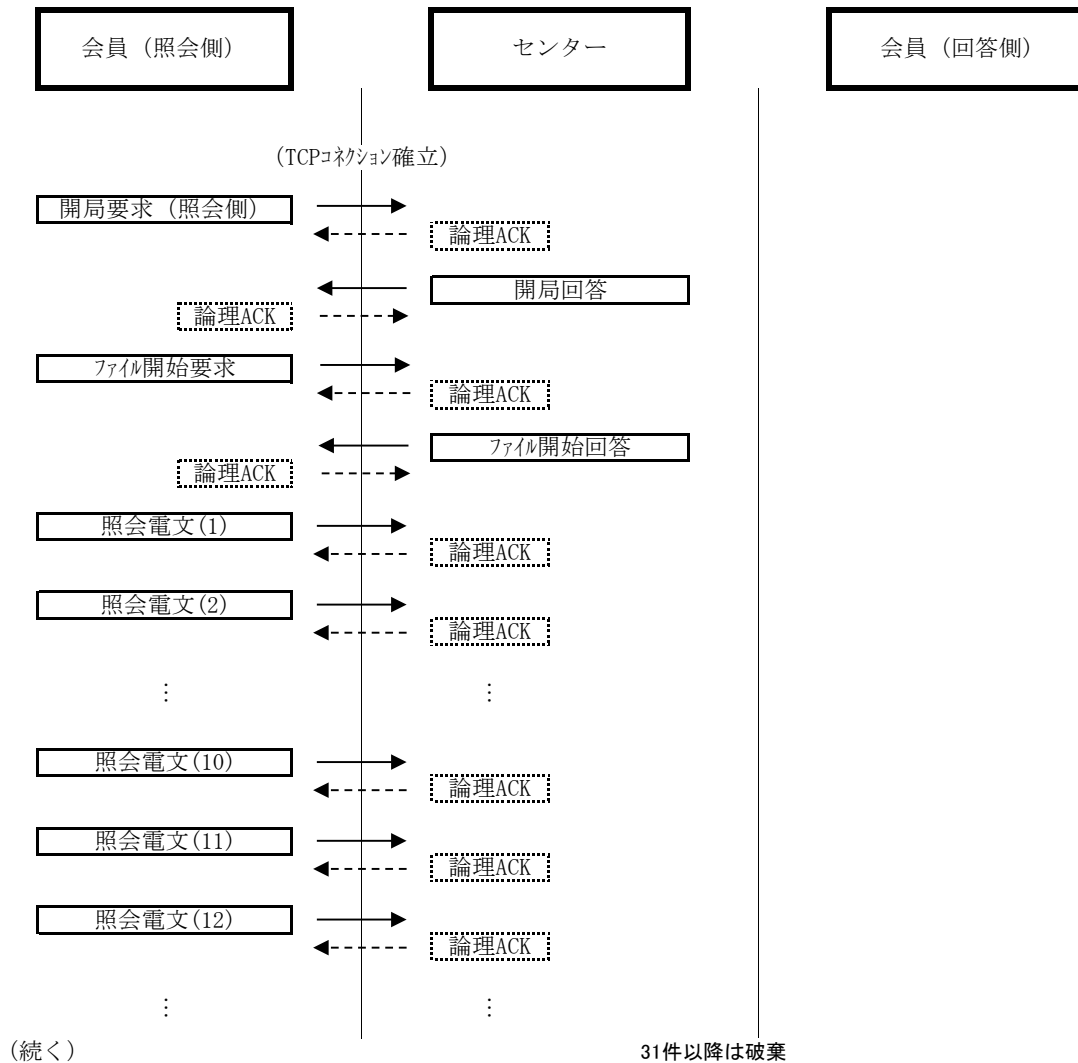


⑫ オンライン業務時間外に照会電文を送信した場合

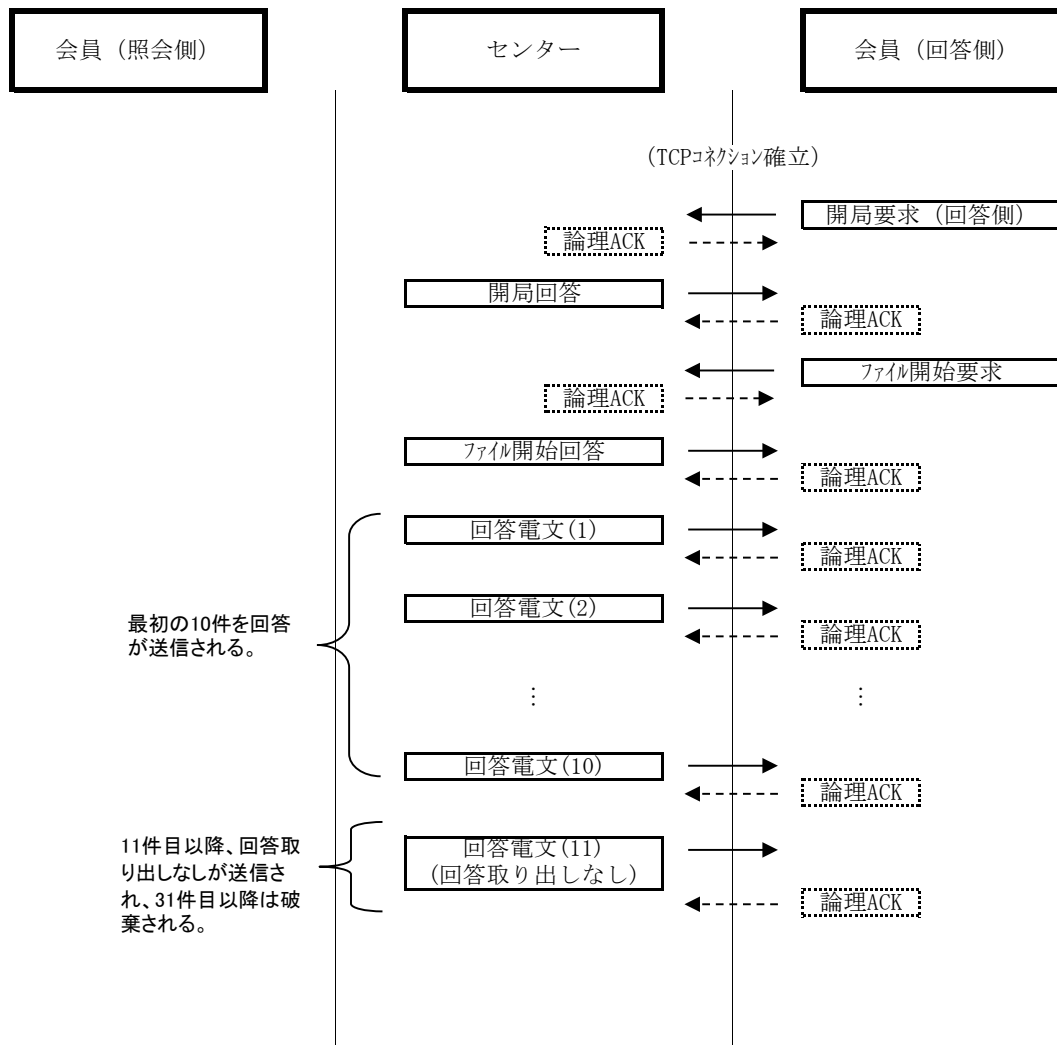


⑬ 照会が10件以上滞留している場合

例： 回答セッションを開局しない状態で、照会電文を10件以上送信した後、回答セッションを開局し回答電文を取得した。



（続き）



4. 文字コードの扱い (プレゼンテーションレイヤ)

4.1 文字コードの規則

当プロトコルでは、使用する文字コードについては以下の規則に従うものとする。

(1) 文字コード

電文種	文字種	使用文字コード	備考
制御電文	半角文字	EBCDICコード	
	半角文字	EBCDICコード	
業務電文	漢字文字	JIS漢字コード 非漢字・第1水準・第2水準 (JIS X 0208-1990)	エスケープシーケンスなし

使用可能文字の範囲については、資料編「4.2 使用可能文字（その1）」、「4.3 使用可能文字（その2）」を参照

(2) 項目毎の使用可能文字

項目毎に使用可能文字が規定されている。詳細は、資料編「1.3 取引情報等の照会時提出項目」を参照のこと。

【全角項目の入力チェックについて】

会員は、全角文字項目にデータを設定しない場合に半角文字（半角スペース等）が入力されないよう自社システムにおいてチェックを行うよう対応する必要がある。

センターは全角文字項目に半角文字が提出されることはないとの前提で、規定外文字はすべて「・」に置換のうえ照会、登録処理を行う（エラーとしない）ため、会員から全角文字項目に半角文字コードが提出された場合は、桁ズレが発生し、以下の項目がすべて規定外文字として「・」取り扱われるため注意すること。

5. 業務電文 (アプリケーションレイヤ)

5.1 照会業務電文

5.1.1 照会業務電文種別

区分	種類	電文の名称	要求 区分	コード 種別	送信方向 会員 センター	電文の目的・意味
業 務 電 文	照 会	照会依頼電文	70	30	→	取引情報の照会を依頼する電文
		照会回答電文	70	31	←	取引情報を回答する電文
		照会回答電文 (該当なし)	70	32	←	回答する情報がない場合の電文
		照会回答電文 (CRIN/JICC)	70	33	←	提携他情報機関(JICC)の情報を 回答する電文
		照会回答電文 (CRIN/JICC交流対象情報 なし)	70	34	←	提携他情報機関(JICC)の回答情報が ない場合の電文
		照会回答電文 (CRIN/CIC)	70	35	←	提携他情報機関(CIC)の情報を 回答する電文
		照会回答電文 (CRIN/CIC交流対象情報 なし)	70	36	←	提携他情報機関(CIC)の回答情報が ない場合の電文
		照会記録情報取消依頼 電文	70	40	→	照会記録情報の取消を依頼する電文
		照会記録情報取消回答 電文	70	41	←	照会記録情報の取消結果を回答する 電文
		照会記録情報取消訂正 依頼電文	70	42	→	照会記録情報の取消訂正を依頼する 電文
		照会記録情報取消訂正 回答電文	70	43	←	照会記録情報の取消訂正結果を回答 する電文
		照会記録情報訂正依頼 電文	70	44	→	照会記録情報の訂正を依頼する電文
		照会記録情報訂正回答 電文	70	45	←	照会記録情報の訂正結果を回答する 電文

区分	種類	電文の名称	要求 区分	レコード 種別	送信方向 会員 センター	電文の目的・意味
業 務 電 文	照 会	官報情報（個人）・取引 停止処分照会依頼電文	70	50	→	個人の官報情報照会、または 取引停止処分照会を依頼する電文
		官報情報（個人）・取引 停止処分照会回答電文	70	51	←	個人の官報情報、または 取引停止処分照会情報を回答 する電文
		官報情報（個人）・取引 停止処分照会回答電文 （該当なし）	70	52	←	官報情報（個人）・取引停止処分 照会で回答する情報がない場合の 電文
		自社取引情報照会依頼 電文	70	60	→	自社情報照会（取引情報）を依頼 する電文
		自社取引情報回答電文	70	61	←	自社情報照会（取引情報）の回答を する電文
		自社取引情報回答電文 （該当なし）	70	62	←	自社情報照会（取引情報）で回答 する情報がない場合の電文
		自社照会記録情報照会 依頼電文	70	63	→	自社情報照会（照会記録情報）を 依頼する電文
		自社照会記録情報回答 電文	70	64	←	自社情報照会（照会記録情報）の回答 をする電文
		自社照会記録情報回答 電文（該当なし）	70	65	←	自社情報照会（照会記録情報）で 回答する情報がない場合の電文
		項目エラー電文 （照会データの項目 エラー）	70	90	←	照会依頼データの項目エラーを通知 する電文
		サービス状態エラー電文 （サービス停止中・タイム オーバー・利用資格なし）	70	91	←	依頼電文を受信した時、指定された サービスが停止中またはタイムオー バーまたは利用資格なしの場合を 通知する電文

5.1.2 照会業務電文フォーマット

（１）業務電文共通フォーマット

①業務電文共通のフォーマット

	伝送ブロックヘッダー部						論理レコード部							
項 目	マト リッ クス I D	要 求 区 分	伝送時間			電 文 区 分	業務共通部						業務個別部	
			時	分	秒		レ コ ド 長	レ コ ド 種 別	中 継 ヘ ッ ダ ー	アプリケーション ・ヘッダー			予 備	各業務電文で任意
										持ち回り情報 1				
										端 末 I D	デ ー タ S E Q 番 号	会 員 固 有 情 報		
属性	X	X	9	9	9	X	P 9	X	X	X	X	X	X	
桁数	2	2	2	2	2	1	7	2	1 0	8	4	2 0	5	

<< 凡例 >>

（注）依頼電文および回答電文の予備項目は下記の属性に応じた初期値を設定するものとする。

属 性	X	英数字項目
	9	数字項目
	P 9	2進項目
	N	日本語項目

予備項目の属性初期値		
属 性	X	スペース
	9	Z E R O
	P 9	Z E R O
	N	スペース

※ 属性「P 9」（2進項目）時の項目桁数とバイト数の関係

桁数	バイト数
4	2
7	4
1 8	8

（「P 9」について）

- ・ 2進項目（バイナリ項目）であることから「Z E R O」は1バイト2文字で表現した場合、バイナリ「00」。
- ・ COBOLにおける属性記述は、符号なしCOMP（またはCOMP-5）。

②業務電文共通の項目説明

	項 目 名		桁数	項 目 内 容
伝 送 ブ ロ ッ ク ヘ ッ ダ ー	マトリックスID		X(02)	AA:回答側マトリックスの識別(センター→会員の流れを基本とする) BB:照会側マトリックスの識別(会員→センターの流れを基本とする)
	要求区分		X(02)	5. 1. 1 照会業務電文種別を参照
	伝 送 時 間	時	9(02)	該当電文を送信した時刻をセットする。(00～23) 電文の調査および伝送時間の相対変動値の測定等に使用する。
		分	9(02)	該当電文を送信した時刻の分をセットする。(00～59)
		秒	9(02)	該当電文を送信した時刻の秒をセットする。(00～59)
	電文区分		X(01)	論理レコードが複数の伝送ブロックにまたがったとき、 伝送ブロック群の区切を示す。 1:論理レコードが2伝送ブロック以上になるとき、その先頭ブロック △:論理レコードが3伝送ブロック以上になるとき、その中間ブロック 2:論理レコードが2伝送ブロック以上になるとき、その最終ブロック 3:論理レコードが伝送ブロック内に閉じている。
業 務 共 通 部	レコード長		P9(07)	論理レコードの長さ(バイト長)を、バイナリー表現4byteで示す(注)。
	レコード種別		X(02)	5. 1. 1 照会業務電文種別を参照
	中継ヘッダー		X(10)	会員固有の持ち回り情報として使用する。
	ア プ リ ケ ー シ ョ ン ・ ヘ ッ ダ ー	端末ID	X(08)	端末からの会話を中継する場合に、それらの端末を識別できるレコードを記録する。持ち回り情報は、照会データに付加した内容がそのまま対応する回答データに付加されて返ってくる(以下同じ。)。 (会員側自由設定)
		データSEQ 番号	X(04)	端末からの会話を中継する場合に、端末内のトランザクションを識別できるコードを記録する。(会員側自由設定)
		会員固 有情報	X(20)	持ち回り情報が、端末IDとデータSEQ番号だけでは不足である場合に、追加持ち回り情報を記録する。(会員側自由設定)
		予備	X(05)	スペースをセットする。
業 務 個 別 部				詳細は次ページ以降の電文を参照

(注) 有効桁7桁の数字を2進数で表すには25ビット(4バイト)必要という意味であり、残りの上位ビットは「0」。5～9桁の場合、4バイトの領域が取られる。

(2) 照会依頼電文

- ・ 照会依頼電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
業 務 個 別 部 ・ 照 会 依 頼 デ ー タ	利用者 I D	X(16)	照会者の利用者 I D (注) 内容については「資料編」の「1.3取引情報等の照会時提出 項目」 参照。以下同じ。
	経由会員コード	X(06)	他会員のシステムを経由して情報を提出している場合の経由会員の 会員コード
	受託会員コード	X(06)	他会員から照会を委託された場合、照会する受託会員の会員コード
	受託店番号	X(04)	照会を委託された場合（自社営業店からの委託を含む。）、受託店の 店番号
	会員コード	X(06)	照会する会員の会員コード。ただし、他会員から照会の委託を受けた 場合は、照会委託者の会員コード。
	店番号	X(04)	照会する照会店の店番号。ただし、照会の委託を受けた場合は、照会 委託者の店番号。
	照会管理番号（1）	X(20)	会員任意の管理番号
	照会管理番号（2）	X(20)	会員任意の管理番号
	依頼番号	X(08)	照会依頼電文に付す一連番号 00000001（8桁）からの一連番号とし、会員のセンター区分毎に 付番する。
	顧客番号	X(15)	会員任意の管理番号
	氏名（カナ）	X(25)	被照会者の氏名（カナ）
	氏名（漢字）	N(10)	被照会者の氏名（漢字）
	生年月日	X(09)	被照会者の生年月日 後述の依頼データの日付構成を参照 (和暦または西暦) 以下依頼の日付は同様
	郵便番号	X(07)	被照会者の住所の郵便番号
	住所（カナ）	X(75)	被照会者の住所（カナ）
	住所（漢字）	N(50)	被照会者の住所（漢字）
	本人電話番号	X(14)	被照会者の電話番号

(続く)

（続き）

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 依 頼 デ ー タ	照会目的	X(01)	コード定義： (注) コードについては、「資料編」の「4.1コード一覧」照会目的参照。 以下同じ。
	保証区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」保証区分 参照
	債務形態区分	X(01)	コード定義 「資料編」の「4.1コード一覧」債務形態区分 参照
	与信内容	X(02)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」与信内容 参照
	消費性・事業性区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」消費性・事業性区分 参照
	照会パターン	X(02)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」照会パターン 参照
	官報情報区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」官報情報区分 参照
	保証依頼元会員 コード	X(06)	保証区分を「保証取引」として照会する場合、保証依頼元会員の 会員コード
	主債務者名（カナ）	X(30)	連帯保証人照会（消費性資金）および法人連帯保証人照会の場合、 主債務者の氏名（カナ）
	主債務者名（漢字）	N(20)	連帯保証人照会（消費性資金）および法人連帯保証人照会の場合、 主債務者の氏名（漢字）
	主債務者生（設立） 年月日	X(09)	連帯保証人照会（消費性資金）および法人連帯保証人照会の場合、 主債務者の生（設立）年月日（和暦または西暦）
	主債務者郵便番号	X(07)	法人の連帯保証人に係る照会の場合、主債務者の住所の郵便番号
	主債務者住所（カナ）	X(75)	法人の連帯保証人に係る照会の場合、主債務者住所（カナ）
	主債務者住所（漢字）	N(50)	法人の連帯保証人に係る照会の場合、主債務者住所（漢字）
	主債務者電話番号	X(14)	法人の連帯保証人に係る照会の場合、主債務者の電話番号
	保証限度額	X(09)	法人の連帯保証人に係る照会の場合、主債務者に対する保証限度額 (単位：千円)
	保証期限	X(09)	法人の連帯保証人に係る照会の場合、主債務者に対する保証期限 (和暦または西暦)

依頼データの日付構成

和暦の場合			
日付項目	和暦西暦区分 (注)		1桁文字
	和暦	元号区分 (注)	1桁文字
		和暦年月日	6桁文字
		ダミー	1桁文字

西暦の場合			
日付項目	和暦西暦区分 (注)		1桁文字
	西暦	西暦年月日	8桁文字

(注)コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」参照

(3) 照会回答電文

① 照会回答電文のフォーマット

項 目	伝 送 ブ ロ ッ ク ヘ ッ ダ ー 部	業 務 共 通 部	業務個別部															
			照 会 依 頼 デ ー タ 部	回答件数データ														
				一 連 番 号	取 引 情 報 回 答 件 数	本 人 属 性 履 歴 回 答 件 数	不 渡 情 報 回 答 件 数	官 報 情 報 （ 個 人 ） 回 答 件 数	本 人 申 告 情 報 回 答 件 数	本 人 申 告 履 歴 回 答 件 数	照 会 記 録 情 報 回 答 件 数	予 備 1	取 引 情 報 回 答 打 切 区 分	不 渡 情 報 回 答 打 切 区 分	官 報 情 報 （ 個 人 ） 回 答 打 切	区 分	本 人 申 告 情 報 回 答 打 切 区 分	照 会 記 録 情 報 回 答 打 切 区 分
属性				P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	X	X	X	X	X	X
桁数				1 8	4	4	4	4	4	4	4	4	1	1	1	1	1	1

項 目	業務個別部									
	照会回答データ									
	取引情報回答	不渡情報回答		官報情報（個人）回答		本人申告情報回答		照会記録情報回答		
		不 渡 情 報 回 答 1	～	不 渡 情 報 回 答 n	官 報 情 報 （ 個 人 ） 回 答 1	～	官 報 情 報 （ 個 人 ） 回 答 n		照 会 記 録 情 報 回 答 1	～ 照 会 記 録 情 報 回 答 n

項 目	取引情報回答						
	取 引 情 報 回 答	本 人 属 性 履 歴 回 答 1 (注1)	～ (注2)	本 人 属 性 履 歴 回 答 n	取 引 情 報 回 答	本 人 属 性 履 歴 回 答 1	本 人 属 性 履 歴 回 答 n

項 目	本人申告情報回答						
	本 人 申 告 情 報 回 答	本 人 申 告 履 歴 回 答 1 (注2)	～	本 人 申 告 履 歴 回 答 n	本 人 申 告 情 報 回 答	本 人 申 告 履 歴 回 答 1	本 人 申 告 履 歴 回 答 n

(注1) 各本人属性履歴回答の中に最大3履歴保有する。3件未満の場合は残りは空白で回答する。

(注2) 本人属性履歴、本人申告履歴とも本人属性変更年月日が最新の履歴から回答する。

② 照会回答電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	照会依頼データ部		5. 1. 2 (2) 照会依頼電文を参照
業 務 個 別 部 ・ 回 答 件 数 デ ー タ	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	取引情報回答件数	P9(04)	取引情報の回答件数(ZEROの場合、該当なし)
	本人属性履歴回答件数 (注)	P9(04)	本人属性履歴の回答件数(ZEROの場合、該当なし) 1 照会依頼に対する取引情報の本人属性履歴の件数
	不渡情報回答件数	P9(04)	不渡情報の回答件数(ZEROの場合、該当なし)
	官報情報(個人) 回答件数	P9(04)	官報情報(個人)の回答件数(ZEROの場合、該当なし)
	本人申告情報回答件数	P9(04)	本人申告情報の回答件数(ZEROの場合、該当なし)
	本人申告履歴回答件数	P9(04)	本人申告履歴の回答件数(ZEROの場合、該当なし) 1照会依頼の本人申告情報の本人属性履歴の件数
	照会記録情報回答件数	P9(04)	照会記録情報の回答件数(ZEROの場合、該当なし)
	予備 1	P9(04)	予備
	取引情報 回答打切区分	X(01)	コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」 回答打切区分 参照
	不渡情報 回答打切区分	X(01)	コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」 回答打切区分 参照
	官報情報(個人) 回答打切区分	X(01)	コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」 回答打切区分 参照
	本人申告情報 回答打切区分	X(01)	コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」 回答打切区分 参照
	照会記録情報 回答打切区分	X(01)	コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」 回答打切区分 参照
	予備 2	X(01)	予備

(注) 「本人属性履歴回答件数」は、履歴情報毎に1件とカウントする(履歴回答レコード件数ではない。)

a) 取引情報回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 回 答 デ ー タ	取引情報回答	回答種別コード	” 0 1 ” 固定「取引情報」 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」の回答種別コード 参照 X(02)
		該当者通番	1 照会依頼に対して取引情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号 X(04)
		クラスコード	コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」 クラスコード 参照 X(01)
		一致パターンコード	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 一致パターンコード 参照 X(04)
		同一登録会員マーク	同一登録会員がわかるよう仮のコードを設定する。 X(02)
		自社提出情報マーク	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 自社提出情報マーク 参照 X(01)
		自社取扱店番号	自社提出情報の場合の情報取扱店番号 X(04)
		自社取扱番号	自社提出情報時設定する。自社提出情報以外でクレジットカードの利用情報の場合は仮の番号を設定する。 X(23)
		クレジット枝番号	クレジットカードの利用情報のみ設定する。自社提出情報の場合はそのまま設定、自社提出情報以外の場合は仮の番号を設定する。 X(15)
		類似音氏名マーク	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 類似音氏名マーク 参照 X(01)
		氏名（カナ）	該当取引情報の氏名（カナ） X(25)
		氏名（漢字）	該当取引情報の氏名（漢字） N(10)
		生年月日	該当取引情報の生年月日 X(08) (西暦)
		性別	コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」 性別 参照 X(01)
		郵便番号	該当取引情報の郵便番号 X(07)
		住所（カナ）	該当取引情報の住所（カナ） X(75)
		住所（漢字）	該当取引情報の住所（漢字） N(50)
		本人電話番号	該当取引情報の本人電話番号 X(14)
		勤務先名（カナ）	該当取引情報の勤務先名（カナ） X(30)
		勤務先名（漢字）	該当取引情報の勤務先名（漢字） N(20)

(続く)

(続き)

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 回 答 デ ー タ	取 引 情 報 回 答	勤務先電話番号	該当取引情報の勤務先電話番号
		X(14)	
		取引種類	コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」 取引種類 参照
		X(02)	
		従属者識別コード (回答)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 従属者識別コード (回答) 参照
		X(01)	
		保証先区分	コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」 保証先区分 参照
		X(01)	
		成約日／実行日	該当取引情報の成約日または実行日 (西暦)
		X(08)	
		カード限度額 管理マーク	合算管理対象のカードを関連付けるためのマーク
		X(02)	
		限度額 ／当初貸出額	該当取引情報の限度額または当初貸出額 ・ 1円以上千円未満の場合は、右詰めで「X」を表示する。 ・ 千円以上の場合は、金額を右詰めとし残りを「0」で表示する。 ・ 上限無しの場合は、右詰めで「F」を表示する。 (単位：千円) ※ 以下金額関係（限度額、残債額）は同様
		X(07)	
		内カードローン 限度額	該当取引情報の内カードローン限度額 (単位：千円)
		X(07)	
		内キャッシング 限度額	該当取引情報の内キャッシング限度額 (単位：千円)
		X(07)	
		設定期限 ／最終返済日	該当取引情報の設定期限または最終返済日 (西暦)
		X(08)	
		消費性・事業性 区分	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 消費性・事業性区分 参照
		X(01)	
		使途区分	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 使途区分 参照
		X(01)	
		担保有無	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 担保有無 参照
		X(01)	
		事故情報登録 マーク	該当取引情報が事故情報である旨の表示 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」 事故情報登録マーク 参照
		X(01)	
	返 済 状 況	返済区分 発生日	該当取引情報の返済区分に該当する状況が発生した日 (西暦)
		X(08)	
		返済区分	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 返済区分 参照
		X(02)	
		延滞解消日	該当取引情報の延滞解消日 (西暦)
		X(08)	
		完了区分 発生日	該当取引情報の完了区分に該当する状況が発生した日 (西暦)
		X(08)	
		完了区分	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 完了区分 参照
		X(02)	

(続く)

（続き）

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 回 答 デ ー タ	取 引 情 報 回 答	保証限度額	該当取引情報の保証限度額 (単位：千円)
		X(09)	
		保証期限	該当取引情報の保証期限 (西暦)
		X(08)	
		登録通知状マーク	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 登録通知状マーク 参照
		X(01)	
	返 済 履 歴 情 報	苦情受付コード	コード定義：苦情受付コード 参照
		X(01)	
		本人申告区分 E マーク	本人申告回答と紐付けるマーク
		X(02)	
		予備	予備
		X(08)	
		残債額更新 日	残債額が会員側で更新された日付 (西暦)
		X(08)	
		残債額	該当取引情報の残債額 (単位：千円)
		X(07)	
		内カードロ ーン残債額	該当取引情報の内カードローン残債額 (単位：千円)
		X(07)	
		内キャッシ ング残債額	該当取引情報の内キャッシング残債額 (単位：千円)
		X(07)	
		照会月における登録データを含む24か月分の入金区分および残債額の履歴を表示する。 照会月の登録データがない場合は、スペースを表示する。	
		残債額履歴 (1)	照会日の属する月の23か月前の月を残債額更新日として 登録されている残債額 (単位：千円)
		X(07)	
		入金区分 履歴(1)	照会日の属する月の23か月前の月を入金区分更新日として登録されて いる入金区分 コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」 入金区分 参照
		X(01)	
		}	}
		残債額履歴 (24)	照会日の属する月を残債額更新日として登録されて 登録されている残債額 (単位：千円)
		X(07)	
		入金区分 履歴(24)	照会日の属する月を入金区分更新日として いる入金区分 コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」 入金区分 参照
		X(01)	
		主債務者名 (カナ)	該当取引情報の主債務者名 (カナ)
		X(30)	
		主債務者名 (漢字)	該当取引情報の主債務者名 (漢字)
		N(20)	
		主債務者設立 年月日	該当取引情報の主債務者設立年月日 (西暦)
		X(08)	
		主債務者郵便番号	該当取引情報の主債務者郵便番号
		X(07)	

（続く）

（続き）

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	主債務者住所 （カナ）	X(75)	該当取引情報の主債務者住所（カナ）
	主債務者住所 （漢字）	N(50)	該当取引情報の主債務者住所（漢字）
	主債務者電話番号	X(14)	該当取引情報の主債務者電話番号
	回答時刻	X(06)	センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMSS=時、分、秒 （時:24時間表示）
	本人属性履歴件数	X(02)	該当取引情報の本人属性履歴の件数

b) 本人属性履歴回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 回 答 デ ー タ	本 人 属 性 履 歴 回 答	回答種別コード	” 1 1 ” 固定「取引情報の本人属性履歴」 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」 回答種別コード 参照
		X(02)	
	本 人 属 性 履 歴 回 答	該当者通番 (注)	1 照会依頼に対して取引情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
		X(04)	
	本 人 属 性 履 歴 1	本人属性履歴一連番号	取引情報に対応する、本人属性履歴の中で一意の一連番号
		X(02)	
		類似音氏名マーク	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 類似音氏名マーク 参照
		X(01)	
		氏名 (カナ)	該当本人属性履歴の氏名 (カナ)
		X(25)	
		氏名 (漢字)	該当本人属性履歴の氏名 (漢字)
		N(10)	
		住所 (カナ)	該当本人属性履歴の住所 (カナ)
		X(75)	
		住所 (漢字)	該当本人属性履歴の住所 (漢字)
		N(50)	
	本 人 属 性 履 歴 2	本人電話番号	該当本人属性履歴の本人電話番号
		X(14)	
		勤務先名 (カナ)	該当本人属性履歴の勤務先名 (カナ)
		X(30)	
		勤務先名 (漢字)	該当本人属性履歴の勤務先名 (漢字)
		N(20)	
		本人属性変更年月日	該当本人属性履歴の本人属性変更年月日 (西暦)
		X(08)	
		本人属性履歴一連番号	取引情報に対応する、本人属性履歴の中で一意の一連番号
		X(02)	
		類似音氏名マーク	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 類似音氏名マーク 参照
		X(01)	
		氏名 (カナ)	該当本人属性履歴の氏名 (カナ)
		X(25)	
		氏名 (漢字)	該当本人属性履歴の氏名 (漢字)
		N(10)	

(注) 「該当者通番」によりどの取引情報に付随する本人属性履歴情報であるかどうかを判別。

(続く)

（続き）

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 回 答 デ ー タ	本 人 属 性 履 歴 回 答	住所 （カナ）	X(75) 該当本人属性履歴の住所（カナ）
		住所 （漢字）	N(50) 該当本人属性履歴の住所（漢字）
		本人 電話番号	X(14) 該当本人属性履歴の本人電話番号
		勤務先名 （カナ）	X(30) 該当本人属性履歴の勤務先名（カナ）
		勤務先名 （漢字）	N(20) 該当本人属性履歴の勤務先名（漢字）
		本人属性 変更年月日	X(08) 該当本人属性履歴の本人属性変更年月日 (西暦)
	本 人 属 性 履 歴 3	本人属性履 歴一連番号	X(02) 取引情報に対応する、本人属性履歴の中で一意の一連番号
		類似音 氏名マーク	X(01) コード定義：類似音氏名マーク 参照 「資料編」の「4.1コード一覧」 類似音氏名マーク 参照
		氏名 （カナ）	X(25) 該当本人属性履歴の氏名（カナ）
		氏名 （漢字）	N(10) 該当本人属性履歴の氏名（漢字）
		住所 （カナ）	X(75) 該当本人属性履歴の住所（カナ）
		住所 （漢字）	N(50) 該当本人属性履歴の住所（漢字）
		本人 電話番号	X(14) 該当本人属性履歴の本人電話番号
		勤務先名 （カナ）	X(30) 該当本人属性履歴の勤務先名（カナ）
		勤務先名 （漢字）	N(20) 該当本人属性履歴の勤務先名（漢字）
		本人属性 変更年月日	X(08) 該当本人属性履歴の本人属性変更年月日 (西暦)
		回答時刻	X(06) センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMSS=時、分、秒 （時:24時間表示）
		予備	X(41) 予備

c) 不渡情報回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 回 答 デ ー タ	不渡情報回答	回答種別コード	” 0 2 ” 固定「不渡情報」 コード定義：回答種別コード 参照
		X(02)	
		該当者通番	1 照会依頼に対して不渡情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
		X(04)	
		類似音氏名 マーク	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 類似音氏名マーク 参照
		X(01)	
		氏名（カナ）	該当不渡情報の氏名（カナ）
		X(25)	
		氏名（漢字）	該当不渡情報の氏名（漢字）
		N(10)	
		生年月日	該当不渡情報の生年月日 (西暦)
		X(08)	
		性別	” 3 ” 固定「記載なし」 コード定義：性別 参照
		X(01)	
		郵便番号	該当不渡情報の郵便番号
		X(07)	
		住所（カナ）	該当不渡情報の住所（カナ）
		X(75)	
		住所（漢字）	該当不渡情報の住所（漢字）
		N(50)	
		取引種類	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 取引種類 参照
		X(02)	
		事故情報登録 マーク	該当不渡情報が事故情報である旨の表示 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」 事故情報登録マーク 参照
		X(01)	
		取引停止処分 2 年経過マーク	該当不渡情報が取引停止処分日から 2 年間経過している旨の表示 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」 取引停止処分2年経過マーク 参照
		X(01)	
		完了区分発生日	該当不渡情報の完了区分に該当する状況が発生した日 (西暦)
		X(08)	
		完了区分	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 完了区分 参照
		X(02)	
		登録通知状マーク	コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」 登録通知状マーク 参照 当面未使用（” 9 ” 固定。）
		X(01)	
		苦情受付コード	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 苦情受付コード 参照
		X(01)	
		回答時刻	センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMSS=時、分、秒（時:24時間表示）
		X(06)	

d) 官報情報（個人）回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 回 答 デ ー タ	官 報 情 報 （ 個 人 ） 回 答	回答種別コード	” 0 5 ” 固定「官報情報（個人）」 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」回答種別コード 参照
		X(02)	
		該当者通番	1 照会依頼に対して官報情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
		X(04)	
		氏名（漢字） （ 1 ）	該当官報情報の氏名（漢字）（ 1 ） （最新）
		N(10)	
		氏名注記 （ 1 ）	氏名（漢字）（ 1 ）の注記
		N(10)	
		氏名（漢字） （ 2 ）	該当官報情報の氏名（漢字）（ 2 ）
		N(10)	
		氏名注記 （ 2 ）	氏名（漢字）（ 2 ）の注記
		N(10)	
		氏名（漢字） （ 3 ）	該当官報情報の氏名（漢字）（ 3 ）
		N(10)	
		氏名注記 （ 3 ）	氏名（漢字）（ 3 ）の注記
		N(10)	
		生年月日	該当官報情報の生年月日 当面” 9 9 9 9 9 9 9 ” 「不詳」を設定する。 （西暦）
		X(08)	
		住所（漢字） （ 1 ）	該当官報情報の住所（漢字）（ 1 ） （最新）
		N(50)	
		住所注記 （ 1 ）	住所（漢字）（ 1 ）の注記
		N(10)	
		住所（漢字） （ 2 ）	該当官報情報の住所（漢字）（ 2 ）
		N(50)	
		住所注記 （ 2 ）	住所（漢字）（ 2 ）の注記
		N(10)	
		住所（漢字） （ 3 ）	該当官報情報の住所（漢字）（ 3 ）
		N(50)	
		住所注記 （ 3 ）	住所（漢字）（ 3 ）の注記
		N(10)	
		官報公告項目	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 官報公告項目 参照
		X(02)	
		事故発生日	該当官報情報の事故発生日 （西暦）
		X(08)	
		事件番号	該当官報情報の事件番号
		X(13)	
		掲載日	該当官報情報の掲載日 （西暦）
		X(08)	
		回答時刻	センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMSS = 時、分、秒 （時:24時間表示）
		X(06)	

e) 本人申告情報回答

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 回 答 デ ー タ	回答種別コード	X(02)	” 0 3 ” 固定「本人申告情報」 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」回答種別コード 参照
	該当者通番	X(04)	1 照会依頼に対して本人申告情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
	クラスコード	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 クラスコード 参照
	一致パターン コード	X(04)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 一致パターンコード 参照
	類似音氏名 マーク	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 類似音氏名マーク 参照
	氏名（カナ）	X(25)	該当本人申告情報の氏名（カナ）
	氏名（漢字）	N(10)	該当本人申告情報の氏名（漢字）
	生年月日	X(08)	該当本人申告情報の生年月日 (西暦)
	性別	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 性別 参照
	郵便番号	X(07)	該当本人申告情報の郵便番号
	住所（カナ）	X(75)	該当本人申告情報の住所（カナ） (空白の場合あり)
	住所（漢字）	N(50)	該当本人申告情報の住所（漢字）
	本人電話番号	X(14)	該当本人申告情報の本人電話番号
	勤務先名（カナ）	X(30)	該当本人申告情報の勤務先名（カナ）
	勤務先名（漢字）	N(20)	該当本人申告情報の勤務先名（漢字）
	勤務先電話番号	X(14)	該当本人申告情報の勤務先電話番号
	本人申告区分 E マーク	X(02)	取引情報回答と紐付けるマーク
	予備	X(08)	予備
	本人申告区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」 本人申告区分 参照
	本人申告文言	N(100)	該当本人申告情報の本人申告文言
	申告日	X(08)	該当本人申告情報の申告日 (西暦)
	回答時刻	X(06)	センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMSS S=時、分、秒 (時:24時間表示)
	本人属性履歴件数	X(02)	該当本人申告情報の本人属性履歴の件数

f) 本人申告履歴回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 回 答 デ ー タ	回答種別コード	X(02)	” 1 3 ” 固定「本人申告情報の本人属性履歴」 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」回答種別コード 参照
	該当者通番	X(04)	1 照会依頼に対して本人申告情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
	本人属性履歴一連番号	X(02)	本人申告情報に対応する、本人属性履歴の中で一意の一連番号
	類似音氏名 マーク	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」類似音氏名マーク 参照
	氏名（カナ）	X(25)	該当本人申告履歴情報の氏名（カナ）
	氏名（漢字）	N(10)	該当本人申告履歴情報の氏名（漢字）
	住所（カナ）	X(75)	該当本人申告履歴情報の住所（カナ） （空白の場合あり）
	住所（漢字）	N(50)	該当本人申告履歴情報の住所（漢字）
	本人電話番号	X(14)	該当本人申告履歴情報の本人電話番号
	勤務先名（カナ）	X(30)	該当本人申告履歴情報の勤務先名（カナ）
	勤務先名（漢字）	N(20)	該当本人申告履歴情報の勤務先名（漢字）
	本人属性変更 年月日	X(08)	該当本人申告履歴情報の本人属性変更年月日 (西暦)
	回答時刻	X(06)	センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMSS S=時、分、秒 （時:24時間表示）
	予備	X(246)	予備

(注) 「該当者通番」によりどの本人申告情報に付随する本人属性履歴情報であるかどうかを判別。

g) 照会記録情報回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 回 答 デ ー タ	回答種別コード	X(02)	” 0 4 ” 固定「照会記録情報」 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」回答種別コード 参照
	該当者通番	X(04)	1 照会依頼に対して照会記録情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
	クラスコード	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」クラスコード 参照
	一致パターン コード	X(04)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」一致パターンコード 参照
	自社照会情報 マーク	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」自社照会情報マーク 参照
	自社照会店番号	X(04)	該当照会記録情報が自社の照会した情報である場合、照会した店舗 の店番号
	類似音氏名 マーク	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」類似音氏名マーク 参照
	氏名（カナ）	X(25)	該当照会記録情報の氏名（カナ）
	氏名（漢字）	N(10)	該当照会記録情報の氏名（漢字）
	生年月日	X(08)	該当照会記録情報の生年月日 (西暦)
	郵便番号	X(07)	該当照会記録情報の郵便番号
	住所（カナ）	X(75)	該当照会記録情報の住所（カナ）
	住所（漢字）	N(50)	該当照会記録情報の住所（漢字）
	本人電話番号	X(14)	該当照会記録情報の本人電話番号
	消費性・事業性 区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」消費性・事業性区分 参照
	苦情受付コード	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」苦情受付コード 参照
	保証区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」保証区分 参照
	債務形態区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」債務形態区分 参照
	与信内容	X(02)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」与信内容 参照
	照会日	X(08)	該当照会記録情報の照会日付 (西暦)
	回答時刻	X(06)	センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMSS S=時、分、秒 (時:24時間表示)

(4) 照会回答電文(該当なし)

- ・ 照会回答電文(該当なし)の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	照会依頼データ部		5. 1. 2 (2) 照会依頼電文を参照
業 務 個 別 部 ・ 回 答 件 数 デ ー タ	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	取引情報回答件数	P9(04)	該当なし Z E R O 固定
	本人属性履歴回答件数	P9(04)	該当なし Z E R O 固定
	不渡情報回答件数	P9(04)	該当なし Z E R O 固定
	官報情報(個人) 回答件数	P9(04)	該当なし Z E R O 固定
	本人申告情報回答件数	P9(04)	該当なし Z E R O 固定
	本人申告履歴回答件数	P9(04)	該当なし Z E R O 固定
	照会記録情報回答件数	P9(04)	該当なし Z E R O 固定
	予備 1	P9(04)	予備
	予備 2	X(01)	〃
	予備 3	X(01)	〃
	予備 4	X(01)	〃
	予備 5	X(01)	〃
	予備 6	X(01)	〃
	予備 7	X(01)	〃

(5) C R I N / J I C C 照会回答電文

① C R I N / J I C C 照会回答電文のフォーマット

項 目	伝 送 ブ ロ ッ ク ヘ ッ ダ ー 部	業 務 共 通 部	業務個別部															
			照 会 依 頼 デ ー タ 部	回答件数データ														
				一 連 番 号	J I C C 情 報 回 答 件 数	内 本 人 申 告 情 報 回 答 件 数	予 備 1	予 備 2	予 備 3	予 備 4	予 備 5	予 備 6	J I C C 情 報 回 答 打 切 区 分	予 備 7	予 備 8	予 備 9	予 備 1 0	予 備 1 1
属性				P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	X	X	X	X	X	X
桁数				1 8	4	4	4	4	4	4	4	4	1	1	1	1	1	1

項 目	業務個別部		
	照会回答データ		
	J I C C 情 報 回 答 1	～	J I C C 情 報 回 答 n

② C R I N / J I C C 照会回答電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	照会依頼データ部		5. 1. 2 (2) 照会依頼電文を参照
業 務 個 別 部 ・ 回 答 件 数 デ ー タ	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	J I C C 情報回答件数	P9(04)	J I C C 情報の回答件数
	内本人申告情報回答 件数	P9(04)	J I C C 情報回答件数に含まれる、本人申告情報の回答件数
	予備 1	P9(04)	予備
	予備 2	P9(04)	〃
	予備 3	P9(04)	〃
	予備 4	P9(04)	〃
	予備 5	P9(04)	〃
	予備 6	P9(04)	〃
	J I C C 情報回答打切 区分	X(01)	コード定義：回答打切区分 参照
	予備 7	X(01)	予備
	予備 8	X(01)	〃
	予備 9	X(01)	〃
	予備 1 0	X(01)	〃
	予備 1 1	X(01)	〃

a) J I C C 情報回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 回 答 デ ー タ	J	回答種別コード	” 9 0 ” 固定「J I C C 情報」 コード定義：回答種別コード 参照
	I	該当者通番	1 照会依頼に対して J I C C 情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
	C	氏名 (カナ)	該当 J I C C 情報の氏名 (カナ) 下位 5 桁空白
	C	氏名 (漢字)	該当 J I C C 情報の氏名 (漢字) 下位 1 0 桁空白
	C	生年月日	該当 J I C C 情報の生年月日 (西暦)
	C	性別	コード定義：性別 参照
	C	郵便番号	該当 J I C C 情報の郵便番号
	C	住所 (カナ)	該当 J I C C 情報の住所 (カナ) 下位 1 5 桁空白
	C	住所 (漢字)	該当 J I C C 情報の住所 (漢字) 下位 1 0 桁空白
	C	本人電話番号	該当 J I C C 情報の本人電話番号
	C	勤務先名 (カナ)	該当 J I C C 情報の勤務先名 (カナ) 下位 1 0 桁空白
	C	勤務先電話番号	該当 J I C C 情報の勤務先電話番号
	C	取引種類	コード定義：取引種類 (J I C C) 参照
	C	成約日／実行日	該当 J I C C 情報の実行日 (西暦)
	C	限度額 ／当初貸出額	該当 J I C C 情報の金額 (単位：千円)
	C	予備 (支払回数)	予備 (初期値)
	C	予備 (残債額)	予備 (初期値) (単位：千円)
	C	事故区分	コード定義：事故区分 (J I C C) 参照
	C	理由	予備 (初期値)
	C	事故日	該当 J I C C 情報の事故日 (西暦)

(続く)

（続き）

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	予備（延滞月数）	X(02)	予備（初期値）
	苦情受付コード	X(01)	コード定義：苦情受付コード（J I C C） 参照
	本人申告区分	X(02)	コード定義：本人申告区分（J I C C） 参照
	予備（登録日）	X(08)	予備（初期値） (西暦)

(6) C R I N / J I C C 照会回答電文(交流対象情報なし)

- ・ C R I N / J I C C 照会回答電文(交流対象情報なし)項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	照会依頼データ部		5. 1. 2 (2) 照会依頼電文を参照
業 務 個 別 部 ・ 回 答 件 数 デ ー タ	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	J I C C 情報回答件数	P9(04)	交流対象情報なし Z E R O 固定
	内本人申告情報回答 件数	P9(04)	交流対象情報なし Z E R O 固定
	予備 1	P9(04)	予備
	予備 2	P9(04)	〃
	予備 3	P9(04)	〃
	予備 4	P9(04)	〃
	予備 5	P9(04)	〃
	予備 6	P9(04)	〃
	予備 7	X(01)	〃
	予備 8	X(01)	〃
	予備 9	X(01)	〃
	予備 1 0	X(01)	〃
	予備 1 1	X(01)	〃
	予備 1 2	X(01)	〃

(7) C R I N / C I C 照会回答電文

① C R I N / C I C 照会回答電文のフォーマット

項 目	伝 送 ブ ロ ッ ク ヘ ッ ダ ー 部	業 務 共 通 部	業務個別部															
			照 会 依 頼 デ ー タ 部	回答件数データ														
				一 連 番 号	C I C 情 報 回 答 件 数	内 本 人 申 告 情 報 回 答 件 数	予 備 1	予 備 2	予 備 3	予 備 4	予 備 5	予 備 6	C I C 情 報 回 答 打 切 区 分	予 備 7	予 備 8	予 備 9	予 備 1 0	予 備 1 1
属性				P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	P 9	X	X	X	X	X	X
桁数				1 8	4	4	4	4	4	4	4	4	1	1	1	1	1	1

項 目	業務個別部		
	照会回答データ		
	C I C 情 報 回 答 1	～	C I C 情 報 回 答 n

② C R I N / C I C 照会回答電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	照会依頼データ部		5. 1. 2 (2) 照会依頼電文を参照
業 務 個 別 部 ・ 回 答 件 数 デ ー タ	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	C I C 情報回答件数	P9(04)	C I C 情報の回答件数
	内本人申告情報回答 件数	P9(04)	C I C 情報回答件数に含まれる、本人申告情報の回答件数
	予備 1	P9(04)	予備
	予備 2	P9(04)	〃
	予備 3	P9(04)	〃
	予備 4	P9(04)	〃
	予備 5	P9(04)	〃
	予備 6	P9(04)	〃
	C I C 情報回答打切 区分	X(01)	コード定義：回答打切区分 参照
	予備 7	X(01)	予備
	予備 8	X(01)	〃
	予備 9	X(01)	〃
	予備 1 0	X(01)	〃
	予備 1 1	X(01)	〃

a) C I C 情報回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 回 答 デ ー タ	C	回答種別コード	” 9 1 ” 固定「C I C 情報」 コード定義：回答種別コード 参照
	I	該当者通番	1 照会依頼に対して C I C 情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
	C	氏名 (カナ)	該当 C I C 情報の氏名 (カナ) 下位 5 桁空白
	情	氏名 (漢字)	該当 C I C 情報の氏名 (漢字) 下位 1 0 桁空白
	報	生年月日	該当 C I C 情報の生年月日 (西暦)
	回	性別	コード定義：性別 参照
	答	郵便番号	該当 C I C 情報の郵便番号
	デ	住所 (カナ)	該当 C I C 情報の住所 (カナ) 下位 1 5 桁空白
	ー	住所 (漢字)	該当 C I C 情報の住所 (漢字) 下位 1 0 桁空白
	タ	本人電話番号	該当 C I C 情報の本人電話番号
		勤務先名 (カナ)	該当 C I C 情報の勤務先名 (カナ) 下位 1 0 桁空白
		勤務先電話番号	該当 C I C 情報の勤務先電話番号
		取引種類	コード定義：取引種類 (C I C) 参照
		成約日／実行日	該当 C I C 情報の実行日 (西暦)
		限度額 ／当初貸出額	該当 C I C 情報の金額 (単位：千円)
		予備 (支払回数)	予備 (該当 C I C 情報の支払回数)
		予備 (残債額)	予備 (該当 C I C 情報の残債額) (単位：千円)
		事故区分	コード定義：事故区分 (C I C) 参照
		理由	コード定義：理由 (C I C) 参照
		事故日	該当 C I C 情報の事故日 (西暦)

(続く)

（続き）

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	予備（延滞月数）	X(02)	予備（該当ＣＩＣ情報の延滞月数）
	苦情受付コード	X(01)	コード定義：苦情受付コード（ＣＩＣ） 参照
	本人申告区分	X(02)	コード定義：本人申告区分（ＣＩＣ） 参照
	予備（登録日）	X(08)	予備（該当ＣＩＣ情報の登録日） (西暦)

(8) C R I N / C I C 照会回答電文(交流対象情報なし)

- ・ C R I N / C I C 照会回答電文(交流対象情報なし)の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	照会依頼データ部		5. 1. 2 (2) 照会依頼電文を参照
業 務 個 別 部 ・ 回 答 件 数 デ ー タ	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	C I C 情報回答件数	P9(04)	交流対象情報なし Z E R O 固定
	内本人申告情報回答 件数	P9(04)	交流対象情報なし Z E R O 固定
	予備 1	P9(04)	予備
	予備 2	P9(04)	〃
	予備 3	P9(04)	〃
	予備 4	P9(04)	〃
	予備 5	P9(04)	〃
	予備 6	P9(04)	〃
	予備 7	X(01)	〃
	予備 8	X(01)	〃
	予備 9	X(01)	〃
	予備 1 0	X(01)	〃
	予備 1 1	X(01)	〃
	予備 1 2	X(01)	〃

(9) 照会記録情報取消依頼電文

- ・ 照会記録情報取消依頼電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
業 務 個 別 部 ・ 照 会 記 録 情 報 取 消 依 頼 デ ー タ	利用者 I D	X(16)	取消を依頼する操作者の利用者 I D
	取消訂正コード	X(01)	” 1 ” 固定「照会記録情報の取消」 コード定義：取消訂正コード 参照
	取消理由コード (照会記録)	X(02)	コード定義：取消理由コード（照会記録）上 1 桁 参照 コード定義：取消理由コード（照会記録）下 1 桁 参照
	経由会員コード	X(06)	他会員のシステムを経由して情報を提出している場合の経由会員の 会員コード
	受託会員コード	X(06)	他会員から照会記録情報の取消を委託された場合、取消する委託会員の 会員コード
	受託店番号	X(04)	照会記録情報の取消を委託された場合、受託店の店番号
	会員コード	X(06)	取消対象の照会記録情報の会員コード
	店番号	X(04)	取消対象の照会記録の店番号
	照会管理番号（1）	X(20)	会員任意の管理番号
	照会管理番号（2）	X(20)	会員任意の管理番号
	依頼番号	X(08)	照会記録情報取消依頼電文に付す一連番号 00000001（8桁）からの一連番号とし、 会員のセンター区分毎に付番する。
	顧客番号	X(15)	会員任意の管理番号

(続く)

（続き）

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 記 録 情 報 取 消 依 頼 デ ー タ	氏名（カナ）	X(25)	取消対象の照会記録情報の氏名（カナ）
	氏名（漢字）	N(10)	取消対象の照会記録情報の氏名（漢字）
	生年月日	X(09)	取消対象の照会記録情報の生年月日
	郵便番号	X(07)	取消対象の照会記録情報の郵便番号
	住所（カナ）	X(75)	取消対象の照会記録情報の住所（カナ）
	住所（漢字）	N(50)	取消対象の照会記録情報の住所（漢字）
	本人電話番号	X(14)	取消対象の照会記録情報の本人電話番号
	照会目的	X(01)	取消対象の照会記録情報の照会目的
	保証区分	X(01)	取消対象の照会記録情報の保証区分
	債務形態区分	X(01)	取消対象の照会記録情報の債務形態区分
	与信内容	X(02)	取消対象の照会記録情報の与信内容
	消費性・事業性区分	X(01)	取消対象の照会記録情報の消費性・事業性区分
	照会パターン	X(02)	取消対象の照会記録情報の照会パターン
	保証依頼元会員コード	X(06)	取消対象の照会記録情報の保証依頼元会員会員コード
	照会日	X(09)	取消対象の照会記録情報の照会日

（続く）

（続き）

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
正 当 な 照 会 の 入 力 項 目	氏名（カナ）	X(25)	正当な照会時に入力した氏名（カナ）
	氏名（漢字）	N(10)	正当な照会時に入力した氏名（漢字）
	生年月日	X(09)	正当な照会時に入力した生年月日
	郵便番号	X(07)	正当な照会時に入力した郵便番号
	住所（カナ）	X(75)	正当な照会時に入力した住所（カナ）
	住所（漢字）	N(50)	正当な照会時に入力した住所（漢字）
	本人電話番号	X(14)	正当な照会時に入力した本人電話番号

（１０）照会記録情報取消回答電文

- ・ 照会記録情報取消回答電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
	照会記録情報取消依頼 データ部		５．１．２（９）照会記録情報取消依頼電文を参照
	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	照会記録情報取消件数	P9(04)	照会記録情報の取消件数（ＺＥＲＯの場合、該当なし）
	予備	P9(04)	予備
	該当者通番	X(04)	” ０００１ ” 固定
	回答時刻	X(06)	センターにおける回答電文処理時刻を表す。 HHMMSS=時、分、秒 （時:24時間表示）

（１１）照会記録情報取消訂正依頼電文

- ・ 照会記録情報取消訂正依頼電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
業 務 個 別 部 ・ 照 会 記 録 情 報 取 消 訂 正 依 頼 デ ー タ	利用者 I D	X(16)	取消訂正を依頼する操作者の利用者 I D
	取消訂正コード	X(01)	” 2 ” 固定「照会記録情報の取消の訂正」 コード定義：取消訂正コード 参照
	経由会員コード	X(06)	他会員のシステムを経由して情報を提出している場合の経由会員の 会員コード
	受託会員コード	X(06)	他会員から照会記録情報の取消訂正を委託された場合、取消訂正する 委託会員の会員コード
	受託店番号	X(04)	照会記録情報の取消訂正を委託された場合、受託店の店番号
	会員コード	X(06)	取消訂正対象の照会記録情報の会員コード
	店番号	X(04)	取消訂正対象の照会記録情報の店番号
	照会管理番号（１）	X(20)	会員任意の管理番号
	照会管理番号（２）	X(20)	会員任意の管理番号
	依頼番号	X(08)	照会記録情報取消訂正依頼電文に付す一連番号 00000001（8桁）からの一連番号とし、会員のセンター区分毎に 付番する。
	顧客番号	X(15)	会員任意の管理番号

（続く）

（続き）

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 記 録 情 報 取 消 訂 正 依 頼 デ ー タ	氏名（カナ）	X(25)	取消訂正対象の照会記録情報の氏名（カナ）
	氏名（漢字）	N(10)	取消訂正対象の照会記録情報の氏名（漢字）
	生年月日	X(09)	取消訂正対象の照会記録情報の生年月日
	郵便番号	X(07)	取消訂正対象の照会記録情報の郵便番号
	住所（カナ）	X(75)	取消訂正対象の照会記録情報の住所（カナ）
	住所（漢字）	N(50)	取消訂正対象の照会記録情報の住所（漢字）
	本人電話番号	X(14)	取消訂正対象の照会記録情報の本人電話番号
	照会目的	X(01)	取消訂正対象の照会記録情報の照会目的
	保証区分	X(01)	取消訂正対象の照会記録情報の保証区分
	債務形態区分	X(01)	取消訂正対象の照会記録情報の債務形態区分
	与信内容	X(02)	取消訂正対象の照会記録情報の与信内容
	消費性・事業性 区分	X(01)	取消訂正対象の照会記録情報の消費性・事業性区分
	照会パターン	X(02)	取消訂正対象の照会記録情報の照会パターン
	保証依頼元会員 コード	X(06)	取消訂正対象の照会記録情報の保証依頼元会員会員コード
	照会日	X(09)	取消訂正対象の照会記録情報の照会日

（１２）照会記録情報取消訂正回答電文

- ・ 照会記録情報取消訂正回答電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
	照会記録情報取消訂正 依頼データ部		５．１．２（１１）照会記録情報取消訂正依頼電文を参照
	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	照会記録情報取消訂正 件数	P9(04)	照会記録情報の取消訂正件数（ＺＥＲＯの場合、該当なし）
	予備	P9(04)	予備
	該当者通番	X(04)	” ０００１ ” 固定
	回答時刻	X(06)	センターにおける回答電文処理時刻を表す。 HHMMSS=時、分、秒 （時:24時間表示）

(13) 照会記録情報訂正依頼電文

- ・ 照会記録情報訂正依頼電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
業 務 個 別 部 ・ 照 会 記 録 情 報 訂 正 依 頼 デ ー タ	利用者 I D	X(16)	訂正を依頼する操作者の利用者 I D
	取消訂正コード	X(01)	” 3 ” 固定「照会記録情報の訂正」 コード定義：取消訂正コード 参照
	経由会員コード	X(06)	他会員のシステムを経由して情報を提出している場合の経由会員の 会員コード
	受託会員コード	X(06)	他会員から照会記録情報の訂正を委託された場合、訂正する委託会員の 会員コード
	受託店番号	X(04)	照会記録情報の訂正を委託された場合、受託店の店番号
	会員コード	X(06)	訂正対象の照会記録情報の会員コード
	店番号	X(04)	訂正対象の照会記録情報の店番号
	照会管理番号 (1)	X(20)	会員任意の管理番号
	照会管理番号 (2)	X(20)	会員任意の管理番号
	依頼番号	X(08)	照会記録情報訂正依頼電文に付す一連番号 00000001 (8桁) からの一連番号とし、会員のセンター区分毎に 付番する。
	顧客番号	X(15)	会員任意の管理番号

(続く)

（続き）

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 記 録 情 報 訂 正 依 頼 デ ー タ	氏名（カナ）	X(25)	訂正対象の照会記録情報の氏名（カナ）
	氏名（漢字）	N(10)	訂正対象の照会記録情報の氏名（漢字）
	生年月日	X(09)	訂正対象の照会記録情報の生年月日
	郵便番号	X(07)	訂正対象の照会記録情報の郵便番号
	住所（カナ）	X(75)	訂正対象の照会記録情報の住所（カナ）
	住所（漢字）	N(50)	訂正対象の照会記録情報の住所（漢字）
	本人電話番号	X(14)	訂正対象の照会記録情報の本人電話番号
	照会目的	X(01)	訂正対象の照会記録情報の照会目的
	保証区分	X(01)	訂正対象の照会記録情報の保証区分
	債務形態区分	X(01)	訂正対象の照会記録情報の債務形態区分
	与信内容	X(02)	訂正対象の照会記録情報の与信内容
	消費性・事業性 区分	X(01)	訂正対象の照会記録情報の消費性・事業性区分
	照会パターン	X(02)	訂正対象の照会記録情報の照会パターン
	保証依頼元会員 コード	X(06)	訂正対象の照会記録情報の保証依頼元会員会員コード
	照会日	X(09)	訂正対象の照会記録情報の照会日

（続く）

（続き）

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 照 会 記 録 情 報 訂 正 依 頼 デ ー タ	該 当 の 訂 正 項 目		
	受託会員コード	X(06)	当該項目を訂正する場合、訂正後の内容
	受託店番号	X(04)	当該項目を訂正する場合、訂正後の内容
	会員コード	X(06)	当該項目を訂正する場合、訂正後の内容
	店番号	X(04)	当該項目を訂正する場合、訂正後の内容
	照会目的	X(01)	当該項目を訂正する場合、訂正後の内容
	保証区分	X(01)	当該項目を訂正する場合、訂正後の内容
	債務形態区分	X(01)	当該項目を訂正する場合、訂正後の内容
	与信内容	X(02)	当該項目を訂正する場合、訂正後の内容
	消費性・事業性区分	X(01)	当該項目を訂正する場合、訂正後の内容
	照会パターン	X(02)	当該項目を訂正する場合、訂正後の内容
	保証依頼元 会員コード	X(06)	当該項目を訂正する場合、訂正後の内容

（１４）照会記録情報訂正回答電文

- ・ 照会記録情報訂正回答電文の項目説明

項目名	桁数	項目内容
伝送ブロック ヘッダー部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
業務共通部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
照会記録情報訂正依頼 データ部		５．１．２（１３）照会記録情報訂正依頼電文を参照
一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
照会記録情報訂正件数	P9(04)	照会記録情報の訂正件数（ＺＥＲＯの場合、該当なし）
予備	P9(04)	予備
該当者通番	X(04)	” ０００１ ” 固定
回答時刻	X(06)	センターにおける回答電文処理時刻を表す。 HHMMSS=時、分、秒 （時：24時間表示）

（１５）官報情報（個人）・取引停止処分照会依頼電文

- ・ 官報情報（個人）・取引停止処分照会依頼電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
業 務 個 別 部 ・ 官 報 情 報 （ 個 人 ） ・ 取 引 停 止 処 分 照 会 依 頼 デ ー タ	利用者ＩＤ	X(16)	照会者の利用者ＩＤ
	経由会員コード	X(06)	他会員のシステムを経由して情報を提出している場合の経由会員の 会員コード
	受託会員コード	X(06)	他会員から照会を委託された場合、照会する受託会員の会員コード
	受託店番号	X(04)	照会を委託された場合、受託店の店番号
	会員コード	X(06)	照会する会員の会員コード。ただし他会員から照会の委託を受けた場 合は、照会委託者の会員コード。
	店番号	X(04)	照会する照会店の店番号。ただし照会の委託を受けた場合は、照会 委託者の店番号。
	照会管理番号（１）	X(20)	会員任意の管理番号
	照会管理番号（２）	X(20)	会員任意の管理番号
	依頼番号	X(08)	官報情報（個人）・取引停止処分照会依頼電文に付す一連番号 00000001（８桁）からの一連番号とし、 会員のセンター区分毎に付番する。
	顧客番号	X(15)	会員任意の管理番号
	照会区分	X(01)	当照会依頼が官報情報照会、または取引停止処分照会を表す。 コード定義：「資料編」の「４．１コード一覧」照会区分 参照
	氏名（カナ）	X(25)	被照会者の氏名（カナ）
	氏名（漢字）	N(10)	被照会者の氏名（漢字）
	生年月日	X(09)	被照会者の生年月日
	郵便番号	X(07)	被照会者の住所の郵便番号
	住所（漢字）	N(50)	被照会者の住所（漢字）
	銀行協会コード	X(06)	取引停止処分照会の場合に、照会対象の手形交換所が属する銀行協会 コードを指定する。

（１６）官報情報（個人）・取引停止処分照会回答電文

① 官報情報（個人）・取引停止処分照会回答電文のフォーマット

項 目	伝 送 ブ ロ ッ ク ヘ ッ ダ ー 部	業 務 共 通 部	業務個別部															
			処 分 照 会 依 頼 ・ デ ー タ 部 官 報 情 報 （ 個 人 ） ・ 取 引 停 止	回答件数データ							官報情報(個人)・取引停止処分照会回答データ							
				一 連 番 号	官 報 情 報 （ 個 人 ） 回 答 件 数	取 引 停 止 処 分 照 会 情 報	回 答 件 数	予 備 1	官 報 情 報 （ 個 人 ） 回 答 打 切 区 分	取 引 停 止 処 分 照 会 情 報	回 答 打 切 区 分	予 備 2	官 報 情 報 （ 個 人 ） 回 答 1	～	官 報 情 報 （ 個 人 ） 回 答 n	取 引 停 止 処 分 照 会 情 報 回 答 1	～	取 引 停 止 処 分 照 会 情 報 回 答 n
属性				P 9	P 9	P 9	P 9	X	X	X								
桁数				1 8	4	4	4	1	1	1								

② 官報情報（個人）・取引停止処分照会回答電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	官報情報(個人)・ 取引停止処分照会 依頼データ部		5. 1. 2 (1 5) 官報情報（個人）・取引停止処分照会依頼電文を参照
業 務 個 別 部 ・ 回 答 件 数 デ ー タ	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	官報情報（個人） 回答件数	P9(04)	官報情報（個人）の回答件数（Z E R O の場合、該当なし）
	取引停止処分照会 情報回答件数	P9(04)	取引停止処分照会情報の回答件数（Z E R O の場合、該当なし）
	予備 1	P9(04)	予備
	官報情報（個人） 回答打切区分	X(01)	コード定義：回答打切区分 参照
	取引停止処分照会 情報回答打切区分	X(01)	コード定義：回答打切区分 参照
	予備 2	X(01)	予備

a) 官報情報（個人）回答

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
業務 個別部・ 官報情報 （個人） 取引 停止 処分 照会 回答 データ	回答種別コード	X(02)	” 0 5 ” 固定「官報情報（個人）」 コード定義：回答種別コード 参照
	該当者通番	X(04)	1 照会依頼に対して官報情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
	氏名（漢字） （1）	N(10)	該当官報情報の氏名（漢字）（1）（最新）
	氏名注記 （1）	N(10)	氏名（漢字）（1）の注記
	氏名（漢字） （2）	N(10)	該当官報情報の氏名（漢字）（2）
	氏名注記 （2）	N(10)	氏名（漢字）（2）の注記
	氏名（漢字） （3）	N(10)	該当官報情報の氏名（漢字）（3）
	氏名注記 （3）	N(10)	氏名（漢字）（3）の注記
	生年月日	X(08)	該当官報情報の生年月日 当面” 9 9 9 9 9 9 9 9 ” 「不詳」を設定する。（西暦）
	住所（漢字） （1）	N(50)	該当官報情報の住所（漢字）（1）（最新）
	住所注記 （1）	N(10)	住所（漢字）（1）の注記
	住所（漢字） （2）	N(50)	該当官報情報の住所（漢字）（2）
	住所注記 （2）	N(10)	住所（漢字）（2）の注記
	住所（漢字） （3）	N(50)	該当官報情報の住所（漢字）（3）
	住所注記 （3）	N(10)	住所（漢字）（3）の注記
	官報公告項目	X(02)	コード定義：官報公告項目 参照
	事故発生日	X(08)	該当官報情報の事故発生日 （西暦）
	事件番号	X(13)	該当官報情報の事件番号
	掲載日	X(08)	該当官報情報の掲載日 （西暦）
	回答時刻	X(06)	センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMSS=時、分、秒（時:24時間表示）

b) 取引停止処分照会情報回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 官 報 情 報 （ 個 人 ） ・ 取 引 停 止 処 分 照 会 回 答 デ ー タ	回答種別コード	X(02)	” 0 7 ” 固定「取引停止処分照会情報」 コード定義：回答種別コード 参照
	該当者通番	X(04)	1 照会依頼に対して不渡情報単位の照会回答件数を表す 一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
	類似音氏名 マーク	X(01)	コード定義：類似音氏名マーク 参照
	氏名（カナ）	X(25)	該当不渡情報の氏名（カナ）
	氏名（漢字） （ 1 ）	N(10)	該当不渡情報の氏名（漢字）（ 1 ）（最新）
	氏名注記 （ 1 ）	N(10)	氏名（漢字）（ 1 ）の注記
	氏名（漢字） （ 2 ）	N(10)	該当不渡情報の氏名（漢字）（ 2 ）
	氏名注記 （ 2 ）	N(10)	氏名（漢字）（ 2 ）の注記
	氏名（漢字） （ 3 ）	N(10)	該当不渡情報の氏名（漢字）（ 3 ）
	氏名注記 （ 3 ）	N(10)	氏名（漢字）（ 3 ）の注記
	生年月日	X(08)	該当不渡情報の生年月日 (西暦)
	性別	X(01)	” 3 ” 固定「記載なし」 コード定義：性別 参照
	郵便番号	X(07)	該当不渡情報の郵便番号
	住所（カナ）	X(75)	該当不渡情報の住所（カナ）
	住所（漢字） （ 1 ）	N(50)	該当不渡情報の住所（漢字）（ 1 ）（最新）
	住所注記 （ 1 ）	N(10)	住所（漢字）（ 1 ）の注記
	住所（漢字） （ 2 ）	N(50)	該当不渡情報の住所（漢字）（ 2 ）
	住所注記 （ 2 ）	N(10)	住所（漢字）（ 2 ）の注記
	住所（漢字） （ 3 ）	N(50)	該当不渡情報の住所（漢字）（ 3 ）
	住所注記 （ 3 ）	N(10)	住所（漢字）（ 3 ）の注記

(続く)

（続き）

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	取引種類	X(02)	コード定義：取引種類 参照
	完了区分発生日	X(08)	該当不渡情報の完了区分に該当する状況が発生した日 (西暦)
	完了区分	X(02)	コード定義：完了区分 参照
	不渡事由	X(01)	コード定義：不渡事由 参照
	苦情受付コード	X(01)	コード定義：苦情受付コード 参照
	手形交換所コード	X(04)	該当不渡情報の手形交換所コード
	回答時刻	X(06)	センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMS S=時、分、秒 （時:24時間表示）

（１７）官報情報（個人）・取引停止処分照会回答電文（該当なし）

- ・ 官報情報（個人）・取引停止処分照会回答電文（該当なし）の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
	官報情報（個人）・ 取引停止処分照会 依頼データ部		５．１．２（１５）官報情報（個人）・取引停止処分照会依頼電文を参照
業 務 個 別 部 ・ 回 答 件 数 デ ー タ	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	官報情報（個人） 回答件数	P9(04)	該当なし Z E R O 固定
	取引停止処分照会 情報回答件数	P9(04)	該当なし Z E R O 固定
	予備 1	P9(04)	予備
	予備 2	X(01)	〃
	予備 3	X(01)	〃
	予備 4	X(01)	〃

（１８）～（２０）（欠番）

(21) 自社取引情報照会依頼電文

・ 自社取引情報照会依頼電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
業 務 個 別 部 ・ 自 社 取 引 情 報 照 会 依 頼 デ ー タ	利用者 I D	X(16)	照会者の利用者 I D
	経由会員コード	X(06)	他会員のシステムを経由して情報を提出している場合の経由会員の 会員コード
	受託会員コード	X(06)	他会員から照会を委託された場合、照会する受託会員の会員コード
	受託店番号	X(04)	照会を委託された場合、受託店の店番号
	会員コード	X(06)	照会する会員の会員コード。ただし他会員から照会の委託を受けた場 合は、照会委託者の会員コード。
	店番号	X(04)	照会する照会店の店番号。ただし照会の委託を受けた場合は、照会 委託者の店番号。
	照会管理番号 (1)	X(20)	会員任意の管理番号
	照会管理番号 (2)	X(20)	会員任意の管理番号
	依頼番号	X(08)	自社取引情報照会依頼電文に付す一連番号 00000001 (8桁) からの一連番号とし、 会員のセンター区分毎に付番する。
	顧客番号	X(15)	会員任意の管理番号 会員において管理上、必要な情報がある場合に入力
	対象情報区分	X(01)	” 1 ” 固定「取引情報」 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」対象情報区分 参照
	有効情報区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」有効情報区分 参照
	取消情報区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取消情報区分 参照
	履歴情報区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」履歴情報区分 参照
	正規化情報区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」正規化情報区分 参照
	予備	X(11)	予備
	氏名 (カナ)	X(25)	被照会者の氏名 (カナ)

(続く)

（続き）

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	氏名（漢字）	N(10)	被照会者の氏名（漢字）
	生年月日	X(09)	被照会者の生年月日
	住所（カナ）	X(75)	被照会者の住所（カナ）
	住所（漢字）	N(50)	被照会者の住所（漢字）
	本人電話番号	X(14)	被照会者の電話番号
	取引種類	X(02)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取引種類 参照
	取扱番号	X(23)	被照会者の取扱番号

（２２）自社取引情報回答電文

① 自社取引情報回答電文のフォーマット

項 目	伝 送 ブ ロ ッ ク ヘ ッ ダ ー 部	業 務 共 通 部	業務個別部							
			自 社 取 引 情 報 照 会 依 頼 デ ー タ 部	回答件数データ						
				一 連 番 号	自 社 取 引 情 報 回 答 件 数	自 社 本 人 属 性 履 歴 回 答 件 数	予 備 1	自 社 取 引 情 報 回 答 打 切 区 分	予 備 2	予 備 3
属性				P 9	P 9	P 9	P 9	X	X	X
桁数				1 8	4	4	4	1	1	1

・ 回答パターン１（自社取引情報回答）

項 目	業務個別部		
	自社取引情報回答データ		
	自 社 取 引 情 報 回 答 1	～	自 社 取 引 情 報 回 答 n

各回答パターンについては、後述の
表１ 回答パターン種別を参照

・回答パターン２（自社本人属性履歴回答）

項 目	業務個別部								
	自社取引情報回答データ								
	自 社 取 引 情 報 回 答	自 社 本 人 属 性 履 歴 回 答 1 (注1)	～	自 社 本 人 属 性 履 歴 回 答 n	～	自 社 取 引 情 報 回 答	自 社 本 人 属 性 履 歴 回 答 1	～	自 社 本 人 属 性 履 歴 回 答 n

(注1) 各自社本人属性履歴回答の中に最大5履歴保有する。5件未満の場合は残りは空白で回答する。
また本人属性履歴は本人属性変更年月日が最新の履歴から回答する。

・回答パターン３（自社正規化取引情報回答）

項 目	業務個別部		
	自社取引情報回答データ		
	自 社 正 規 化 取 引 情 報 回 答 1	～	自 社 正 規 化 取 引 情 報 回 答 n

・回答パターン４（自社正規化本人属性履歴回答）

項 目	業務個別部								
	自社取引情報回答データ								
	自 社 正 規 化 取 引 情 報 回 答	自 社 正 規 化 本 人 属 性 履 歴 回 答 1 (注2)	～	自 社 正 規 化 本 人 属 性 履 歴 回 答 n	～	自 社 正 規 化 取 引 情 報 回 答	自 社 正 規 化 本 人 属 性 履 歴 回 答 1	～	自 社 正 規 化 本 人 属 性 履 歴 回 答 n

(注2) 各自社正規化本人属性履歴回答の中に最大3履歴保有する。3件未満の場合は残りは空白で回答する。
また本人属性履歴は本人属性変更年月日が最新の履歴から回答する。

表1 回答パターン種別

<div style="text-align: center;"> 自社情報照会依頼 電文の項目 回答パターン </div>	対象情報区分が「取引情報」の場合			
	有効 情報	取 消 情 報	履 歴 情 報	正 規 化 情 報
パターン 1 (自社取引情報回答)	○			
		○		
	○	○		
パターン 2 (自社本人属性履歴回答)	○		○	
		○	○	
	○	○	○	
パターン 3 (自社正規化取引情報回 答)	○			○
		○		○
	○	○		○
パターン 4 (自社正規化本人属性履歴 回答)	○		○	○
		○	○	○
	○	○	○	○

自社情報照会依頼電文の有効情報区分、取消情報区分、履歴情報区分、正規化情報区分の設定の組合せにより、自社取引回答電文をパターン1～4の形式で回答する。

② 自社取引情報回答電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	自社取引情報照会依頼 データ部		5. 1. 2 (2 1) 自社取引情報照会依頼電文を参照
業 務 個 別 部 ・ 回 答 件 数 デ ー タ	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	自社取引情報回答件数	P9(04)	自社取引情報回答、または、自社正規化取引情報回答の件数
	自社本人属性履歴回答 件数	P9(04)	自社本人属性履歴回答、または、自社正規化本人属性履歴回答の件数 (Z E R O の場合、該当なし)
	予備 1	P9(04)	予備
	自社取引情報 回答打切区分	X(01)	コード定義：回答打切区分 参照
	予備 2	X(01)	予備
	予備 3	X(01)	予備

a) 自社取引情報回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 取 引 情 報 回 答 デ ー タ	回答種別コード	X(02)	” 2 1 ” 固定「自社取引情報」 コード定義：回答種別コード 参照
	該当者通番	X(04)	1 照会依頼に対して取引情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
	受託会員コード	X(06)	該当取引情報の受託会員コード
	会員コード	X(06)	該当取引情報の会員コード
	旧会員コード (1)	X(06)	該当取引情報の旧会員コード (1) (旧会員コード (2) より新)
	旧会員コード (2)	X(06)	該当取引情報の旧会員コード (2)
	店番号	X(04)	該当取引情報の店番号
	取扱番号	X(23)	該当取引情報の取扱番号
	クレジット 枝番号	X(15)	該当取引情報のクレジット枝番号
	類似音氏名 マーク	X(01)	コード定義：類似音氏名マーク 参照
	氏名 (カナ)	X(25)	該当取引情報の氏名 (カナ)
	氏名 (漢字)	N(10)	該当取引情報の氏名 (漢字)
	生年月日	X(08)	該当取引情報の生年月日 (西暦)
	性別	X(01)	コード定義：性別 参照
	郵便番号	X(07)	該当取引情報の郵便番号
	住所 (カナ)	X(75)	該当取引情報の住所 (カナ)
	住所 (漢字)	N(50)	該当取引情報の住所 (漢字)
	本人電話番号	X(14)	該当取引情報の本人電話番号
	勤務先名 (カナ)	X(30)	該当取引情報の勤務先名 (カナ)
	勤務先名 (漢字)	N(20)	該当取引情報の勤務先名 (漢字)

(続く)

（続き）

項目名		桁数	項目内容
業務個別部・自社取引情報回答データ	勤務先電話番号	X(14)	該当取引情報の勤務先電話番号
	取引種類	X(02)	コード定義：取引種類 参照
	従属者識別コード（登録）	X(01)	コード定義：従属者識別コード（登録） 参照
	成約日／実行日	X(08)	該当取引情報の成約日または実行日 (西暦)
	カード限度額 管理識別番号	X(30)	該当取引情報のカード限度額管理識別番号
	限度額 ／当初貸出額	X(07)	該当取引情報の限度額または当初貸出額 (単位：千円)
	内カードローン 限度額	X(07)	該当取引情報の内カードローン限度額 (単位：千円)
	内キャッシング 限度額	X(07)	該当取引情報の内キャッシング限度額 (単位：千円)
	設定期限 ／最終返済日	X(08)	該当取引情報の設定期限または最終返済日 (西暦)
	消費性・事業性 区分	X(01)	コード定義：消費性・事業性区分 参照
	使途区分	X(01)	コード定義：使途区分 参照
	担保有無	X(01)	コード定義：担保有無 参照
	事故情報登録 マーク	X(01)	該当取引情報が事故情報である旨の表示 コード定義：事故情報登録マーク 参照
	返済区分発生日	X(08)	該当取引情報の返済区分に該当する状況が発生した日 (西暦)
	返済区分	X(02)	コード定義：返済区分 参照
	延滞解消日	X(08)	該当取引情報の延滞解消日 (西暦)
	完了区分発生日	X(08)	該当取引情報の完了区分に該当する状況が発生した日 (西暦)
	完了区分	X(02)	コード定義：完了区分 参照
	保証限度額	X(09)	該当取引情報の保証限度額 (単位：千円)
	保証期限	X(08)	該当取引情報の保証期限 (西暦)

（続く）

(続き)

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業務 個別部・ 自社取引 情報回答 データ	登録通知状 発出停止フラグ	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」登録通知状発出停止フラグ 参照
	登録通知状マーク	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」登録通知状マーク 参照
	苦情受付コード	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」苦情受付コード 参照
	保証依頼元 会員コード	X(06)	該当取引情報の保証依頼元会員コード
	取消理由コード (取引情報)	X(02)	コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」取消理由コード(取引情報)上1桁 参照 コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」取消理由コード(取引情報)下1桁 参照
	予備	X(08)	予備
	会員独自管理番号	X(02)	該当取引情報の会員独自管理番号
	返済履歴 情報	残債額更新 日	残債額が会員側で更新された日付 (西暦)
		残債額	該当取引情報の残債額 (単位：千円)
		内カードロ ーン残債額	該当取引情報の内カードローン残債額 (単位：千円)
		内キャッシ ング残債額	該当取引情報の内キャッシング残債額 (単位：千円)
		照会月における登録データを含む24か月分の入金区分、入金区分更新日、および残債額、 残債額更新日を表示する。照会月の登録データがない場合は、スペースを表示する。	
		残債額更新 日 (1)	残債額履歴 (1) の残債額更新日 (西暦)
		残債額履歴 (1)	照会日の属する月の23か月前の月を残債額更新日として 登録されている残債額 (単位：千円)
		入金区分 更新日 (1)	入金区分履歴 (1) の入金区分更新日 (西暦)
		入金区分 履歴 (1)	照会日の属する月の23か月前の月を入金区分更新日として 登録されている入金区分 コード定義：入金区分 参照
		}	}
		残債額更新 日 (24)	残債額履歴 (24) の残債額更新日 (西暦)
		残債額履歴 (24)	照会日の属する月を残債額更新日として登録されている残債額 (単位：千円)
		入金区分更 新日 (24)	入金区分履歴 (24) の入金区分更新日 (西暦)
		入金区分 履歴 (24)	照会日の属する月を入金区分更新日として登録されている入金区分 コード定義：入金区分 参照

(続く)

（続き）

			項 目 名	桁数	項 目 内 容
業務個別部・自社取引情報回答データ	自社取引情報回答	返済状況変更・訂正履歴	(注) 返済状況（返済区分・延滞解消日・完了区分）の変更・訂正履歴を最大6世代分回答する。先頭の01に最新の情報が設定される。平成19年7月30日以降に返済状況の変更・訂正登録を行った場合（処理日≧平成19年7月30日）は上段、それ以前に返済状況の訂正登録を行った場合（処理日<平成19年7月30日）は下段を参照。		
			返済区分発生日（変更・訂正前）	X(08)	変更・訂正前返済区分発生日（西暦）
			返済区分発生日（訂正前）		訂正前返済区分発生日（西暦）
			返済区分（変更・訂正前）	X(02)	変更・訂正前返済区分 （コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」参照）
			返済区分（訂正前）		訂正前返済区分 （コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」参照）
			延滞解消日（変更・訂正前）	X(08)	変更・訂正前延滞解消日（西暦）
			延滞解消日（訂正前）		訂正前延滞解消日（西暦）
			完了区分発生日（変更・訂正前）	X(08)	変更・訂正前完了区分発生日（西暦）
			完了区分発生日（訂正前）		訂正前完了区分発生日（西暦）
			完了区分（変更・訂正前）	X(02)	変更・訂正前完了区分 （コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」参照）
			完了区分（訂正前）		訂正前完了区分 （コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」参照）
			予備	X(08)	（空白）
			返済区分発生日（訂正後）		訂正後返済区分発生日（西暦）
			新規事故区分	X(02)	新規事故情報＝' 0 1 '、新規事故以外＝空白
			返済区分（訂正後）		訂正後返済区分（コード定義参照）
			予備	X(08)	（空白）
			延滞解消日（訂正後）		訂正後延滞解消日（西暦）
			データ作成日	X(08)	返済状況の変更・訂正登録情報のデータ作成日（西暦）
			完了区分発生日（訂正後）		訂正後完了区分発生日（西暦）
			変更・訂正区分	X(02)	変更＝' 2 __ '、訂正＝' 4 __ '（' __ '＝空白）
			完了区分（訂正後）		訂正後完了区分（コード定義参照）
			処理日	X(08)	返済状況の変更・訂正登録をセンターが処理した日（西暦）
			処理日		返済状況の訂正登録をセンターが処理した日（西暦）

（続く）

（続き）

			項 目 名	桁数	項 目 内 容
			(02～05)		
業務 個 別 部 ・ 自 社 取 引 情 報	自 社 取 引 情 報 回 答	返 済 状 況 変 更 ・ 訂 正 履 歴	返済区分発生日 (変更・訂正前)	X(08)	変更・訂正前返済区分発生日(西暦)
			返済区分発生日 (訂正前)		訂正前返済区分発生日(西暦)
			返済区分 (変更・訂正前)	X(02)	変更・訂正前返済区分 (コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」参照)
			返済区分 (訂正前)		訂正前返済区分 (コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」参照)
			延滞解消日 (変更・訂正前)	X(08)	変更・訂正前延滞解消日(西暦)
			延滞解消日 (訂正前)		訂正前延滞解消日(西暦)
			完了区分発生日 (変更・訂正前)	X(08)	変更・訂正前完了区分発生日(西暦)
			完了区分発生日 (訂正前)		訂正前完了区分発生日(西暦)
			完了区分 (変更・訂正前)	X(02)	変更・訂正前完了区分 (コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」参照)
			完了区分 (訂正前)		訂正前完了区分 (コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」参照)
			予備	X(08)	(空白)
			返済区分発生日 (訂正後)		訂正後返済区分発生日(西暦)
			新規事故区分	X(02)	新規事故情報='01'、新規事故以外=空白
			返済区分 (訂正後)		訂正後返済区分 (コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」参照)
			予備	X(08)	(空白)
			延滞解消日 (訂正後)		訂正後延滞解消日(西暦)
			データ作成日	X(08)	返済状況の変更・訂正登録情報のデータ作成日(西暦)
			完了区分発生日 (訂正後)		訂正後完了区分発生日(西暦)
			変更・訂正区分	X(02)	変更='2__'、訂正='4__' ('__'=空白)
			完了区分 (訂正後)		訂正後完了区分(コード定義参照)
			処理日	X(08)	返済状況の変更・訂正登録をセンターが処理した日(西暦)
			処理日		返済状況の訂正登録をセンターが処理した日(西暦)

（続く）

(続き)

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
業務 個別 部・自 社取 引情 報回 答デ ータ	主債務者名 (カナ)	X(30)	該当取引情報の主債務者名 (カナ)
	主債務者名 (漢字)	N(20)	該当取引情報の主債務者名 (漢字)
	主債務者設立 年月日	X(08)	該当取引情報の主債務者設立年月日 (西暦)
	主債務者郵便番号	X(07)	該当取引情報の主債務者郵便番号
	主債務者住所 (カナ)	X(75)	該当取引情報の主債務者住所 (カナ)
	主債務者住所 (漢字)	N(50)	該当取引情報の主債務者住所 (漢字)
	主債務者電話番号	X(14)	該当取引情報の主債務者電話番号
	取消区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取消区分 参照
	処理日	X(08)	該当取引情報のセンター（登録）処理日 (西暦)
	処理時刻	X(06)	該当取引情報のセンター（登録）時間 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)
	データ作成日	X(08)	該当取引情報のデータ作成日 (西暦)
	新規登録日	X(08)	該当取引情報の処理区分を「新規」として提出した場合の センターにおける登録日 (注) 現行データ未設定分は空白で回答する (西暦)
	登録手段	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」登録手段 参照
	マスキング有無	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」マスキング有無 参照
	回答時刻	X(06)	センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)
	本人属性履歴件数	X(02)	該当取引情報の本人属性履歴の件数

EDPによる自社情報照会における返済状況履歴の編集

平成19年7月30日登録分からセンターDBの返済状況履歴の登録項目を変更しているが、EDPによる自社情報照会については、会員システムへの影響を考慮し、以下のとおり変更前の項目に編集している。

このため、EDPによる自社情報照会では、新規事故区分、（当該返済区分等の）データ作成日、変更・訂正区分は回答されない。

これらの項目を確認するためには、WEB端末で自社情報照会する必要がある。

1. 平成19年7月30日以降登録分

センターDBの登録内容	EDPによる自社情報照会の回答内容
変更・訂正前返済区分発生日	同左
変更・訂正前返済区分	同左
変更・訂正前延滞解消日	同左
変更・訂正前完了区分発生日	同左
変更・訂正前完了区分	同左
予備	変更・訂正後返済区分発生日（注2）
新規事故区分（注1）	変更・訂正後返済区分（注2）
予備	変更・訂正後延滞解消日（注2）
データ作成日（注1）	変更・訂正後完了区分発生日（注2）
変更・訂正区分（注1）	変更・訂正後完了区分（注2）
センター処理日	訂正日（＝センター処理日）

（注1）EDPによる自社情報照会では回答されない。

（注2）変更・訂正後の世代から格納。

2. 平成19年7月29日以前登録分

センターDBの登録内容	EDPによる自社情報照会の回答内容
訂正前返済区分発生日	同左
訂正前返済区分	同左
訂正前延滞解消日	同左
訂正前完了区分発生日	同左
訂正前完了区分	同左
訂正後返済区分発生日	同左
訂正後返済区分	同左
訂正後延滞解消日	同左
訂正後完了区分発生日	同左
訂正後完了区分	同左
訂正日	同左

b) 自社本人属性履歴回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 取 引 情 報 回 答 デ ー タ	自 社 本 人 属 性 履 歴 回 答	回答種別コード	” 3 1 ” 固定「自社取引情報の本人属性履歴」 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」回答種別コード 参照
		X(02)	
	該 当 者 通 番		1 照会依頼に対して取引情報単位の照会回答件数を表す一連番号
		X(04)	0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
	本 人 属 性 履 歴 1	本人属性履歴一連番号	取引情報に対応する、本人属性履歴の中で一意の一連番号
		X(02)	
		類似音氏名マーク	コード定義：類似音氏名マーク 参照
		X(01)	
		氏名 (カナ)	該当本人属性履歴の氏名 (カナ)
		X(25)	
		氏名 (漢字)	該当本人属性履歴の氏名 (漢字)
		N(10)	
		住所 (カナ)	該当本人属性履歴の住所 (カナ)
		X(75)	
		住所 (漢字)	該当本人属性履歴の住所 (漢字)
		N(50)	
		本人電話番号	該当本人属性履歴の本人電話番号
		X(14)	
	本 人 属 性 履 歴 2	勤務先名 (カナ)	該当本人属性履歴の勤務先名 (カナ)
		X(30)	
		勤務先名 (漢字)	該当本人属性履歴の勤務先名 (漢字)
		N(20)	
		本人属性変更年月日	該当本人属性履歴の本人属性変更年月日 (西暦)
		X(08)	
		取消区分	コード定義：取消区分 参照
		X(01)	
		本人属性履歴一連番号	取引情報に対応する、本人属性履歴の中で一意の一連番号
		X(02)	
		類似音氏名マーク	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」類似音氏名マーク 参照
		X(01)	
		氏名 (カナ)	該当本人属性履歴の氏名 (カナ)
		X(25)	
		氏名 (漢字)	該当本人属性履歴の氏名 (漢字)
		N(10)	
		住所 (カナ)	該当本人属性履歴の住所 (カナ)
		X(75)	
		住所 (漢字)	該当本人属性履歴の住所 (漢字)
		N(50)	
		本人電話番号	該当本人属性履歴の本人電話番号
		X(14)	

(続く)

（続き）

項 目 名			桁数	項 目 内 容	
業 務 個 別 部 ・ 自 社 取 引 情 報 回 答 デ ー タ	自 社 本 人 属 性 履 歴 回 答		勤務先名 (カナ)	X(30)	該当本人属性履歴の勤務先名 (カナ)
			勤務先名 (漢字)	N(20)	該当本人属性履歴の勤務先名 (漢字)
			本人属性 変更年月日	X(08)	該当本人属性履歴の本人属性変更年月日 (西暦)
			取消区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取消区分 参照
	本 人 属 性 履 歴 3		本人属性履 歴一連番号	X(02)	取引情報に対応する、本人属性履歴の中で一意の一連番号
			類似音 氏名マーク	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」類似音氏名マーク 参照
			氏名 (カナ)	X(25)	該当本人属性履歴の氏名 (カナ)
			氏名 (漢字)	N(10)	該当本人属性履歴の氏名 (漢字)
			住所 (カナ)	X(75)	該当本人属性履歴の住所 (カナ)
			住所 (漢字)	N(50)	該当本人属性履歴の住所 (漢字)
			本人 電話番号	X(14)	該当本人属性履歴の本人電話番号
			勤務先名 (カナ)	X(30)	該当本人属性履歴の勤務先名 (カナ)
			勤務先名 (漢字)	N(20)	該当本人属性履歴の勤務先名 (漢字)
			本人属性 変更年月日	X(08)	該当本人属性履歴の本人属性変更年月日 (西暦)
			取消区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取消区分 参照
	本 人 属 性 履 歴 4		本人属性履 歴一連番号	X(02)	取引情報に対応する、本人属性履歴の中で一意の一連番号
			類似音 氏名マーク	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」類似音氏名マーク 参照
			氏名 (カナ)	X(25)	該当本人属性履歴の氏名 (カナ)
			氏名 (漢字)	N(10)	該当本人属性履歴の氏名 (漢字)
			住所 (カナ)	X(75)	該当本人属性履歴の住所 (カナ)

（続く）

（続き）

項 目 名			桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 取 引 情 報 回 答 デ ー タ	自 社 本 人 属 性 履 歴 回 答	住所 (漢字)	N(50)	該当本人属性履歴の住所（漢字）
		本人 電話番号	X(14)	該当本人属性履歴の本人電話番号
		勤務先名 (カナ)	X(30)	該当本人属性履歴の勤務先名（カナ）
		勤務先名 (漢字)	N(20)	該当本人属性履歴の勤務先名（漢字）
		本人属性 変更年月日	X(08)	該当本人属性履歴の本人属性変更年月日 (西暦)
		取消区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取消区分 参照
	本 人 属 性 履 歴 5	本人属性履 歴一連番号	X(02)	取引情報に対応する、本人属性履歴の中で一意の一連番号
		類似音 氏名マーク	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」類似音氏名マーク 参照
		氏名 (カナ)	X(25)	該当本人属性履歴の氏名（カナ）
		氏名 (漢字)	N(10)	該当本人属性履歴の氏名（漢字）
		住所 (カナ)	X(75)	該当本人属性履歴の住所（カナ）
		住所 (漢字)	N(50)	該当本人属性履歴の住所（漢字）
		本人 電話番号	X(14)	該当本人属性履歴の本人電話番号
		勤務先名 (カナ)	X(30)	該当本人属性履歴の勤務先名（カナ）
		勤務先名 (漢字)	N(20)	該当本人属性履歴の勤務先名（漢字）
		本人属性 変更年月日	X(08)	該当本人属性履歴の本人属性変更年月日 (西暦)
		取消区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取消区分 参照
		回答時刻	X(06)	センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMSS=時、分、秒（時:24時間表示）
		予備	X(259)	予備

c) 自社正規化取引情報回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 取 引 情 報 回 答 デ ー タ	回答種別コード	X(02)	” 4 1 ” 固定「自社正規化取引情報」 コード定義：回答種別コード 参照
	該当者通番	X(04)	1 照会依頼に対して取引情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
	受託会員コード	X(06)	該当取引情報の受託会員コード
	会員コード	X(06)	該当取引情報の会員コード
	旧会員コード (1)	X(06)	該当取引情報の旧会員コード (1) (旧会員コード (2) より新)
	旧会員コード (2)	X(06)	該当取引情報の旧会員コード (2)
	店番号	X(04)	該当取引情報の店番号
	取扱番号	X(23)	該当取引情報の取扱番号
	クレジット 枝番号	X(15)	該当取引情報のクレジット枝番号
	類似音氏名 マーク	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」類似音氏名マーク 参照
	氏名 (カナ)	X(25)	該当取引情報の氏名 (カナ)
	氏名 (漢字)	N(10)	該当取引情報の氏名 (漢字)
	生年月日	X(08)	該当取引情報の生年月日 (西暦)
	性別	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」性別 参照
	郵便番号	X(07)	該当取引情報の郵便番号
	住所 (カナ)	X(75)	該当取引情報の住所 (カナ)
	住所 (漢字)	N(50)	該当取引情報の住所 (漢字)
	本人電話番号	X(14)	該当取引情報の本人電話番号
	勤務先名 (カナ)	X(30)	該当取引情報の勤務先名 (カナ)
	勤務先名 (漢字)	N(20)	該当取引情報の勤務先名 (漢字)

(続く)

（続き）

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 取 引 情 報 回 答 デ ー タ	勤務先電話番号	X(14)	該当取引情報の勤務先電話番号
	取引種類	X(02)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取引種類 参照
	従属者識別コード （登録）	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」従属者識別コード（登録） 参照
	成約日／実行日	X(08)	該当取引情報の成約日または実行日 (西暦)
	カード限度額 管理識別番号	X(30)	該当取引情報のカード限度額管理識別番号
	限度額 ／当初貸出額	X(07)	該当取引情報の限度額または当初貸出額 (単位：千円)
	内カードローン 限度額	X(07)	該当取引情報の内カードローン限度額 (単位：千円)
	内キャッシング 限度額	X(07)	該当取引情報の内キャッシング限度額 (単位：千円)
	設定期限 ／最終返済日	X(08)	該当取引情報の設定期限または最終返済日 (西暦)
	消費性・事業性 区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」消費性・事業性区分 参照
	使途区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」使途区分 参照
	担保有無	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」担保有無 参照
	事故情報登録 マーク	X(01)	該当取引情報が事故情報である旨の表示 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」事故情報登録マーク 参照
	返済区分発生日	X(08)	該当取引情報の返済区分に該当する状況が発生した日 (西暦)
	返済区分	X(02)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」返済区分 参照
	延滞解消日	X(08)	該当取引情報の延滞解消日 (西暦)
	完了区分発生日	X(08)	該当取引情報の完了区分に該当する状況が発生した日 (西暦)
	完了区分	X(02)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」完了区分 参照
	保証限度額	X(09)	該当取引情報の保証限度額 (単位：千円)
	保証期限	X(08)	該当取引情報の保証期限 (西暦)

（続く）

(続き)

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 取 引 情 報 回 答 デ ー タ	自 社 正 規 化 取 引 情 報 回 答	登録通知状 発出停止フラグ	X(01) コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」登録通知状発出停止フラグ 参照
		登録通知状マーク	X(01) コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」登録通知状マーク 参照
		苦情受付コード	X(01) コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」苦情受付コード 参照
		保証依頼元 会員コード	X(06) 該当取引情報の保証依頼元会員コード
		取消理由コード (取引情報)	X(02) コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」取消理由コード(取引情報)上1桁 参照 コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」取消理由コード(取引情報)下1桁 参照
		予備	X(08) 予備
		会員独自管理番号	X(02) 該当取引情報の会員独自管理番号
	返 済 履 歴 情 報	残債額更新 日	X(08) 残債額が会員側で更新された日付 (西暦)
		残債額	X(07) 該当取引情報の残債額 (単位：千円)
		内カードロ ーン残債額	X(07) 該当取引情報の内カードローン残債額 (単位：千円)
		内キャッシ ング残債額	X(07) 該当取引情報の内キャッシング残債額 (単位：千円)
		照会月における登録データを含む24か月分の入金区分、入金区分更新日および、残債額、 残債額更新日を表示する。照会月の登録データがない場合は、スペースを表示する。	
		残債額更新 日 (1)	X(08) 残債額履歴 (1) の残債額更新日 (西暦)
		残債額履歴 (1)	X(07) 照会日の属する月の23か月前の月を残債額更新日として 登録されている残債額 (単位：千円)
		入金区分 更新日 (1)	X(08) 入金区分履歴 (1) の入金区分更新日 (西暦)
		入金区分 履歴 (1)	X(01) 照会日の属する月の23か月前の月を入金区分更新日として登録され ている入金区分 コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」入金区分 参照
		}	}
		残債額更新 日 (24)	X(08) 残債額履歴 (24) の残債額更新日 (西暦)
		残債額履歴 (24)	X(07) 照会日の属する月を残債額更新日として登録されている残債額 (単位：千円)
		入金区分更 新日 (24)	X(08) 入金区分履歴 (24) の入金区分更新日 (西暦)
		入金区分 履歴 (24)	X(01) 照会日の属する月を入金区分更新日として登録されている入金区分 コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」入金区分 参照

(続く)

（続き）

		項 目 名	桁数	項 目 内 容
業務個別部・自社取引情報回答データ	自社取引情報回答	返済・完了区分変更訂正履歴	変更・訂正した履歴の順で（01）から表示する。訂正がない場合は、スペースを表示する。	
			（上段：平成19年7月30日以降登録分 下段：平成19年7月29日以前登録分）	
			返済区分発生日 （変更・訂正前）	該当取引情報の変更・訂正前返済区分発生日（西暦）
			返済区分発生日 （訂正前）	該当取引情報の訂正前返済区分発生日（西暦）
			X(08)	
			返済区分 （変更・訂正前）	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」返済区分 参照
			返済区分 （訂正前）	
			X(02)	
			延滞解消日 （変更・訂正前）	該当取引情報の変更・訂正前延滞解消日（西暦）
			延滞解消日 （訂正前）	該当取引情報の訂正前延滞解消日（西暦）
			X(08)	
			完了区分発生日 （変更・訂正前）	該当取引情報の変更・訂正前完了区分発生日（西暦）
			完了区分発生日 （訂正前）	該当取引情報の訂正前完了区分発生日（西暦）
			X(08)	
			完了区分 （変更・訂正前）	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」完了区分 参照
			完了区分 （訂正前）	
			X(02)	
			予備	（空白）
			返済区分発生日 （訂正後）	該当取引情報の訂正後返済区分発生日（西暦）
			X(08)	
			新規事故区分	新規事故情報＝' 0 1 '、新規事故以外＝空白
			返済区分 （訂正後）	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」返済区分 参照
			X(02)	
			予備	（空白）
			延滞解消日 （訂正後）	該当取引情報の訂正後延滞解消日（西暦）
			X(08)	
			データ作成日	返済状況の変更・訂正登録情報のデータ作成日（西暦）
			完了区分発生日 （訂正後）	該当取引情報の訂正後完了区分発生日（西暦）
			X(08)	
			変更・訂正区分	変更＝' 2 __ '、訂正＝' 4 __ '（' __ '＝空白）
			完了区分 （訂正後）	コード定義：完了区分 参照
			X(02)	
			処理日	返済情報の変更・訂正登録をセンターが処理した日（西暦）
			処理日	返済情報の訂正登録をセンターが処理した日（西暦）
			X(08)	

（続く）

（続き）

			項 目 名	桁数	項 目 内 容
			(0 2 ～ 0 5)		
業 務 個 別 部 ・ 自 社 取 引 情 報	自 社 取 引 情 報 回 答	返 済 ・ 完 了 区 分 変 更 訂 正 履 歴	返済区分発生日 (変更・訂正前)	X(08)	該当取引情報の変更・訂正前返済区分発生日(西暦)
			返済区分発生日 (訂正前)		該当取引情報の訂正前返済区分発生日(西暦)
			返済区分 (変更・訂正前)	X(02)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」返済区分 参照
			返済区分 (訂正前)		
			延滞解消日 (変更・訂正前)	X(08)	該当取引情報の変更・訂正前延滞解消日(西暦)
			延滞解消日 (訂正前)		該当取引情報の訂正前延滞解消日(西暦)
			完了区分発生日 (変更・訂正前)	X(08)	該当取引情報の変更・訂正前完了区分発生日(西暦)
			完了区分発生日 (訂正前)		該当取引情報の訂正前完了区分発生日(西暦)
			完了区分 (変更・訂正前)	X(02)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」完了区分 参照
			完了区分 (訂正前)		
			予備	X(08)	(空白)
			返済区分発生日 (訂正後)		該当取引情報の訂正後返済区分発生日(西暦)
			新規事故区分	X(02)	新規事故情報＝' 0 1 '、新規事故以外＝空白
			返済区分 (訂正後)		コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」返済区分 参照
			予備	X(08)	(空白)
			延滞解消日 (訂正後)		該当取引情報の訂正後延滞解消日(西暦)
			データ作成日	X(08)	返済状況の変更・訂正登録情報のデータ作成日(西暦)
			完了区分発生日 (訂正後)		該当取引情報の訂正後完了区分発生日(西暦)
			変更・訂正区分	X(02)	変更＝' 2 __ '、訂正＝' 4 __ ' (' __ '＝空白)
			完了区分 (訂正後)		コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」完了区分 参照
			処理日	X(08)	返済情報の変更・訂正登録をセンターが処理した日(西暦)
			処理日		返済情報の訂正登録をセンターが処理した日(西暦)

（続く）

(続き)

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 取 引 情 報 回 答 デ ー タ	自 社 正 規 化 取 引 情 報 回 答	主債務者名 (カナ)	X(30) 該当取引情報の主債務者名 (カナ)
		主債務者名 (漢字)	N(20) 該当取引情報の主債務者名 (漢字)
		主債務者設立 年月日	X(08) 該当取引情報の主債務者設立年月日 (西暦)
		主債務者郵便番号	X(07) 該当取引情報の主債務者郵便番号
		主債務者住所 (カナ)	X(75) 該当取引情報の主債務者住所 (カナ)
		主債務者住所 (漢字)	N(50) 該当取引情報の主債務者住所 (漢字)
		主債務者電話番号	X(14) 該当取引情報の主債務者電話番号
		取消区分	X(01) コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取消区分 参照
		処理日	X(08) 該当取引情報のセンター（登録）処理日 (西暦)
		処理時刻	X(06) 該当取引情報のセンター（登録）時間 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)
		データ作成日	X(08) 該当取引情報のデータ作成日 (西暦)
		新規登録日	X(08) 該当取引情報の処理区分を「新規」として提出した場合の センターにおける登録日 (西暦) (注) 現行データ未設定分は空白で回答する
		登録手段	X(01) コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」登録手段 参照
		マスキング有無	X(01) コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」マスキング有無 参照
		回答時刻	X(06) センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)
		本人属性履歴件数	X(02) 該当取引情報の本人属性履歴の件数
	正 規 化 情 報	正規化 氏名 (カナ)	X(25) 該当取引情報の正規化後の氏名 (カナ)
		正規化 氏名 (漢字)	N(10) 該当取引情報の正規化後の氏名 (漢字)
		正規化 住所 (カナ)	X(75) 該当取引情報の正規化後の住所 (カナ)
		正規化 住所 (漢字)	N(50) 該当取引情報の正規化後の住所 (漢字)

d) 自社正規化本人属性履歴回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 取 引 情 報 回 答 デ ー タ	自 社 正 規 化 本 人 属 性 履 歴 1	回答種別コード	” 5 1 ” 固定「自社正規化取引情報の本人属性履歴」 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」回答種別コード 参照
		X(02)	
	本 人 属 性 履 歴 1	該当者通番	1 照会依頼に対して取引情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
		X(04)	
	本 人 属 性 履 歴 1	本人属性履歴一連番号	取引情報に対応する、本人属性履歴の中で一意の一連番号
		X(02)	
	本 人 属 性 履 歴 1	類似音 氏名マーク	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」類似音氏名マーク 参照
		X(01)	
	本 人 属 性 履 歴 1	氏名 (カナ)	該当本人属性履歴の氏名 (カナ)
		X(25)	
	本 人 属 性 履 歴 1	氏名 (漢字)	該当本人属性履歴の氏名 (漢字)
		N(10)	
	本 人 属 性 履 歴 1	住所 (カナ)	該当本人属性履歴の住所 (カナ)
		X(75)	
	本 人 属 性 履 歴 1	住所 (漢字)	該当本人属性履歴の住所 (漢字)
		N(50)	
	本 人 属 性 履 歴 1	本人 電話番号	該当本人属性履歴の本人電話番号
		X(14)	
	本 人 属 性 履 歴 1	勤務先名 (カナ)	該当本人属性履歴の勤務先名 (カナ)
		X(30)	
	本 人 属 性 履 歴 1	勤務先名 (漢字)	該当本人属性履歴の勤務先名 (漢字)
		N(20)	
	本 人 属 性 履 歴 1	本人属性 変更年月日	該当本人属性履歴の本人属性変更年月日 (西暦)
		X(08)	
	本 人 属 性 履 歴 1	取消区分	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取消区分 参照
		X(01)	
	正 規 化 情 報 1	正規化 氏名 (カナ)	該当本人属性履歴の正規化後の氏名 (カナ)
		X(25)	
	正 規 化 情 報 1	正規化 氏名 (漢字)	該当本人属性履歴の正規化後の氏名 (漢字)
		N(10)	
	正 規 化 情 報 1	正規化 住所 (カナ)	該当本人属性履歴の正規化後の住所 (カナ)
		X(75)	
	正 規 化 情 報 1	正規化 住所 (漢字)	該当本人属性履歴の正規化後の住所 (漢字)
		N(50)	
	本 人 属 性 履 歴 1	本人属性履歴一連番号	取引情報に対応する、本人属性履歴の中で一意の一連番号
		X(02)	
	本 人 属 性 履 歴 1	類似音 氏名マーク	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」類似音氏名マーク 参照
		X(01)	
	本 人 属 性 履 歴 1	氏名 (カナ)	該当本人属性履歴の氏名 (カナ)
		X(25)	

(続く)

（続き）

項 目 名			桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 取 引 情 報 回 答 デ ー タ	自 社 正 規 化 本 人 属 性 履 歴 回 答	本 人 属 性 履 歴 2	氏名 (漢字)	該当本人属性履歴の氏名 (漢字)
			住所 (カナ)	該当本人属性履歴の住所 (カナ)
			住所 (漢字)	該当本人属性履歴の住所 (漢字)
			本人 電話番号	該当本人属性履歴の本人電話番号
			勤務先名 (カナ)	該当本人属性履歴の勤務先名 (カナ)
			勤務先名 (漢字)	該当本人属性履歴の勤務先名 (漢字)
			本人属性 変更年月日	該当本人属性履歴の本人属性変更年月日 (西暦)
			取消区分	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取消区分 参照
		正 規 化 情 報 2	正規化 氏名 (カナ)	該当本人属性履歴の正規化後の氏名 (カナ)
			正規化 氏名 (漢字)	該当本人属性履歴の正規化後の氏名 (漢字)
			正規化 住所 (カナ)	該当本人属性履歴の正規化後の住所 (カナ)
			正規化 住所 (漢字)	該当本人属性履歴の正規化後の住所 (漢字)
		本 人 属 性 履 歴 3	本人属性履 歴一連番号	取引情報に対応する、本人属性履歴の中で一意の一連番号
			類似音 氏名マーク	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」類似音氏名マーク 参照
			氏名 (カナ)	該当本人属性履歴の氏名 (カナ)
			氏名 (漢字)	該当本人属性履歴の氏名 (漢字)
			住所 (カナ)	該当本人属性履歴の住所 (カナ)
			住所 (漢字)	該当本人属性履歴の住所 (漢字)
			本人 電話番号	該当本人属性履歴の本人電話番号
			勤務先名 (カナ)	該当本人属性履歴の勤務先名 (カナ)

（続く）

（続き）

項 目 名			桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 取 引 情 報 回 答 デ ー タ	自 社 正 規 化 本 人 属 性 履 歴 情 報 回 答	勤務先名 （漢字）	N(20)	該当本人属性履歴の勤務先名（漢字）
		本人属性 変更年月日	X(08)	該当本人属性履歴の本人属性変更年月日 （西暦）
		取消区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取消区分 参照
	正 規 化 3	正規化 氏名（カナ）	X(25)	該当本人属性履歴の正規化後の氏名（カナ）
		正規化 氏名（漢字）	N(10)	該当本人属性履歴の正規化後の氏名（漢字）
		正規化 住所（カナ）	X(75)	該当本人属性履歴の正規化後の住所（カナ）
		正規化 住所（漢字）	N(50)	該当本人属性履歴の正規化後の住所（漢字）
		回答時刻	X(06)	センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMSS=時、分、秒（時:24時間表示）
		予備	X(451)	予備

（２３）自社取引情報回答電文（該当なし）

- ・ 自社取引情報回答電文（該当なし）の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
	自社取引情報照会依頼 データ部		５．１．２（２１）自社取引情報照会依頼電文を参照
業 務 個 別 部 ・ 回 答 件 数 デ ー タ	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	自社取引情報回答件数	P9(04)	該当なし Z E R O 固定
	自社本人属性履歴回答 件数	P9(04)	該当なし Z E R O 固定
	予備 1	P9(04)	予備
	予備 2	X(01)	予備
	予備 3	X(01)	予備
	予備 4	X(01)	予備

(24) 自社照会記録情報照会依頼電文

- ・ 自社照会記録情報照会依頼電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
業 務 個 別 部 ・ 自 社 照 会 記 録 情 報 照 会 依 頼 デ ー タ	利用者 I D	X(16)	照会者の利用者 I D
	経由会員コード	X(06)	他会員のシステムを経由して情報を提出している場合の経由会員の 会員コード
	受託会員コード	X(06)	他会員から照会を委託された場合、照会する受託会員の会員コード
	受託店番号	X(04)	照会を委託された場合、受託店の店番号
	会員コード	X(06)	照会する会員の会員コード。ただし他会員から照会の委託を受けた場 合は、照会委託者の会員コード。
	店番号	X(04)	照会する照会店の店番号。ただし照会の委託を受けた場合は、照会 委託者の店番号。
	照会管理番号 (1)	X(20)	会員任意の管理番号
	照会管理番号 (2)	X(20)	会員任意の管理番号
	依頼番号	X(08)	自社照会記録情報照会依頼電文に付す一連番号 00000001 (8桁) からの一連番号とし、 会員のセンター区分毎に付番する。
	顧客番号	X(15)	会員任意の管理番号
	対象情報区分	X(01)	” 2 ” 固定「照会記録情報」 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」対象情報区分 参照
	有効情報区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」有効情報区分 参照
	取消情報区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取消情報区分 参照
	正規化情報区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」正規化情報区分 参照
	予備	X(11)	予備
	氏名 (カナ)	X(25)	被照会者の氏名 (カナ)
	氏名 (漢字)	N(10)	被照会者の氏名 (漢字)

(続く)

（続き）

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	生年月日	X(09)	被照会者の生年月日
	住所（カナ）	X(75)	被照会者の住所（カナ）
	住所（漢字）	N(50)	被照会者の住所（漢字）
	本人電話番号	X(14)	被照会者の電話番号

（２５）自社照会記録情報回答電文

① 自社照会記録情報回答電文のフォーマット

項 目	伝 送 ブ ロ ッ ク ヘ ッ ダ ー 部	業務個別部								
		業 務 共 通 部	自 社 照 会 記 録 情 報 照 会 依 頼	回答件数データ						
				一 連 番 号	自 社 照 会 記 録 情 報 回 答 件 数	予 備 1	予 備 2	自 社 照 会 記 録 情 報 回 答 打 切 区 分	予 備 3	予 備 4
属性				P 9	P 9	P 9	P 9	X	X	X
桁数				1 8	4	4	4	1	1	1

・ 回答パターン１（自社照会記録情報回答）

項 目	業務個別部		
	自社照会記録情報回答データ		
	自 社 照 会 記 録 情 報 回 答 1	～	自 社 照 会 記 録 情 報 回 答 n

各回答パターンについては、後述の
表２ 回答パターン種別を参照

・ 回答パターン 2 （自社正規化照会記録情報回答）

項 目	業務個別部		
	自社照会記録情報回答データ		
	自 社 正 規 化 照 会 記 録 情 報 回 答 1	～	自 社 正 規 化 照 会 記 録 情 報 回 答 n

表2 回答パターン種別

<div style="text-align: center;"> 自社情報照会依頼 電文の項目 回答パターン </div>	対象情報区分が「照会記録情報」の場合			
	有効情報	取消情報	履歴情報	正規化情報
パターン１ (自社照会記録情報回答)	<input type="radio"/>			
		<input type="radio"/>		
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
パターン２ (自社正規化照会記録情報回答)	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>

自社情報照会依頼電文の有効情報区分、取消情報区分、正規化情報区分の設定の組合せにより
自社照会記録情報回答電文をパターン１、２の形式で回答する。

② 自社照会記録情報回答電文の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	自社照会記録情報 照会依頼データ部		5. 1. 2 (2 4) 自社照会記録情報照会依頼電文を参照
業 務 個 別 部 ・ 回 答 件 数 デ ー タ	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	自社照会記録情報回答 件数	P9(04)	自社照会記録情報回答、または、自社正規化照会記録情報回答の件数
	予備 1	P9(04)	予備
	予備 2	P9(04)	予備
	自社照会記録情報 回答打切区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」回答打切区分 参照
	予備 3	X(01)	予備
	予備 4	X(01)	予備

a) 自社照会記録情報回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 照 会 記 録 情 報 回 答 デ ー タ	回答種別コード	X(02)	” 2 4 ” 固定「自社照会記録情報」 コード定義：回答種別コード 参照
	該当者通番	X(04)	1 照会依頼に対して照会記録情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
	利用者 I D	X(16)	照会者の利用者 I D
	受託会員コード	X(06)	該当照会記録情報の受託会員コード
	受託店番号	X(04)	該当照会記録情報の受託店番号
	会員コード	X(06)	該当照会記録情報の会員コード
	店番号	X(04)	該当照会記録情報の店番号
	照会管理番号 (1)	X(20)	会員任意の管理番号
	照会管理番号 (2)	X(20)	会員任意の管理番号
	取消訂正コード	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取消訂正コード 参照
	類似音氏名 マーク	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」類似音氏名マーク 参照
	氏名（カナ）	X(25)	該当照会記録情報の氏名（カナ）
	氏名（漢字）	N(10)	該当照会記録情報の氏名（漢字）
	生年月日	X(08)	該当照会記録情報の生年月日 (西暦)
	郵便番号	X(07)	該当照会記録情報の郵便番号
	住所（カナ）	X(75)	該当照会記録情報の住所（カナ）
	住所（漢字）	N(50)	該当照会記録情報の住所（漢字）
	本人電話番号	X(14)	該当照会記録情報の本人電話番号
	消費性・事業性 区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」消費性・事業性区分 参照
	苦情受付コード	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」苦情受付コード 参照

(続く)

（続き）

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 照 会 記 録 情 報 回 答 デ ー タ	保証依頼元 会員コード	X(06)	該当照会記録情報の保証依頼元会員コード
	取消理由コード (照会記録)	X(02)	コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」取消理由コード(照会記録)上1桁 参照 コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」取消理由コード(照会記録)下1桁 参照
	照会目的	X(01)	コード定義: 「資料編」の「4.1コード一覧」照会目的 参照
	保証区分	X(01)	コード定義: 「資料編」の「4.1コード一覧」保証区分 参照
	債務形態区分	X(01)	コード定義: 「資料編」の「4.1コード一覧」債務形態区分 参照
	与信内容	X(02)	コード定義: 「資料編」の「4.1コード一覧」与信内容 参照
	照会日	X(08)	該当照会記録情報の照会日 (西暦)
	照会パターン	X(02)	コード定義: 「資料編」の「4.1コード一覧」照会パターン 参照
	正 当 な 照 会 の 入 力 項 目	氏名 (カナ)	正当な照会時に入力した氏名 (カナ)
		氏名 (漢字)	正当な照会時に入力した氏名 (漢字)
		生年月日	正当な照会時に入力した生年月日 (西暦)
		郵便番号	正当な照会時に入力した郵便番号
		住所 (カナ)	正当な照会時に入力した住所 (カナ)
		住所 (漢字)	正当な照会時に入力した住所 (漢字)
		本人 電話番号	正当な照会時に入力した本人電話番号
	取消区分	X(01)	コード定義: 「資料編」の「4.1コード一覧」取消区分 参照
	照会時刻 (照会記録)	X(06)	該当照会記録情報の照会時刻 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)
	回答時刻 (照会記録)	X(06)	該当照会記録情報の回答時刻 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)
	取 消	取消日	該当照会記録情報の取消を行った最新の取消日 (西暦)
		取消時刻	該当照会記録情報の取消を行った最新の取消時刻 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)

（続く）

（続き）

項 目 名		桁数	項 目 内 容
	利用者 I D (取消)	X(16)	該当照会記録情報の取消を行った最新の取消時刻
	取消訂正日	X(08)	該当照会記録情報の取消訂正を行った最新の取消訂正日 (西暦)
	取消訂正時刻	X(06)	該当照会記録情報の取消訂正を行った最新の取消訂正時刻 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)
	利用者 I D (取消訂正)	X(16)	該当照会記録情報の取消訂正を行った最新の利用者 I D
	訂正日	X(08)	該当照会記録情報の訂正を行った最新の訂正日 (西暦)
	訂正時刻	X(06)	該当照会記録情報の訂正を行った最新の訂正時刻 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)
	利用者 I D (訂正)	X(16)	該当照会記録情報の訂正を行った最新の利用者 I D
	照会形式	X(02)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」照会形式 参照
	回答時刻	X(06)	センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)

b) 自社正規化照会記録情報回答

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 照 会 記 録 情 報 回 答 デ ー タ	回答種別コード	X(02)	” 4 4 ” 固定「自社正規化照会記録情報」 コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」回答種別コード 参照
	該当者通番	X(04)	1 照会依頼に対して照会記録情報単位の照会回答件数を表す一連番号 0 0 0 1 ～ 9 9 9 9 : 該当情報の一連番号
	利用者 I D	X(16)	照会者の利用者 I D
	受託会員コード	X(06)	該当照会記録情報の受託会員コード
	受託店番号	X(04)	該当照会記録情報の受託店番号
	会員コード	X(06)	該当照会記録情報の会員コード
	店番号	X(04)	該当照会記録情報の店番号
	照会管理番号 (1)	X(20)	会員任意の管理番号
	照会管理番号 (2)	X(20)	会員任意の管理番号
	取消訂正コード	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」取消訂正コード 参照
	類似音氏名 マーク	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」類似音氏名マーク 参照
	氏名（カナ）	X(25)	該当照会記録情報の氏名（カナ）
	氏名（漢字）	N(10)	該当照会記録情報の氏名（漢字）
	生年月日	X(08)	該当照会記録情報の生年月日 (西暦)
	郵便番号	X(07)	該当照会記録情報の郵便番号
	住所（カナ）	X(75)	該当照会記録情報の住所（カナ）
	住所（漢字）	N(50)	該当照会記録情報の住所（漢字）
	本人電話番号	X(14)	該当照会記録情報の本人電話番号
	消費性・事業性 区分	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」消費性・事業性区分 参照
	苦情受付コード	X(01)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」苦情受付コード 参照

(続く)

（続き）

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 照 会 記 録 情 報 回 答 デ ー タ	保証依頼元 会員コード	X(06)	該当照会記録情報の保証依頼元会員コード
	取消理由コード (照会記録)	X(02)	コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」取消理由コード(照会記録)上1桁 参照 コード定義:「資料編」の「4.1コード一覧」取消理由コード(照会記録)下1桁 参照
	照会目的	X(01)	コード定義: 「資料編」の「4.1コード一覧」照会目的 参照
	保証区分	X(01)	コード定義: 「資料編」の「4.1コード一覧」保証区分 参照
	債務形態区分	X(01)	コード定義: 「資料編」の「4.1コード一覧」債務形態区分 参照
	与信内容	X(02)	コード定義: 「資料編」の「4.1コード一覧」与信内容 参照
	照会日	X(08)	該当照会記録情報の照会日 (西暦)
	照会パターン	X(02)	コード定義: 「資料編」の「4.1コード一覧」照会パターン 参照
	正 当 な 照 会 の 入 力 項 目	氏名 (カナ)	正当な照会時に入力した氏名 (カナ)
		氏名 (漢字)	正当な照会時に入力した氏名 (漢字)
		生年月日	正当な照会時に入力した生年月日 (西暦)
		郵便番号	正当な照会時に入力した郵便番号
		住所 (カナ)	正当な照会時に入力した住所 (カナ)
		住所 (漢字)	正当な照会時に入力した住所 (漢字)
	本人 電話番号	X(14)	正当な照会時に入力した本人電話番号
	取消区分	X(01)	コード定義: 「資料編」の「4.1コード一覧」取消区分 参照
	照会時刻 (照会記録)	X(06)	該当照会記録情報の照会時刻 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)
	回答時刻 (照会記録)	X(06)	該当照会記録情報の回答時刻 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)
	取 消	取消日	該当照会記録情報の取消を行った最新の取消日 (西暦)
		取消時刻	該当照会記録情報の取消を行った最新の取消時刻 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)

（続く）

（続き）

項 目 名		桁数	項 目 内 容
業 務 個 別 部 ・ 自 社 照 会 記 録 情 報 回 答 デ ー タ	自 社 正 規 化 照 会 記 録 情 報 回 答	利用者 I D (取消)	X(16) 該当照会記録情報の取消を行った最新の取消時刻
		取消訂正日	X(08) 該当照会記録情報の取消訂正を行った最新の取消訂正日 (西暦)
		取消訂正 時刻	X(06) 該当照会記録情報の取消訂正を行った最新の取消訂正時刻 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)
		利用者 I D (取消訂正)	X(16) 該当照会記録情報の取消訂正を行った最新の利用者 I D
		訂正日	X(08) 該当照会記録情報の訂正を行った最新の訂正日 (西暦)
		訂正時刻	X(06) 該当照会記録情報の訂正を行った最新の訂正時刻 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)
		利用者 I D (訂正)	X(16) 該当照会記録情報の訂正を行った最新の利用者 I D
		照会形式	X(02) コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」照会形式 参照
		回答時刻	X(06) センターにおける回答電文処理時間を表す。 HHMMSS=時、分、秒 (時:24時間表示)
		正規化 氏名 (カナ)	X(25) 該当照会記録情報の正規化後の氏名 (カナ)
		正規化 氏名 (漢字)	N(10) 該当照会記録情報の正規化後の氏名 (漢字)
		正規化 住所 (カナ)	X(75) 該当照会記録情報の正規化後の住所 (カナ)
		正規化 住所 (漢字)	N(50) 該当照会記録情報の正規化後の住所 (漢字)

（２６）自社照会記録情報回答電文（該当なし）

- ・ 自社照会記録情報回答電文（該当なし）の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
	自社照会記録情報 照会依頼データ部		５．１．２（２４）自社照会記録情報照会依頼電文を参照
業 務 個 別 部 ・ 回 答 件 数 デ ー タ	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	自社照会記録情報回答 件数	P9(04)	該当なし Z E R O 固定
	予備 1	P9(04)	予備
	予備 2	P9(04)	予備
	予備 3	X(01)	予備
	予備 4	X(01)	予備
	予備 5	X(01)	予備

（ 2 7 ） ～ （ 3 2 ） 欠番

（３３）項目エラー電文(照会データの項目エラー)

- ・ 項目エラー電文(照会データの項目エラー)の項目説明

項 目 名		桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		５．１．２（１）業務電文共通フォーマットを参照
業 務 個 別 部 ・ 項 目 エ ラ ー デ ー タ	依頼レコード種別	X(02)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」レコード種別 参照
	照会依頼データ	X(663)	照会依頼データは、 ５．１．２（２）照会依頼電文を参照 照会記録情報取消依頼データは、 ５．１．２（９）照会記録情報取消依頼電文を参照 照会記録情報取消訂正依頼データは、 ５．１．２（１１）照会記録情報取消訂正依頼電文を参照 照会記録情報訂正依頼データは、 ５．１．２（１３）照会記録情報訂正依頼電文を参照 官報情報（個人）・取引停止処分照会依頼データは、 ５．１．２（１５）官報情報（個人）・取引停止処分照会依頼電文を参照 自社取引情報照会依頼データは、 ５．１．２（２１）自社取引情報照会依頼電文を参照 自社照会記録情報照会依頼データは、 ５．１．２（２４）自社照会記録情報照会依頼電文を参照
	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	エラー件数	X(03)	エラーコード領域のエラーコードの件数を表す。
	エ ラ ー コ ー ド 領 域	エラーコード (１) X(03)	項目エラーのエラーコードを、最大１００件設定する。 資料編「照会チェック仕様のエラーコード体系」以下参照
		エラーコード (２) X(03)	
		エラーコード (３) X(03)	
		・ ・ ・	
		エラーコード (１００) X(03)	

(34) サービス状態エラー電文（サービス停止中・タイムオーバー・利用資格なし）

- ・ サービス状態エラー電文（サービス停止中・タイムオーバー・利用資格なし）の項目説明

	項 目 名	桁数	項 目 内 容
	伝送ブロック ヘッダー部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
	業務共通部		5. 1. 2 (1) 業務電文共通フォーマットを参照
業 務 個 別 部 ・ サ ー ビ ス 状 態 エ ラ ー デ ー タ	依頼レコード種別	X(02)	コード定義： 「資料編」の「4.1コード一覧」レコード種別 参照
	照会依頼データ	X(663)	照会依頼データは、 5. 1. 2 (2) 照会依頼電文を参照 照会記録情報取消依頼データは、 5. 1. 2 (9) 照会記録情報取消依頼電文を参照 照会記録情報取消訂正依頼データは、 5. 1. 2 (11) 照会記録情報取消訂正依頼電文を参照 照会記録情報訂正依頼データは、 5. 1. 2 (13) 照会記録情報訂正依頼電文を参照 官報情報（個人）・取引停止処分照会依頼データは、 5. 1. 2 (15) 官報情報（個人）・取引停止処分照会依頼電文を参照 自社取引情報照会依頼データは、 5. 1. 2 (21) 自社取引情報照会依頼電文を参照 自社照会記録情報照会依頼データは、 5. 1. 2 (24) 自社照会記録情報照会依頼電文を参照
	一連番号	P9(18)	センターで付番した連番
	センターサービス	X(01)	コード定義：「資料編」の「4.1コード一覧」サービスエラー区分 参照
	J I C C サービス	X(01)	
	C I C サービス	X(01)	
	照会	X(01)	(現在未使用)

5.1.3 照会業務における注意事項

（１）回答電文例

回答電文の各回答情報のフィールドの長さは、それらに対応する各回答件数に応じて変化する。
したがって、回答件数が０の場合は、「該当なし」を意味する、その部分の回答情報フィールドをカットし、前詰めにし回答する。

例）要求区分 7 0 レコード識別 3 1

要求区分	レコード識別	取引情報回答件数	本人属性履歴回答件数	不渡情報回答件数	官報情報回答件数	本人申告回答件数	本人申告履歴回答件数	照会記録回答件数
7 0	3 1	n	n	0	0	n	n	0

取引情報 1			～	取引情報 n			本人申告 1			～	本人申告 n		
取引情報回答	本人属性履歴 1	本人属性履歴 n		取引情報回答	本人属性履歴 1	本人属性履歴 n	本人申告	本人申告履歴 1	本人申告履歴 n		本人申告回答	本人申告履歴 1	本人申告履歴 n

不渡情報回答件数、官報情報回答件数、照会記録回答件数が０であるため、対応する不渡情報回答、官報情報回答をカットし、本人申告回答を前詰めする。

（２）回答件数制限値

回答件数の制限値には、対象情報の検索（１次抽出）件数の制限値と、回答件数の制限値がある。
 なお、各制限値を超える情報がある場合は、その旨の表示を回答電文に設定（回答打切区分）する。

① 検索（１次抽出）件数の制限値

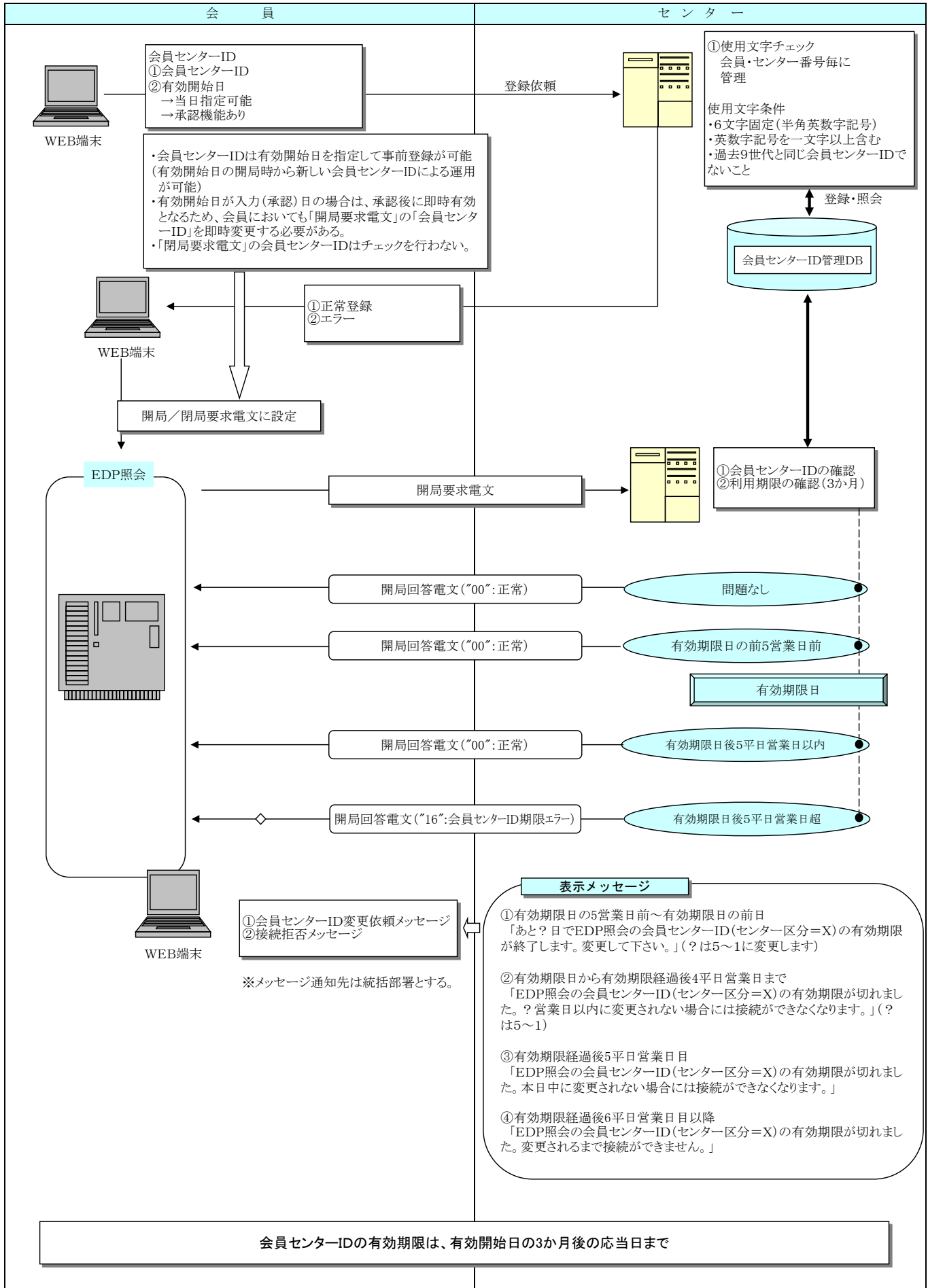
	取引情報	取引情報の本人属性履歴	不渡情報	本人申告情報	本人申告の本人属性履歴	照会記録情報	官報情報	J I C C 回答情報	C I C 回答情報
すべての照会	１０００件		３００件	５００件		３００件	５１０件	－	－

② 回答件数の制限値

	取引情報	取引情報の本人属性履歴	不渡情報	本人申告情報	本人申告の本人属性履歴	照会記録情報	官報情報	J I C C 回答情報	C I C 回答情報
照会	１００件		２０件	５００件		３０件	２０件	８０件	８０件
官報情報（個人） ・取引停止処分 照会	－	－	１００件	－	－	－	１００件	－	－
自社情報照会	５００件		－	－	－	３００件	－	－	－

（補足）

- ・取引情報の本人属性履歴は、取引情報１件につき最大９件
- ・本人申告情報の本人属性履歴は、本人申告情報１件につき最大９件
- ・本人属性履歴は、上記制限値にカウントしない



全国銀行個人信用情報センター 個人信用情報システム
基本設計書（E D P 接続仕様書編）

平成 17 年 4 月（初 版）
平成 17 年 7 月（第 2 版）
平成 17 年 11 月（第 3 版）
平成 18 年 4 月（第 4 版）
平成 20 年 5 月（第 5 版）
平成 22 年 4 月（第 5.1 版）
平成 22 年 11 月（第 6 版）
平成 27 年 11 月（第 7 版）

対外秘

全 国 銀 行 協 会
全国銀行個人信用情報センター
富 士 通 株 式 会 社